PEGASUS®

CW500N Series

取扱説明書
2・3本針フラットベッド型
偏平縫いミシン

INSTRUCTIONS
2 or 3-needle flatbed
interlock stitch machine

使用说明书
双针、三针平机座型
绷缝缝纫机

取扱説明書

このたびは、ペガサスCW500Nシリーズミシンをお買い上げいただき、ありがとうございます。

ミシンをお使いになる前に、この説明書をよくお読みいただき、末ながくご愛用くださいますようお願い致します。
なお、この説明書にはミシンを効率的にご使用いただくために、日常の点検事項と、安全に関する注意事項を載せています。

日常のミシンの点検と同時に、皆様ご自身の安全にも十分ご配慮くださいますようお願い致します。

INSTRUCTIONS

Thank you very much for purchasing Pegasus CW500N Series machine.

This instruction manual describes daily routine maintenance and safety precautions to keep the machine in the best possible conditions.

Please study this manual very carefully before operating the machine.

使用说明书

为您购买飞马牌CW500N系列缝纫机，我们表示衷心的感谢!

在使用缝纫机之前，请认真阅读此说明书。愿您自始至终爱护并使用敝公司的产品。
另外，为使您的缝纫机高效率的使用，此说明书登载了有关日常中检查与安全的注意事项。

在平时，除了对缝纫机进行检查之外，也请您多加注意自身

目次

注　記 …… 1
指　令 …… 1
1.はじめに …… 2
2.警告表示 …… 2~3
3.安全対策 …… 3~4
4.各使用段階における注意事項 …… 4~6
5.警告ラベルの貼り付け位置と安全保護装置 …… 7
6.安全保護装置 …… 8
テーブル加工図 …… 9
据付台の組立 …… 10
ミシンの据付 …… 10
ベルトカバーの取付 …… 10
ミシンの回転方向 …… 10
給油について …… 11
HR装置への給油 …… 12
糸の通し方 …… 13~14
押ェ圧力の調節 …… 15
差動比の調節 …… 15
縫い目長さの調節 …… 15
糸調子の調節 …… 16
ミシンの掃除 …… 16
針の取り替え …… 17
油の交換 …… 17
排油のしかた …… 17
オイルフィルターの点検と清掃 …… 18
調整基準表
針番手対照表
標準使用針 …… 19
仕様表 …… 20

CONTENTS

Copyright 21

Directives 21

1.Introduction 22

2.Indications of dangers, warnings & cautions 22-23

3.Safety precautions 23-24

4.Notes for each procedure 24-26

5.Location of warning labels and safety devices 27

6.Protectors for safety 28

Schematic diagram of the machine table 29

Assembling the machine rest board 30

Sewing machine installation 30

Installing the belt cover 30

Operating direction of the machine pulley 30

Lubrication 31

Silicone oil for H.R. device 32

Threading 33-34

Adjusting presser foot pressure 35

Adjusting the differential feed ratio 35

Adjusting stitch length 35

Adjusting the thread tension 36

Cleaning the machine 36

Oil replacement 37

To drain the oil 37

Checking and cleaning the oil filter 38

Adjustment dimensions
Comparison table of equivalent sizes
Standard needle 39

Subclass specifications 40

目录

注记 …… 41

指令 …… 41

1.前言 …… 42

2.警告标记…… 42–43

3.安全措施…… 43–44

4.各操作过程的注意事项…… 44–46

5.警告标签粘贴的位置与安全保护装置 …… 47

6.安全保护装置 …… 48

台板加工图 …… 49

安装台的组装 …… 50

缝纫机的安装 …… 50

皮带轮护盖的安装 …… 50

缝纫机的旋转方向 …… 50

关于供油 …… 51

给ＨＲ装置供油 …… 52

穿线的方法 …… 53–54

压脚压力的调节 …… 55

差动比的调节 …… 55

针脚长度的调节 …… 55

线状态的调节 …… 56

缝纫机的清扫 …… 56

机针的更换 …… 57

机油的更换 …… 57

排油的方法 …… 57

机油过滤器的检查与清扫 …… 58

调整基准数值／
针号对照表／
标准用针…… 59

子型号规格表 …… 60

安全のために 必ずお読みください

注　記

●この取扱説明書のすべてあるいは一部を、ペガサスミシンの書面による事前の許可なく、紙媒体であれ電子媒体であれ、無断で転載、複写、翻訳、配布、配信することを固く禁じます。

●この取扱説明書に記載された内容は、情報の提供のみを目的としており、予告なしに変更する場合があります。これらの情報について当社はいかなる責任も負いません。また、この取扱説明書に誤りや不正確な記述があった場合にも、当社はいかなる責任、債務を負わないものとします。

●ペガサスミシンでは、常に最先端の技術を導入しているので、本製品の性能・仕様を絶えず改良する方針をとっています。したがって予告なく仕様・デザインを変更する権利を留保します。

●本書は「仕様」の章に記載されているすべてのモデルとサブクラスに有効です。

指　令

このミシンは、ヨーロッパの安全企画の準拠と製造者の告知を含むヨーロッパの安全規格にも合わせて組み立てられています。この取扱説明書に加えて、一般的に認められている制定法に従ったすべての規格と、法律に基づく必要条件、及びすべての環境保護規格も厳守してください。
作業中の事故に適用される社会保険の各規格、各地域管理組織・機関などの規格も厳守してください。

1.はじめに

●本書は、当製品を安全に使用するための取扱説明書です。

●当製品を使用する前に、必ず本書を読み、ミシンの操作、点検、整備、保全等の方法を十分理解したうえで、ご使用ください。

●工業用ミシンは縫製作業上、使用者は針などの運動するミシン部品の至近距離で作業を行うため、運動するミシン部品に接触してしまう危険性が常に存在していることを認識しなければなりません。
このため安全を確保するためには、当社による安全な製品の供給と、使用者による安全な正しい取り扱いが不可欠です。お客様において安全対策が必要なものもいくつかありますので、ミシンをお使いになるすべての関係者が本書と駆動装置の取扱説明書を合わせて熟読され、必要な安全対策を実施したうえで、ミシンを十分ご活用いただくようお願いします。

2.警告表示

当社製品および本書には、製品を安全にご使用いただくために、警告表示を危険の程度により使い分けています。
これらの内容を十分に理解し、指示を必ず守ってください。

警告ラベルは、常にはっきり見えるようにしておいて下さい。
警告ラベルがはがれたり、汚れた場合は、新しいラベルと交換してください。
交換用ラベルが必要な場合は、当社営業所までご連絡ください。

注意喚起シンボルとシグナル用語

⚠ 危険	誤った取り扱いをしたときに、死亡または重傷事故が発生する可能性がきわめて高い危険。
⚠ 警告	誤った取り扱いをしたときに、状況によっては死亡または重傷事故に結びつく可能性がある危険。
⚠ 注意	誤った取り扱いをしたときに、軽傷または中程度の傷害および物的損害のみの発生が想定される場合。

図記号の説明

	必ず指示内容に従い作業を行ってください。
	誤った取り扱いをしたときに、感電する可能性があります。
	誤った取り扱いをしたときに、手や指などのケガの原因になります。
	高温による火傷等の危険があります。
	絶対に行わないでください。
	修理時や調整等のメンテナンス作業の発生時や、落雷の可能性がある場合、電源プラグを電源供給元のコンセントから必ず抜いてください。
	必ずアース線を接続してください。
	ミシンの正常なプーリー回転方向を示しています。

3.安全対策

①用途、目的

当社工業用ミシンは、縫製業における品質や生産性の向上を目的としてご使用していただくように開発された商品です。
したがって、上記目的に反した用途には絶対にご使用にならないでください。

②使用環境

当社工業用ミシンは、ご使用になる環境によっては、ミシンの寿命や機能・性能・安全性に悪影響を及ぼす場合があります。

安全のために、下記の環境条件でのご使用はお避けください。

1.高周波ウェルダー等のノイズを発生するものの近辺。
2.薬品の蒸気が発散している空気中や、薬品が触れる場所での使用・保管。
3.屋外や高温な場所、直射日光が当たるところ。
4.ミシンに悪影響を及ぼす、雰囲気温度や湿度が多いところ。
5.電圧変動が定格電圧の±10%を超えるところ。
6.電源容量が使用するコントローラ・モータ仕様の容量を、十分に確保できないところ。

③安全対策

（1）保守点検、修理時の安全確保

●ミシンの検査、修理、清掃等のメンテナンス作業を行うときにはミシンの電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、ミシンペダルを踏んでもミシンが動かないことを確認してから、作業を行ってください。
ただし、ミシンに電源を投入中に作業を行う必要があるときは、ミシンの不意の動きまたは、使用者の誤動作による危険を防止するための安全作業手順を定めて、すべての安全のガイドラインを遵守してください。

●下記の作業は必ず電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

・給油
・糸通し
・ミシンの掃除
・針の取り替え
・オイルエレメントの点検と交換
・オイル交換

●下記の作業は必ず電源スイッチを切ってから行ってください。
・縫い目長さの調節
・差動比の調節

●通常の保守点検、修理は、十分にミシンのメンテナンス訓練を受けた方のみが行ってください。

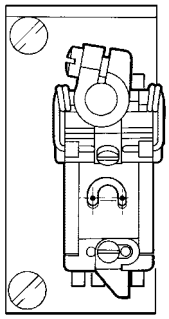
●お客様独自の判断に基づく改造や変更は行わないでください。
※改造や変更が必要な場合は、販売店もしくは当社営業所にご相談ください。

（2）運転前の点検事項

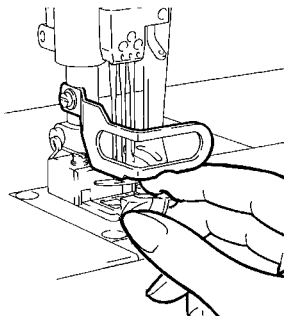
●ミシンの運転を行うときは、始業前にミシンヘッド・ミシンユニットについて点検し、損傷や機能不良等がないことをチェックしてください。
万一異常を認めたときには、直ちに修理、その他の必要な措置をとってください。

●針留が固定されていることを、必ず手で触って確認してください。
※針先に注意してください。

●ミシンを使用する前に、押ェが正しい位置にあることを必ず確認してください。
(手でプーリーをゆっくり回して、針先端が押ェの針落ち穴の中心にきていることを確認してください。)



●押ェがきっちり止まっていることを必ず確認してください。
(押ェ上げ機構を使って押ェを上げてから、手で前後左右に動かして押ェが動かないことを確認してください。)



（3）教育、訓練

●事故防止のため、ミシンヘッドまたはミシンシステムのオペレーターや保守・修理等を行う要員は、作業を安全に行うための適正な知識と技能を有することが必要です。
そのためには、管理者は事前にこれらの要員の教育計画を立案し、実施する必要があります。

4.各使用段階における注意事項

⚠注意

①開　梱

1.ミシンヘッドの重さおよび運転時の反力に十分耐え得る強度を備えたミシンテーブル(天板・金脚)をご使用ください。
2.ミシンヘッドを緩衝材から取り出すときは、絶対に針の付近や糸道関連部品を持って取り出さないでください。ケガや機械破損の原因になります。
3.ミシンヘッドを取り出す時には、重心の位置に注意して慎重に取り出してください。
4.開梱後の使用済み段ボール等は、その後に二次輸送を行うことが予想される場合には、利用のため大切に保管しておいてください。

梱包資材の処理

●梱包資材は、木・紙・段ボール・VCE繊維から成っています。
梱包材はお客様で責任を持って、適切に処分していただくようにお願いします。

ミシン廃棄物の処理

1.ミシン廃棄物は、お客様の責任で処理を行ってください。
2.ミシンに使用されている材料は、鉄、アルミ、真鍮、各種プラスチックです。
3.ミシン廃棄物は、地域の環境保護規定に従って処理してください。必要に応じて、専門の業者に委託してください。
※油で汚れた部品等は、必ず地域の環境保護規定に従って個別に処理してください。

お客様敷地内でのミシン移動

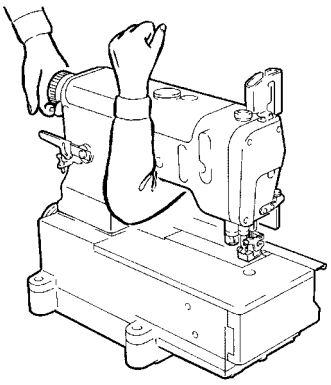
●お客様敷地内での移動に関しては、製造メーカーは責任を持ちません。移動する際は、落下、転倒を避けるためにも、ミシンが傾かないように注意してください。

⚠警告

②運　搬

1.ミシンヘッドの運搬は、必ず補助者と二人以上で作業を行ってください。なお、人が持ち運ぶ運搬作業はテーブルや移送用の台車への移し換え作業に限定し、それ以外の運搬作業には必ず台車を使用してください。

2.ミシンヘッドの移動は右手でプーリーをつかみ、アーム左に左手をかけて、しっかり持ってください。
ミシンや手に油が付いていると、滑りやすく、落とす危険がありますのでよく油を拭き取ってください。



3.テーブルへの移し換え時や台車での移送時には、過度の衝撃や振動を加えないように注意してください。ミシンヘッドが転倒する危険があります。

4.二次輸送等でミシンヘッドを再梱包する場合には、ミシンに付着した油を十分に拭き取ってください。
運搬時に手が滑ってミシンヘッドが落下したり、油の浸潤により梱包材が劣化して底が抜ける危険があります。

⚠注意

③据え付け、準備

ミシンテーブル

1.ミシンヘッドの重さおよび運転時の反力に十分耐え得る強度を備えたミシンテーブル(天板・金脚）をご使用ください。

2.ミシンユニットの配置と作業エリアの明るさに十分考慮して、容易に作業できる環境を整えてください。
十分な明るさが得られない場合には、必要に応じて照明灯等の措置を取ってください。

3.ミシン運転時に、使用者が足を踏み外して誤操作する危険が生じないように、ミシンテーブルの足操作用ペダルには滑り止めを設けてください。

4.オペレーターの作業姿勢を考慮して、テーブル面の高さ(作業高さ)を決定してください。

⚠警告

ケーブル

1.ミシンヘッドとモーターを接続するケーブルのコネクターは、確実に固定してください。
ミシンヘッドとモーターをケーブルで接続するときは、電源スイッチは必ずOFFにした状態で作業を行ってください。

2.ケーブルは使用中に無理な力が加わらないようにしてください。

3. ⃠ケーブルを過度に曲げないでください。

4.作動する機械部分(例えばプーリーやVベルト)の近くのケーブルは、最小25mmの距離を取って接続してください。

5.必要に応じて接続位置やカバーによりケーブルを保護してください。

6. ⃠ケーブルを止める時は、絶対にステープルを使用しないでください。漏電・火災の原因になります。

⚠注意

モーター

1.ミシンモーターの据え付けは、モーターメーカーの取扱説明書に従って、正しく取り付けてください。

2.ベルトへの巻き込みの危険を防ぐためにも、巻き込み防止付きミシンモーターを選んでください。

⚠注意

接　地

1.接地方式はひとつのミシンシステムで専用接地とし、他の機器の接地とは別系統にしてください。

2. ⏚ミシンヘッドの指定箇所に、確実に接地を行ってください。

⚠警告

④ミシンオイルの取り扱い

1.オイルパンに油を入れないうちは絶対に運転しないでください。
油は当社指定の「HIGH SPEED SEWING MACHINE OIL」または相当品の「エッソテックス SM22 （Exxon Mobil 製)」をご使用ください。

2.オイルが目に入ると炎症を起こすことがあります。取り扱う際には保護眼鏡を使用する等目に入らないようにしてください。

※万一目に入った場合は、清浄な水で15分間洗浄し、医師の診断を受けてください。

3.オイルが皮膚に触れた場合は、すぐに水と石鹸で十分に洗ってください。

4. オイルは絶対に飲み込まないでください。

5.オイルは子供の手の届かない所に保管してください。

※万一飲み込んだ場合は、無理に吐かずに、直ちに医師の診断を受けてください。

6.廃油・廃容器の処理方法は法令で義務づけられています。法令に従い適正に処理してください。不明な場合は購入先にご相談の上処理してください。

7.オイルの保管方法はゴミ、水分等の混入防止のため使用後は密栓してください。直射日光を避け、暗所に保管してください。

⚠警告

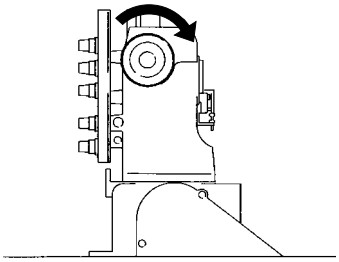
⑤ミシン運転前の注意

ミシンテーブル

1.電源を投入する前に、ケーブルやコネクターに損傷や脱落、緩み等の外観上の異常がないことを確認してください。

2. 電源スイッチを入れる際には、針の付近やプーリーには絶対に手を近づけないでください。

3.はじめてミシンを運転する場合、電源スイッチを入れてミシンのプーリー回転方向を確認してください。
ミシンの正回転は、プーリー側からみて右回りです。



4.ミシンの操作にあたっては、適切な訓練を受けた使用者が、本使用説明書の内容を十分理解したうえで、ご使用ください。

5.ミシンヘッドの危険表示や警告表示の内容について「2.警告表示」の項を熟読してよく理解し、必要に応じて使用者に対する安全教育を行ってください。

6.最初の1ヶ月間は縫い速度を落とし、最高回転数の3／4以下の回転数でご使用ください。

⚠警告

⑥ミシン運転中の注意

1. アイガード、フィンガーガード、プーリーカバー等の安全装置を取り外した状態で、ミシンを運転しないでください。

2. ミシン運転中は危険ですから、絶対に針の下に手を入れないでください。

3.クラッチ式モーターをご使用の場合は、電源スイッチを切った後もモーターは暫く回り続けます。ミシンペダルを踏むとミシンが作動し危険ですので、注意してください。

4. ミシン運転中は危険ですから、絶対にプーリー、Vベルト、モータープーリー、糸繰り、針棒付近に、指・頭髪・ピンセット・工具等を絶対に置かないでください。

5. FT装置付きミシンを使用する場合は、手や指をFT部に極度に近づけないでください。特に縫製中は事故につながり、たいへん危険です。

6.ミシンを使用しないときや作業者がミシンを離れるときは、必ず電源スイッチを切ってください。

7.停電したときは、必ず電源を切ってください。

8.ミシンの運転を行うときは、機械に巻き込まれないような服装でご使用ください。

9. ミシン運転中は、ミシンテーブルの上に道具や工具、その他縫製に必要のない物を置かないでください。

⚠注意

⑦保守、点検、修理

1.保守、点検、修理の作業は特別に訓練を受けた人が本書及び使用説明書の内容を理解したうえで、作業を行ってください。

2. 保守、点検、修理のためにミシンヘッドを倒す必要がある時は、必ず電源スイッチを切り、電源プラグからコンセントを抜いて、ミシンペダルを踏んでも、ミシンが動かないことを必ず確認してから、作業を行ってください。

3. Vベルトの取り付け、取り外しを行うときは、必ず電源スイッチを切り、ミシンペダルを踏んでも、ミシンが動かないことを必ず確認してから、作業を行ってください。

4.ミシンヘッドに関する日常および定期点検は、本書及び使用説明書に従って確実に行ってください。

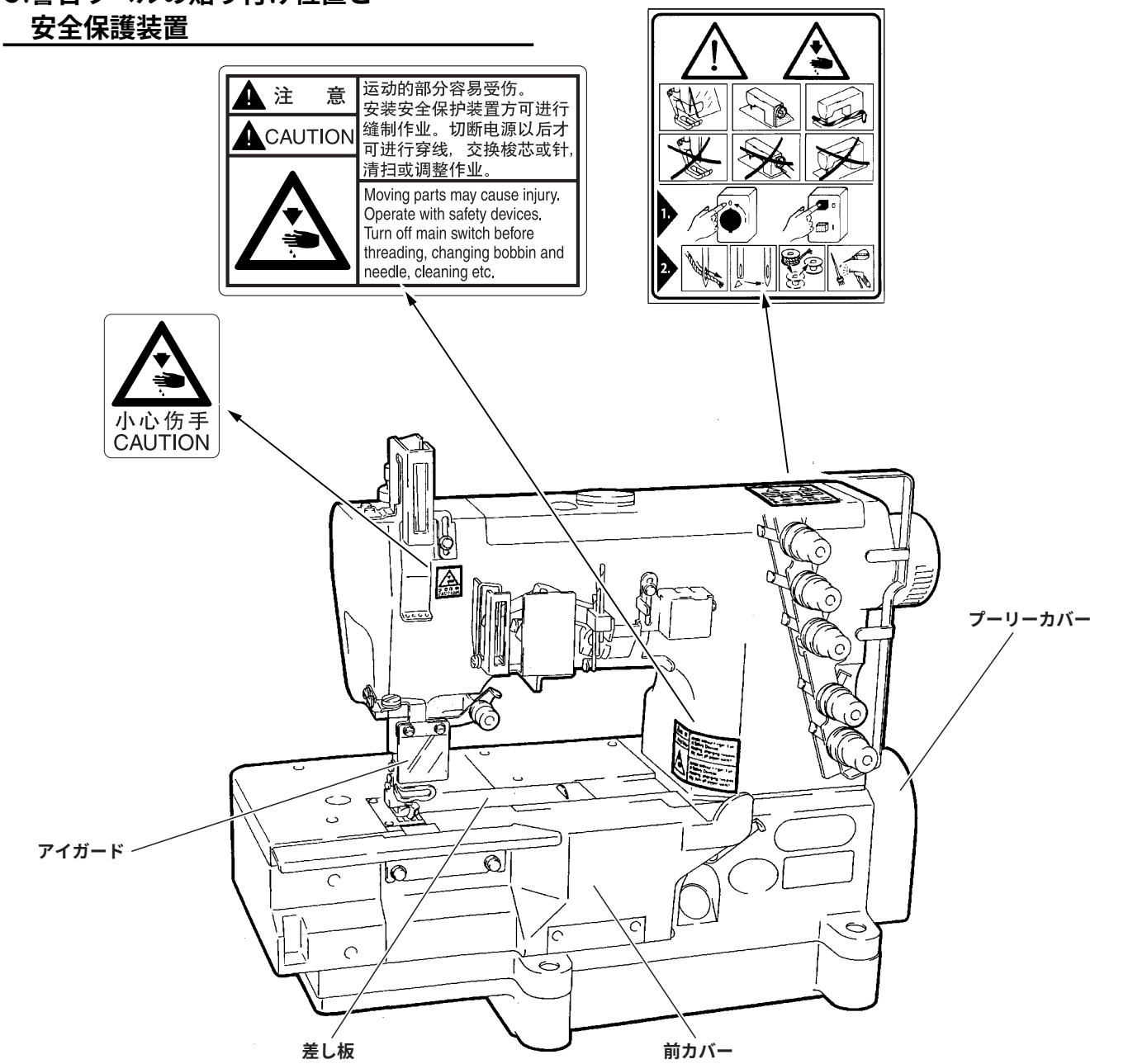
5.ミシンの修理や部品交換は、当社の純正部品をご使用ください。不適切な修理・調整および非純正部品による事故に対しては、当社は責任を負いません。

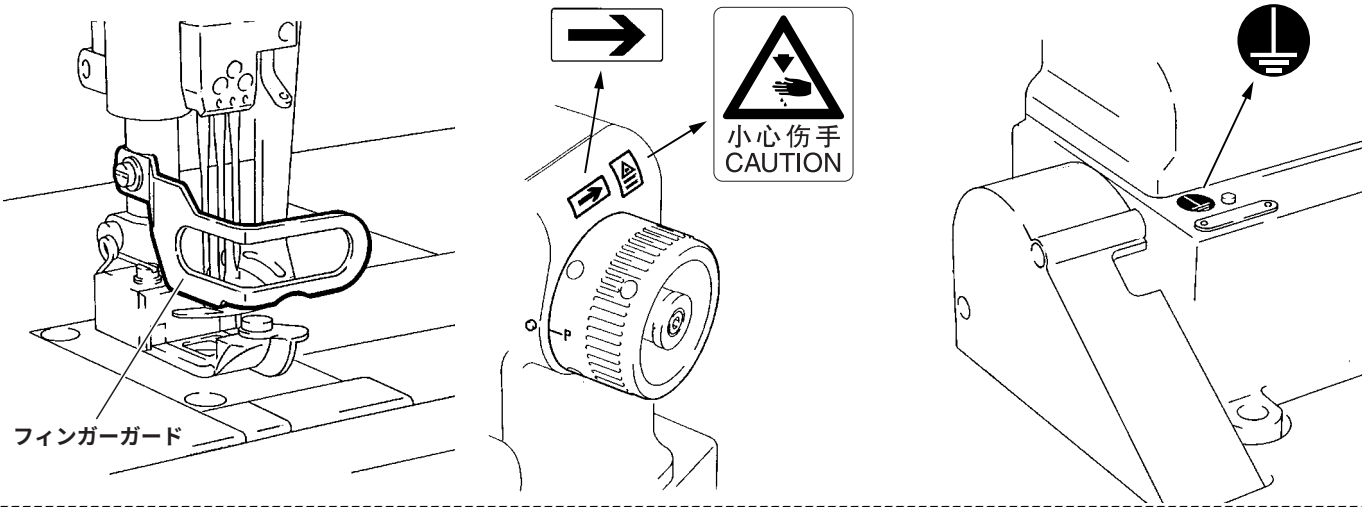
6.お客様独自の判断に基づくミシンの改造は行わないでください。改造によって発生した事故に対しては、当社は責任を負いません。

7.一時的に取り外した安全装置、安全カバーがあれば、作業の終了後に必ず元通りに取り付けてください。

8.保守、点検、修理の作業終了後は、電源投入による危険がないことを確認してください。

5.警告ラベルの貼り付け位置と安全保護装置





6.安全保護装置

この項では、各安全保護装置について知っていただきたい、部分毎の注意事項を記載しています。

⚠注意

安全保護装置

(1)アイガード

開けるな

目の安全の為にも、絶対にアイガードが開いた状態でミシンを操作しないでください。
縫製中に針が折れた際に、目に針の折れたかけらが飛んでこないように、アイガードが取り付けられています。

(2)フィンガーガード

指を入れるな

上下運動する針と、人との接触の危険を避けるため、針付近にフィンガーガードが取り付けられています。
しかしながら、フィンガーガード上方には、簡単に針に糸を通せるように配慮された隙間がありますので、この隙間に指を入れると針が手を突き刺してしまう危険があります。

(3)プーリーカバー

はずすな

ミシンプーリーとVベルトは、プーリーカバーで覆われています。
縫製中(特に高速運転中)は回転しますので、人との接触の危険を避けるためにも、プーリーカバーは必ず取り付けた状態にしておいてください。

(4)プーリー

ミシンのプーリーの回転方向を確認してください。正しい回転方向は、プーリー側からみて右回りです。

(5)押ェ

指を入れるな

針板上面からの押ェの上がり量は5mm以上になりますので、この間に指が挟みこまれてしまう危険があります。
膝スイッチによる押ェ上げ操作や、ペダルによる自動押ェ上げ操作を行う場合は、押ェの下に指を入れないでください。

(6)前カバー

開けるな

ルーパーの運動は、ミシン正面から見たとき、左右往復の円弧運動を行っています。
この円弧運動するルーパーと、人との接触を避けるためにも、必ず前カバーを閉めた状態でミシンを操作してください。

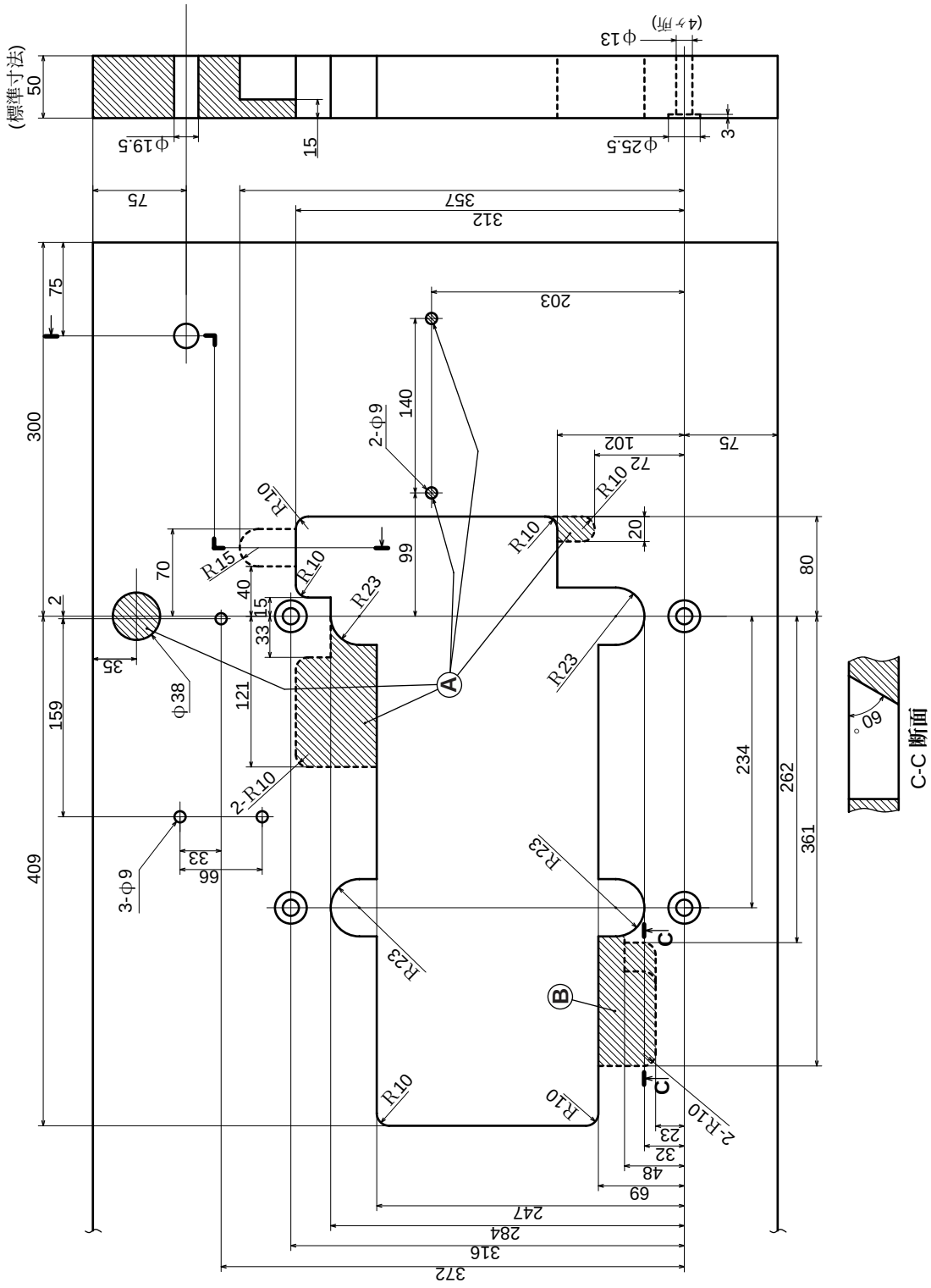
(7)差し板

開けるな

下繰りは、縫製の際に必要な量の下糸を引き出すために、回転運動しています。この回転運動する下糸繰りと、人との接触を避けるためにも、必ず差し板を閉めた状態でミシンを操作してください。

テーブル加工図

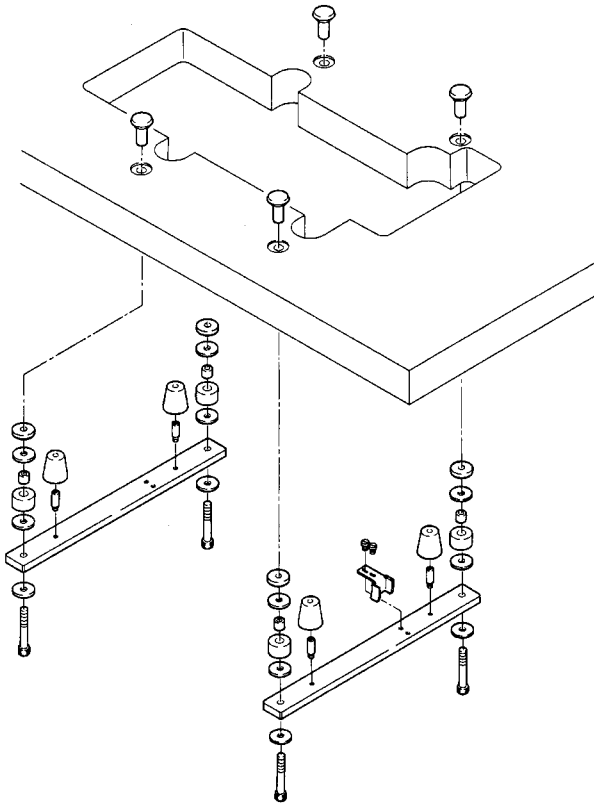
図を参照して、テーブルを加工してください



注1）UT装置を取付ける場合は、Ⓐ部をカットしてください。
注2）FT装置付ミシンを取付ける場合は、Ⓑ部をカットしてください。
注3）モーター取付穴(3-Φ9)の位置寸法は、ナショナル・三菱・日立用です。

据付台の組立

図を参照して、据付台を組み立ててください。
組立にあたっては緩みやガタ付きがないように、確実に行ってください。

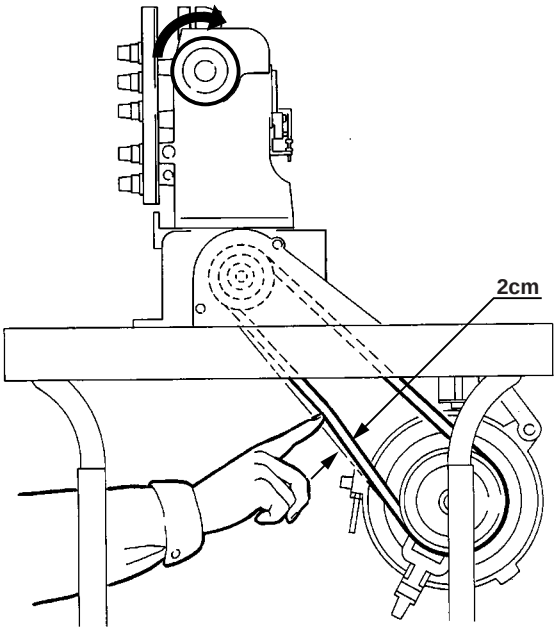


ミシンの据付

⚠注意

ミシンの据付を行う時は、必ずミシンの電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

ミシンを据付台に乗せてから、Vベルトをかけてください。
Vベルトの中間を指で押して約2cm程ベルトがたわむようにミシンモーターの位置を調節してください。

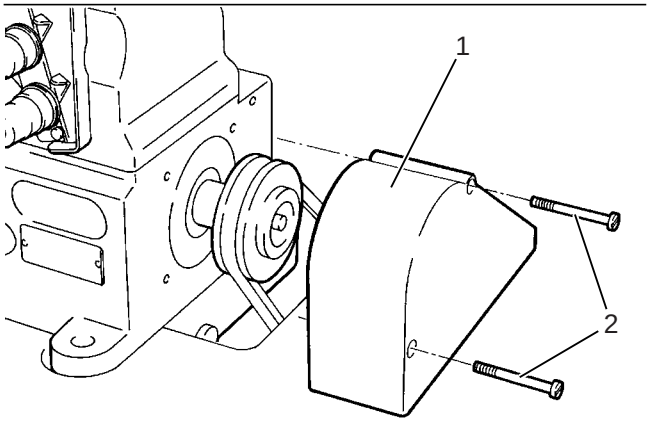


ベルトカバーの取付

⚠注意

ベルトカバーの取付けを行う時は、必ずミシンの電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

右図を参照してベルトカバー 1 をネジ 2 でミシンに取付けてください。



ミシンの回転方向

ミシンの回転方向は、プーリー側からみて右回りです。

給油について

⚠注意

⚠オイルの給油、交換を行うときは必ず当社指定のオイルをご使用ください。指定以外のオイルをご使用になられますとミシンが損傷する恐れがあります。

1. 使用油

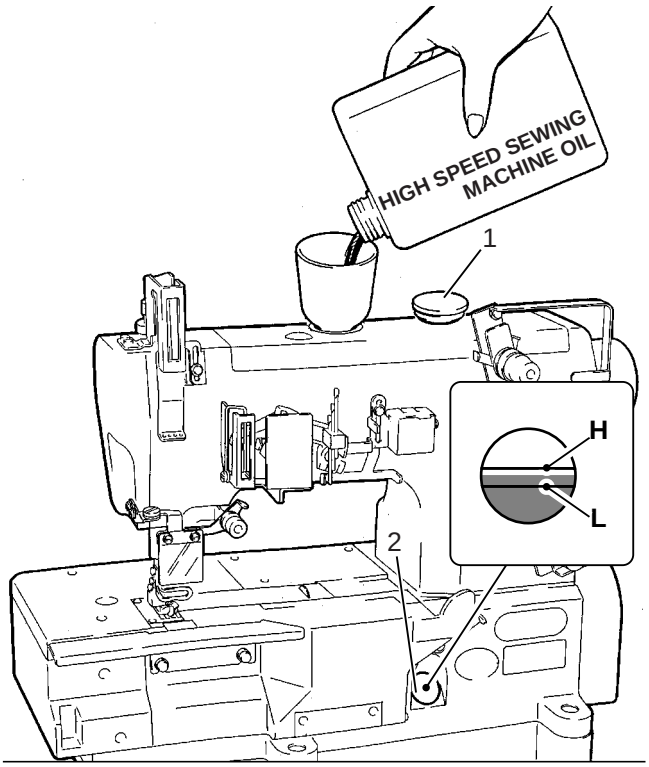
当社指定の「HIGH SPEED SEWING MACHINE OIL 」または相当品の「エッソテックス SM22 （Exxon Mobil 製)」をご使用ください。

2. 給油のしかた

給油口蓋 1 を外し、油面がH線とL線の間にくるように入れてください。
作業が終わったら注油口蓋 1 を取り付けてください。

3. 油の規定量

オイルゲージ 2 のHとLは、油量の上限と下限を示しています。
油面を常に、線HとLの間に保つように給油してください。

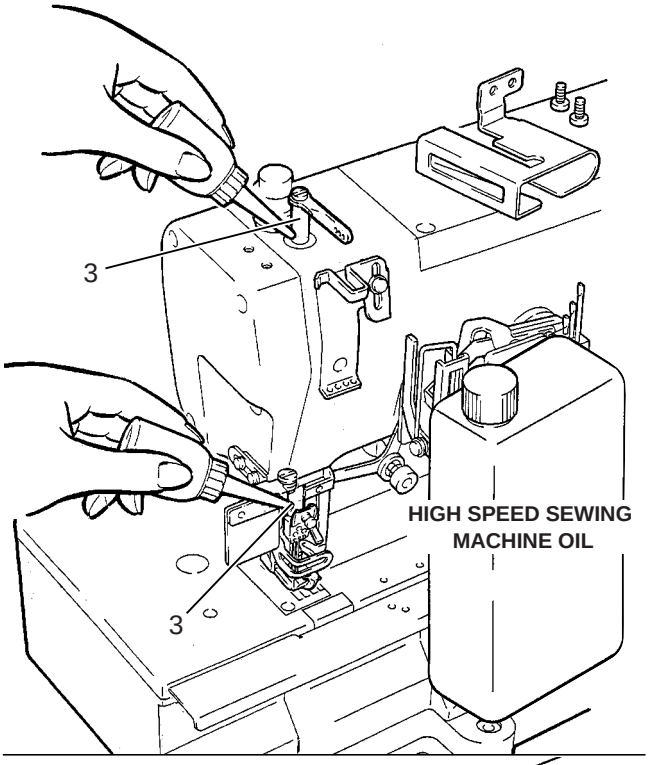


4. 手差し注油

⚠注意

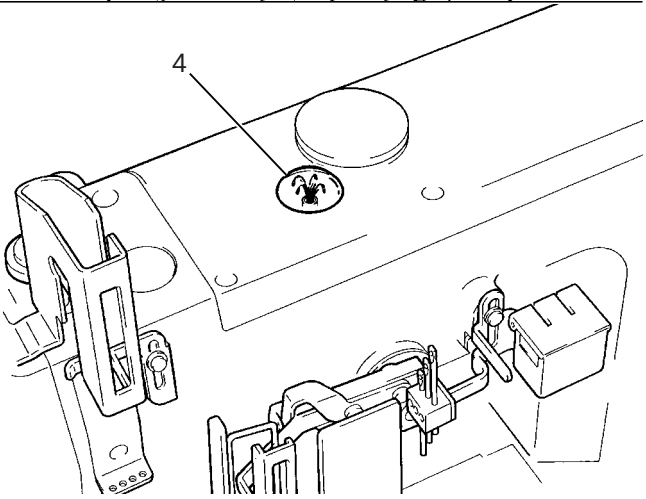
手差し注油を行う時は、必ずミシンの電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

はじめてミシンをお使いになる時と、しばらく使用しなかったミシンをお使いになるときは、油差しで2～3滴ずつ、針棒 3 に給油してください。



5. オイル循環の確認

給油が終わった後、ミシンペダルを踏み、ミシンを回転させて、オイル窓 4 でオイルが循環していることを確認してください。

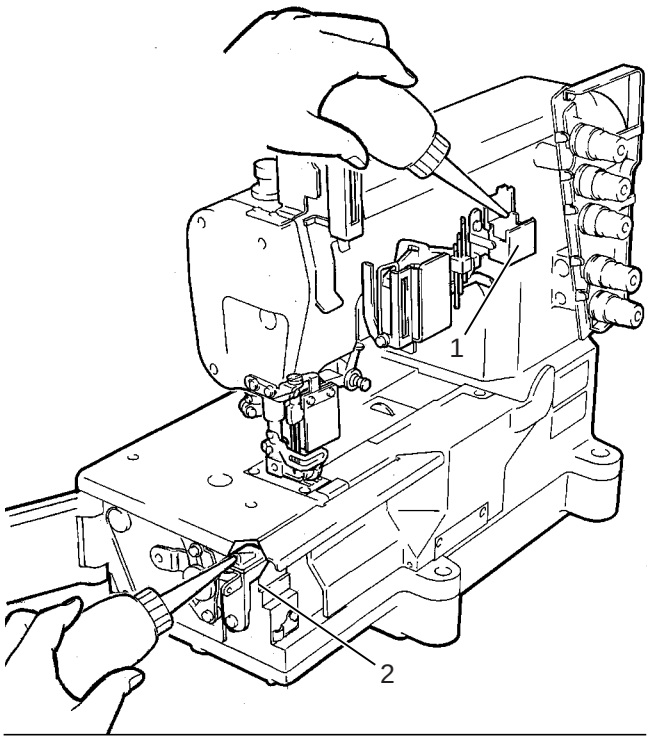


HR装置への給油

⚠注意

HR装置への給油を行う時は、必ずミシンの電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

HR装置のシリコンタンク 1 ・ 2 には、糸切れ防止のために、シリコンオイルがきれることのないように早めに補給してください。

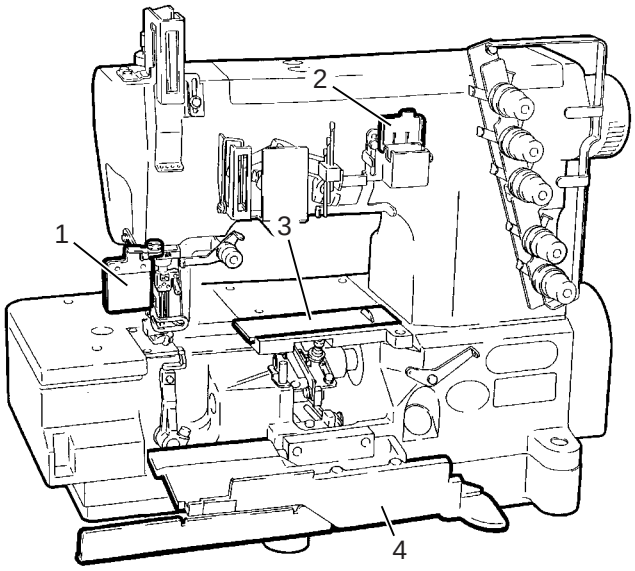


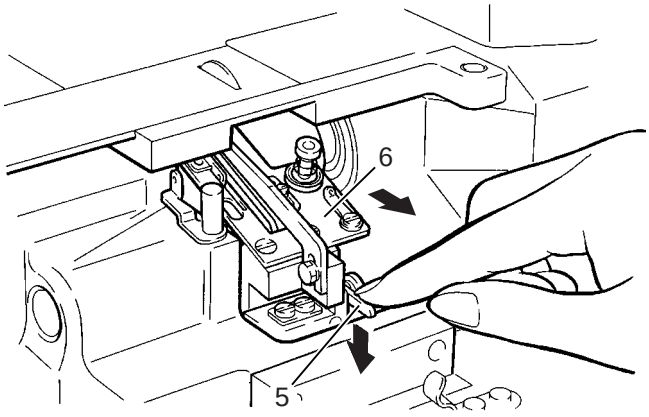
糸の通し方

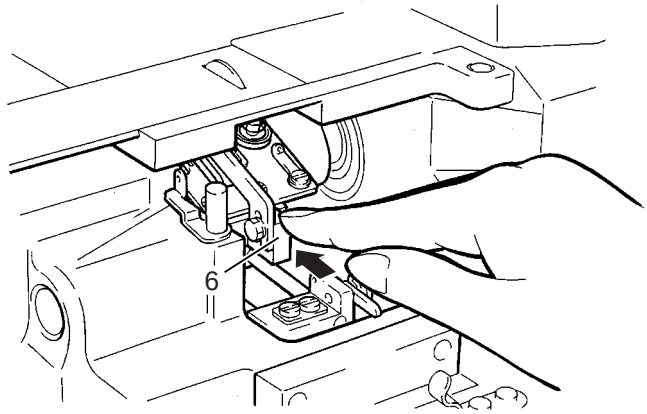
⚠注意

糸通しを行う時は、必ずミシンの電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

1. アイガード 1 と、カバー 2・3・4を開けてください。







2. レバー 5 を、押してください。下糸繰り台 6 が手前に出てきます。糸を通した後、元の位置へ戻すときは、下糸繰り台 6 を押し込んでください。

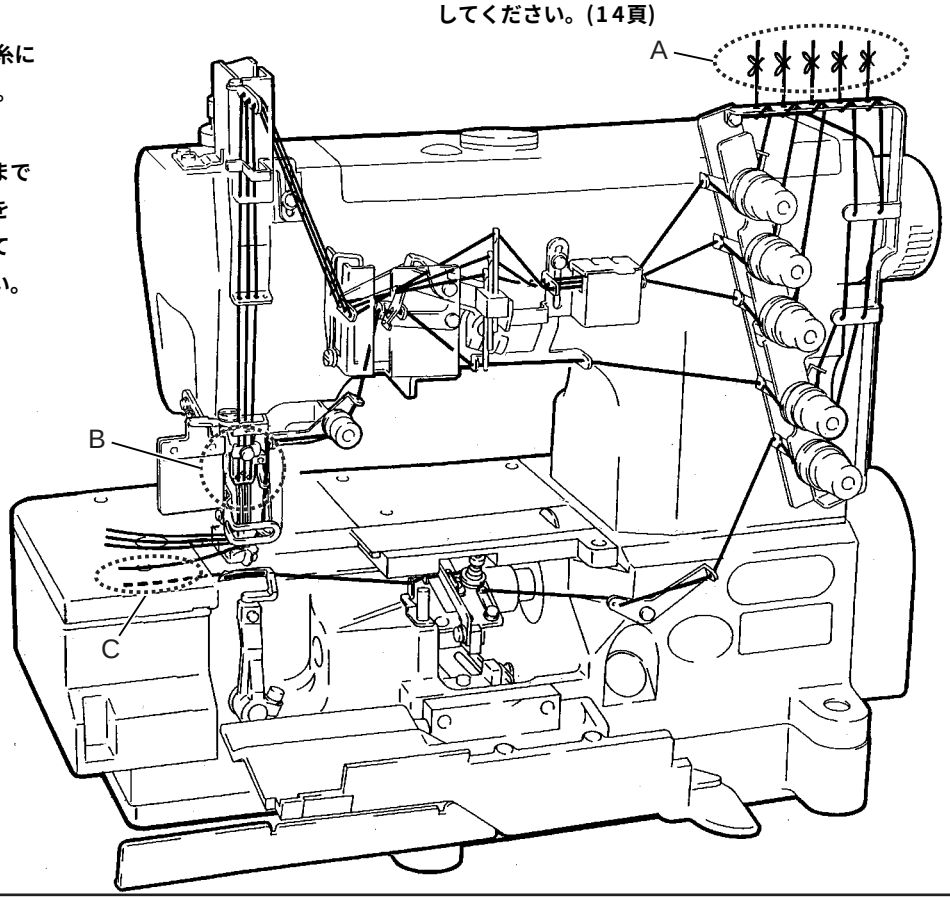
3. (あらかじめ糸が通してある場合)

ミシンに糸が通っていない場合には、糸通し図を見て正しく糸を通してください。(14頁)

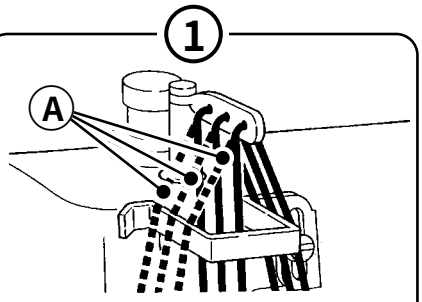
A部：あらかじめ通してある糸に縫製用の糸を結んでください。

B部：針糸
糸の結び目を針の手前まで引き出し、一旦結び目を切り落としてから改めて針に通し直してください。

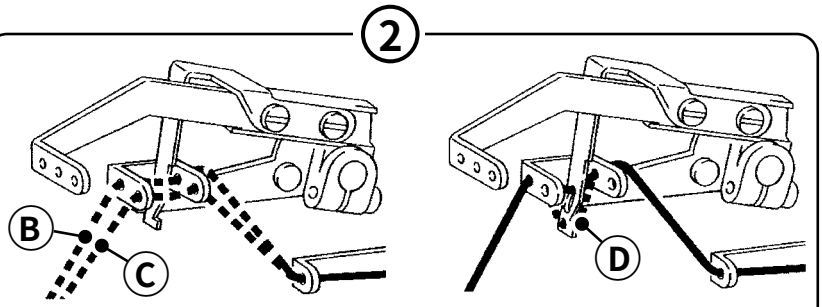
C部：ルーパー糸、上飾り糸
結び目が出てくるまで糸を引き出してから、先端をハサミで切り揃えてください。



4. 糸通し図



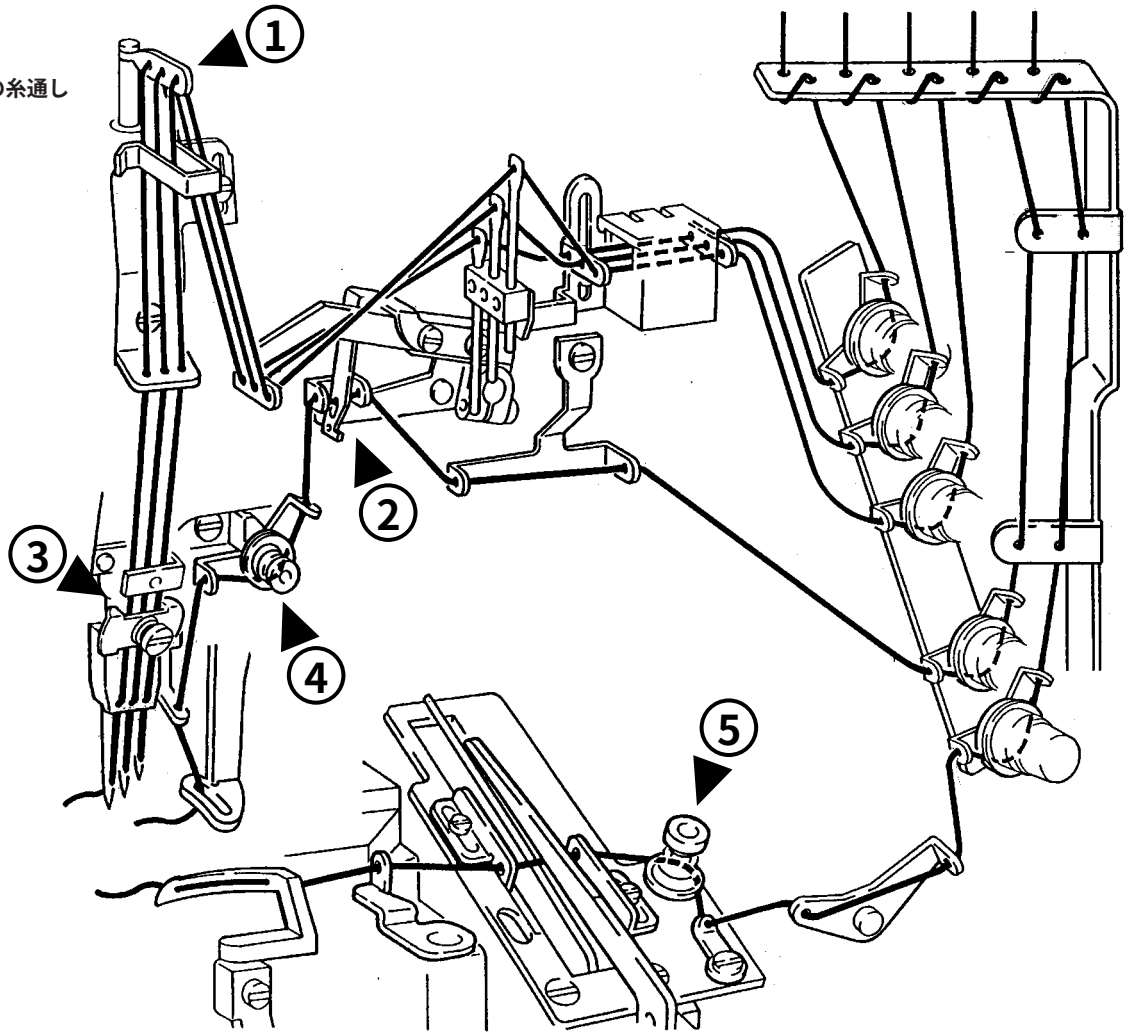
伸びの大きい糸を通す場合。＝ A



飾り糸がゆるみすぎる場合＝ B
B に通してもゆるみすぎる場合＝ C

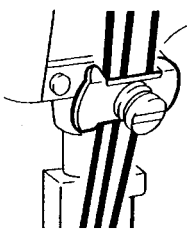
飾り糸がしまりすぎる場合= D

通常の糸通し

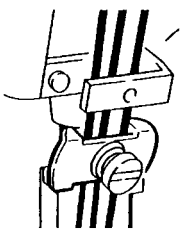


③

伸びの大きい糸を通す場合。

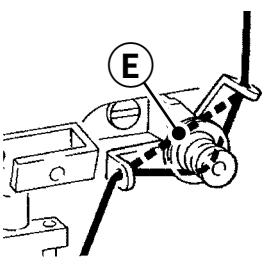


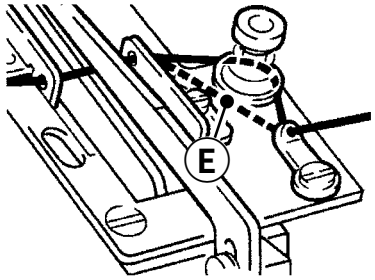
伸びの小さい糸を通す場合。



④ ⑤

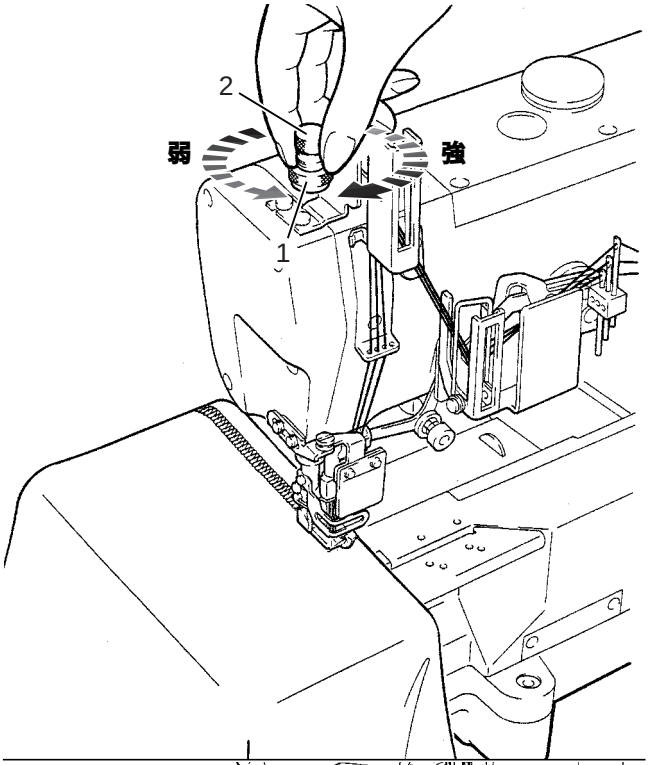
伸びの大きい糸を通す場合。＝ E





押ェ圧力の調節

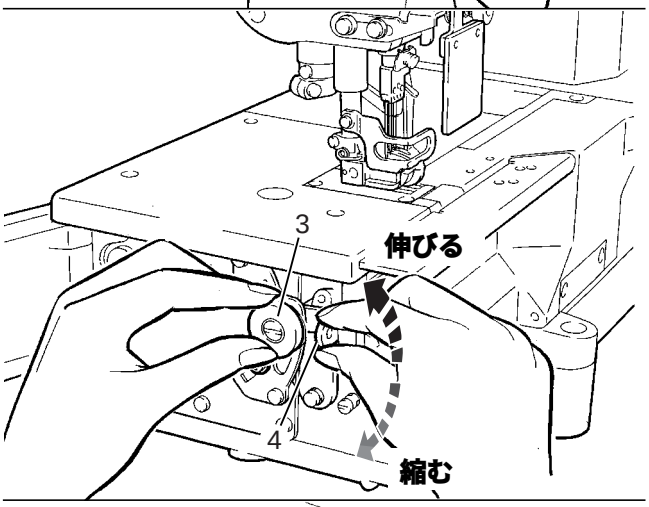
押ェ圧力は、送りが正確にはたらき、安定した縫い目が得られる範囲で、できるだけ弱い圧力でご使用ください。
ナット 1 を緩めて、ネジ 2 を回して調節し、ナット 1 を締めてください。



差動比の調節

1. ナット 3 を緩めて、レバー 4 を下げると、差動比が大きくなり、縫い上がった生地は縮みます。レバー 4 を上げると差動比は小さくなり、縫い上がった生地は伸びます。

2. 調節が終わったら、ナット 3 を締めてください。



縫い目長さの調節

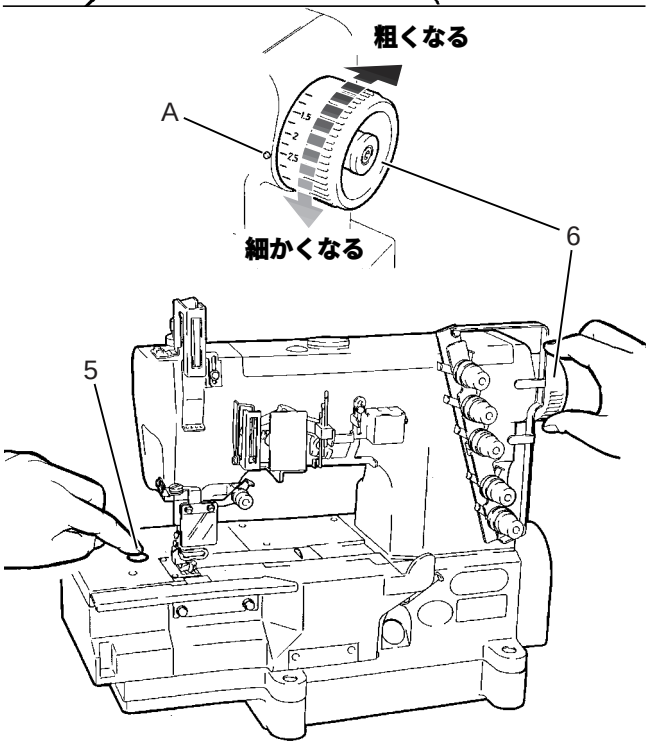
⚠注意

縫い目長さの調節を行う時は、必ずミシンの電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

1. プッシュボタン 5 を軽く押しながらハンドホイール 6 を回すと、プッシュボタンが一段奥へ入ります。

2. プッシュボタン 5 を押したまま、ハンドホイール 6 を回して、合い印 A に希望する目盛りを合わせてください。

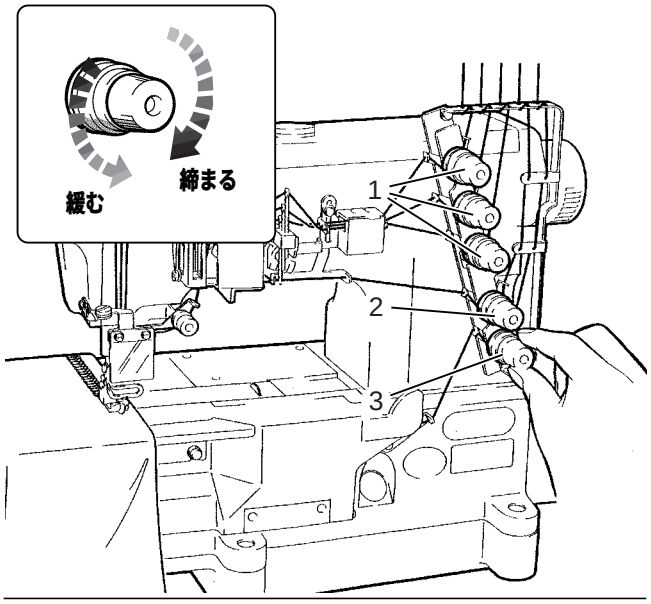
注
縫い目長さの調節は必ず差動比の調節の後に、行ってください。



糸調子の調節

糸調子は針糸調子ナット 1 、上飾り糸調子ナット 2 、下ルーパー調子ナット 3 で調節してください。

糸のしまり具合を強くする場合は各ナットを右へ、弱くする場合は左へ回してバランスのとれた美しい縫い上がりが得られる範囲で、できるだけ弱く調節してください。

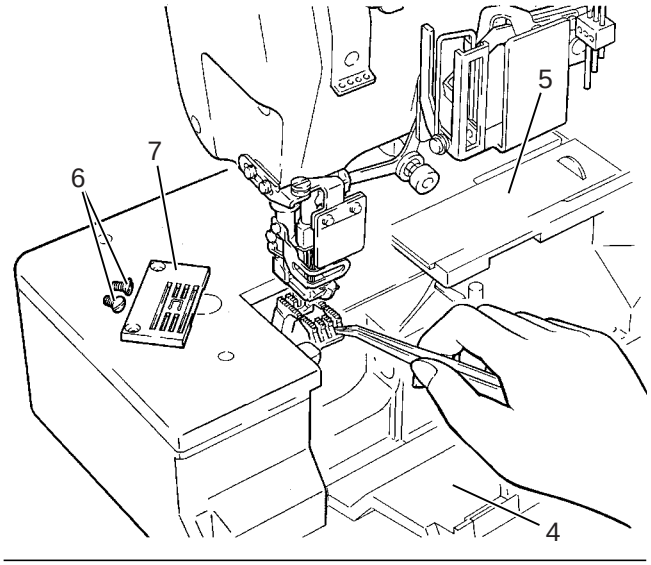


ミシンの掃除

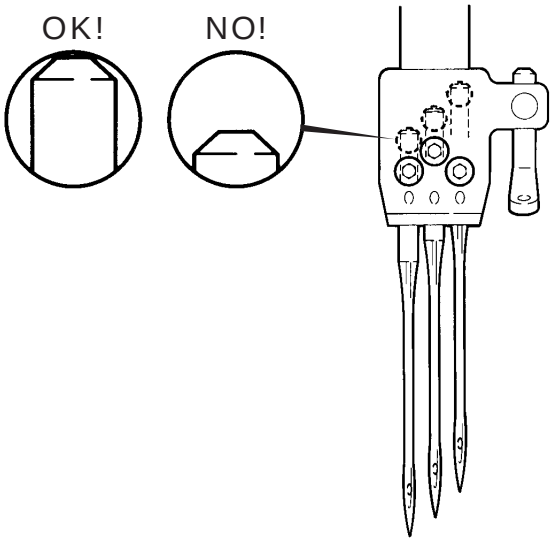
⚠注意

ミシンの掃除を行う時は、必ずミシンの電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

1. 前カバー 4 と差し板 5 を開け、ネジ 6 を緩めて針板 7 を外してください。
2. 針板の溝と送り歯周辺を掃除してください。
3. 針板 7 をネジ 6 で取り付け、前カバー 4 と差し板 5 を閉めてください。



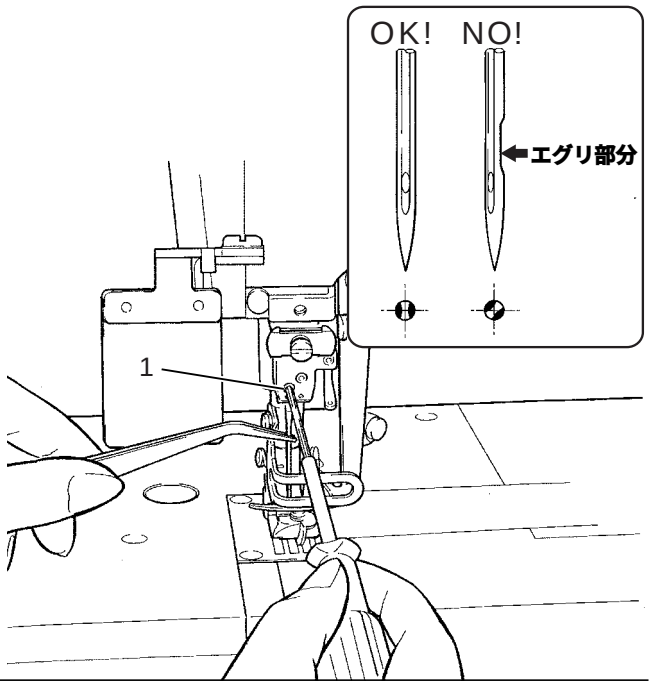
針の取り替え



⚠注意

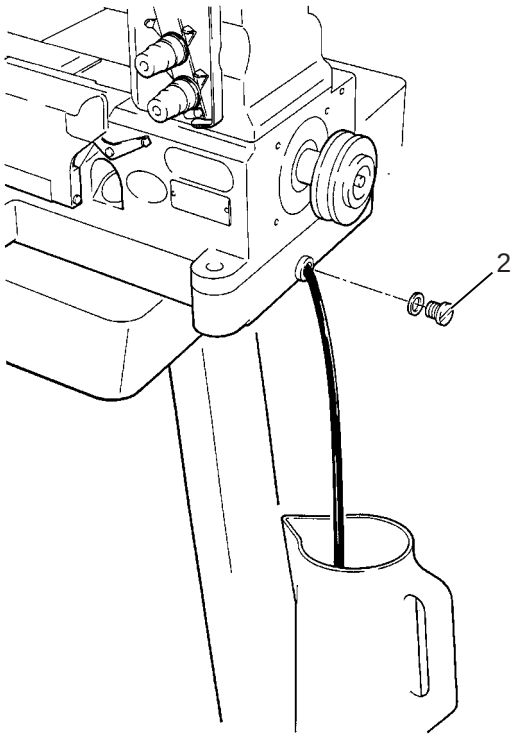
針の取り替えを行う時は、必ずミシンの電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

1. 赤い柄(1.5mm)のキーレンチを使って、止めネジ 1 を緩めてください。
2. 古い針を付属工具のピンセットを使って取り外してください。
3. 針は、エグリをミシンの後方に向けて取付けます。
4. 新しい針をピンセットで取付穴の奥に止まるまで差し込んでください。
5. 赤い柄のキーレンチ(1.5mm)を使って、止めネジ 1 を締めてください。



油の交換

ミシンを使いはじめてから1ヶ月後に、その後は6ヶ月ごとに油を交換してください。
汚れた油をそのまま使用されますとミシンの故障の原因となる恐れがあります。



排油のしかた

1. オイルパンの排油穴蓋ネジ 2 を外して、油を抜き取ってください。
2. 作業が終わったら排油穴蓋ネジ 2 を締めてください。

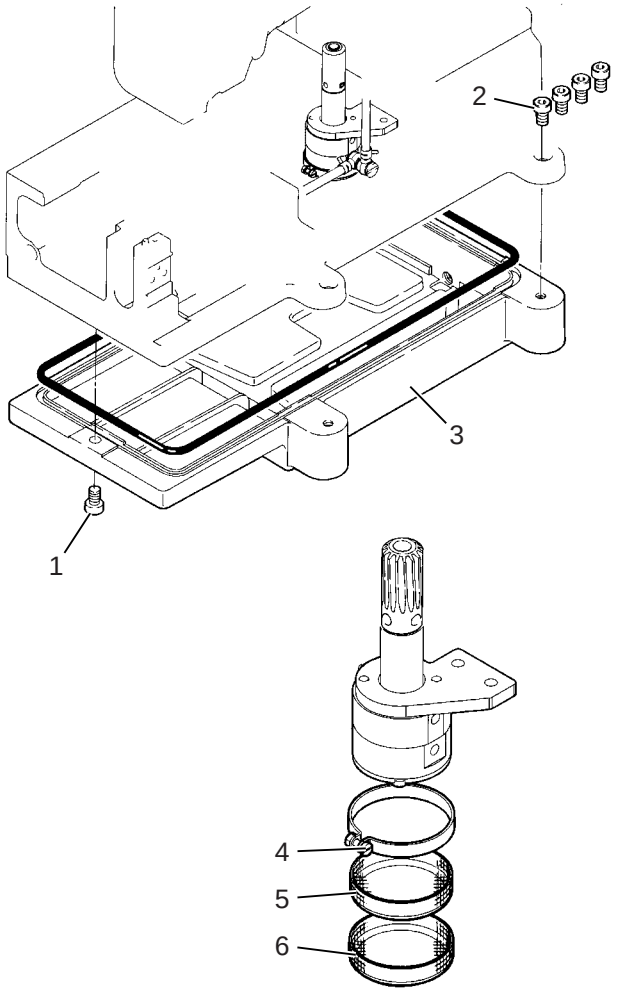
オイルフィルターの点検と清掃

⚠注意

フィルターの点検を行う時は、必ずミシンの電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、専門技術者が行ってください。

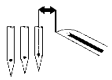
オイルフィルターは、6ヶ月ごとに外して点検または、清掃してください。

1. ネジ 1・2 を外して、オイルパン 3 を外してください。
2. ネジ 4 を緩めて、フィルター(内) 5 とフィルター(外) 6 を外して、点検または、清掃を行ってください。
3. オイルパン 3 、フィルター(内) 5 とフィルター(外) 6 を元の通りに取り付けてください。



調整基準数値

(mm)

	×□□□								
CW562-01GB	240	9.3	4.0～4.3	8.3～8.7	4.5～5.0	17.0	0.8～1.2		
	348	9.4	3.6～3.9	8.8～9.2	4.5～5.0	17.0	0.8～1.2		
	356	8.5	3.2～3.5	8.3～8.7	4.5～5.0	17.0	0.8～1.2		
	364	8.1	2.8～3.1	8.3～8.7	4.5～5.0	17.0	0.8～1.2		
CW562-01DB	460	9.3～9.8	2.8～3.1	8.7～9.2	4.8～5.2	17.2	0.8～1.2		
CW562-02GB	232	9.8	4.4～4.7	8.3～8.7	4.5～5.0	17.0	0.8～1.2		
	240	9.3	4.0～4.3	8.3～8.7	4.5～5.0	17.0	0.8～1.2		
	348	9.4	3.6～3.9	8.8～9.2	4.5～5.0	17.0	0.8～1.2		
	356	8.5	3.2～3.5	8.3～8.7	4.5～5.0	17.0	0.8～1.2		
	364	8.1	2.8～3.1	8.3～8.7	4.5～5.0	17.0	0.8～1.2		
CW562-03DB	240	9.3	4.0～4.3	8.3～8.7	4.5～5.0	17.0	0.8～1.2		
	356	8.5	3.2～3.5	8.3～8.7	4.5～5.0	17.0	0.8～1.2		
	364	8.1	2.8～3.1	8.3～8.7	4.5～5.0	17.0	0.8～1.2		
CW562-05CB	232	9.8	4.4～4.7	8.3～8.7	4.5～5.0	17.0	0.8～1.2		
	240	9.3	4.0～4.3	8.3～8.7	4.5～5.0	17.0	0.8～1.2		
	248	8.9	3.6～3.9	8.3～8.7	4.5～5.0	17.0	0.8～1.2		
	356	8.5	3.2～3.5	8.3～8.7	4.5～5.0	17.0	0.8～1.2		
	364	8.1	2.8～3.1	8.3～8.7	4.5～5.0	17.0	0.8～1.2		
CW562-08AC	240	9.3	4.0～4.3	8.3～8.7	4.5～5.0	17.0	0.8～1.2		
	248	8.9	3.6～3.9	8.3～8.7	4.5～5.0	17.0	0.8～1.2		
	356	8.5	3.2～3.5	8.3～8.7	4.5～5.0	17.0	0.8～1.2		
	364	8.1	2.8～3.1	8.3～8.7	4.5～5.0	17.0	0.8～1.2		
CW562-21BB	356	9.3	3.7～4.0	9.7～10.2	4.5～5.0	17.0	1.2～1.5		
	364	8.8	3.3～3.6	9.7～10.2	4.5～5.0	17.0	1.2～1.5		

針番手対照表

日本番手(オルガン)	#	9	10	11	14	16	18	21
ドイツ番手(シュメッツ)	Nm	65	70	75	90	100	110	130

標準使用針

CW562N-01GB -01DB -02GB -03DB -05CB -08AC -21BB	×□□□	**オルガン** UY128GAS
	232	9S
	240	9S
	348	10S
	356	10S
	364	10S

CW500N シリーズサブクラス仕様表

CW500N Series

用途	サブクラス	針数（本）	糸数（本）	針巾（mm）	最大縫い目長さ（mm）	差動比	押ェ上がり量（mm）	最高回転数（r.p.m.）	備考
基本縫い	CW562N-01GB	2	4	4	4.4	0.5〜1.3	6.3	6,000	
		3	5	4.8･5.6･6.4	4.4	0.5〜1.3	5	6,000	
	CW562N-01DB	5	6	6	3.3	0.7〜1.3	5.5	4,200	
テープ取り	CW562N-02GB	2	4	3.2･4	4.4	0.5〜1.3	6.3	6,000	
		3	5	4.8･5.6･6.4	4.4	0.5〜1.3	5	6,000	
カバーリング	CW562N-03DB	2	4	4	4.4	0.5〜1.3	6.3	6,000	
		3	5	5.6･6.4	4.4	0.5〜1.3	5	6,000	
レースゴム付け	CW562N-05CB	2	4	3.2･4･4.8	4.4	0.5〜1.0	5.3	5,500 (MD付5,000)	
		3	5	5.6･6.4	4.4	0.5〜1.0	5	5,500 (MD付5,000)	
裾伏せ	CW562N-08AC	2	4	4･4.8	4.4	0.5〜1.3	6.3	6,000	
		3	5	5.6･6.4	4.4	0.5〜1.3	5	6,000	
厚物縫い	CW562N-21BB	3	5	5.6･6.4	3.3	0.7〜2.0	7	5,000	

※ 差動比を 1 : 1.3 以上にする場合は、主送り運動量を3.2mm以下にしてください。

縫目形式	602, 605
使用針	UY128GAS #9S UY128GAS #10S
本体寸法 (WxDxH)	W : 495mm D : 280mm H : 414mm

乾燥重量	41.5Kg
総重量	47.5Kg
騒音値	n=5,400rpm : LpA≦82.0dB DIN 45635 48A-1 準拠

Be sure to study very carefully for safety.

Copyright

●This instruction manual may not be reproduced, transcribed, transmitted, distributed or translated into any language, in whole or part, in any form or through a paper or electronic medium, without the prior written permission from Pegasus Sewing Machine Mfg. Co., Ltd.

●Disclaimer

The contents described in this instruction manual are intended for giving information and subject to change without notice. We assume no responsibility for these information, and any errors and/or incorrect descriptions that may appear in this instruction manual.

●Pegasus Sewing Machine Mfg. Co., Ltd. has a policy that we always modify the performance and/or specifications of this product introducing the state-of-the-art technology. Accordingly we reserve the right to change the specifications and/or design without notice.

●This instruction manual is valid for all the models and subclasses listed in the chapter "Specifications."

Directives

This machine is constructed in accordance with the European regulations contained in the conformity and manufacturer's declarations. In addition to this instruction manual, strictly observe all the generally accepted, statutory regulations, legal requirements and all the environmental protection regulations.
Also rigidly adhere to the regionally valid regulations of the social insurance society for occupational accidents or other supervisory organizations.

1.Introduction

●This is the instruction manual that describes how to use this product safely.

●Read this instruction manual and learn very carefully how to operate, adjust and service this sewing machine before beginning any of the procedures.

●You should realize first that there is always the risk of contacting moving parts, such as needles because you have to work at point-blank range to them when you are operating industrial sewing machines.
For safety it is essential that we supply safe products and you use them correctly and safely.
There may be some safety measures that you yourself must take.
Therefore, you should read and understand very carefully this instruction manual together with that of the driving equipment and take necessary safety measures in order to use this machine efficiently and effectively.

2.Indications of dangers, warnings and cautions

To prevent accidents and ensure safety, warning indications which show the degree of danger are used on our products and in this manual.
Study the contents of these indications carefully and follow all warnings and instructions.

Indication labels should be found easily.
Attach new labels when they are stained or removed.
Contact our sales office when new labels are needed.

Symbols, signs and/or signal words which attract users' attention

DANGER	Indicates an immediate hazard to life or limb.
WARNING	Indicates a potential hazard to life or limb.
CAUTION	Indicates a possible mistake that could result in injury or damage.

Symbols and messages

	Be sure to follow the instructions when you operate the machine and/or labor saving device.
	If you use the machine and/or labor saving device incorrectly, you may get an electrical shock.
	If you use the machine and/or labor saving device incorrectly, your hands and/or fingers may be injured.
	Indicates a danger of burn injury due to high temperature.
	Never do this.
	Unplug the machine or shut off the power when checking, adjusting and/or repairing the machine and/or labor saving device, or when lightning may strike.
	Be sure to ground the machine and labor saving device securely.
	Denotes the normal rotating direction of the machine pully.

3.Safety precautions

①Applications, purpose

Our industrial sewing machines have been developed in order to increase quality and/or production in the sewing industry. Accordingly never use our products for other than intended use described above.

②Circumstances

The environment in which our industrial sewing machines are used may seriously affect their lives, functions, performance and/or safety.

For safety, do not use the machine under the circumstances below.

1.Do not use the machine near objects which make noise such as a high-frequency welder, etc.
2.Do not use or store the machine in the air which has vapor from chemicals, or do not expose the device to chemicals.
3.Do not leave the machine outside, in high temperatures or the direct sun.
4.Do not use the machine in the places of high ambient temperature and humidity that seriously affects sewing machines.
5.Do not use the machine on the condition that the voltage fluctuation range is more than ± 10% of the rated voltage.
6.Do not use the machine in the place where the supply voltage specified for the control motor cannot be properly obtained.

③Safety measures

(1)Safety precautions when you perform maintenance on the machine.

●Always turn off the power, unplug the machine and then make sure that the machine does not run by pressing the treadle before performing any maintenance, such as checking, repairing, cleaning, etc. However, if you need to perform these procedures with the power on, to prevent accidents due to the unexpected start of the machine and users' misoperation, estabish your oun procedures for safety and follow them.

●Always turn off the power and unplug the machine before performing the procedures shown below.

- Lubrication
- Threading
- Cleaning
- Replacing the needle
- Checking/replacing the oil element
- Replacing the oil

●Always turn off the power before performing the procedures shown below.
- Adjusting the stitch length
- Adjusting the differential feed ratio

●Only well-trained people should perform routine daily maintenance and/or repair the machine.

●Do not modify the machine yourself.

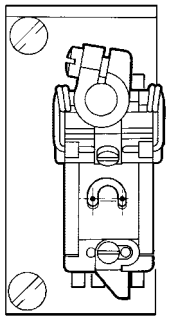
※Consult your local Pegasus' sales office or representative for modification.

(2)Before operating the machine

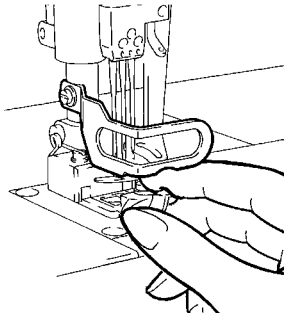
●Check the machine head and unit for any damage and/or faulty function at the start of each day.
If there should be something wrong with the machine, immediately perform repairs and/or other necessary procedures.

●Check by hand to see if the needle holder is secured.
※Be careful of the needle point.

●Before starting the machine, make sure that the presser foot is positioned correctly (turn the machine pulley slowly by hand to see if the needle point is centered in the needle drop hole on the presser foot).



●Check to see if the presser foot is secured (raise the presser foot by the foot lifter and press it by hand front to back and left to right).



(3)Training

●To prevent accidents, operators and service/maintenance personnel should have proper knowledge and skills for safe operation.
To ensure so, managers must design and conduct training for these people.

4.Notes for each procedure

CAUTION

①Unpacking

1.The machine is packaged in a cardboard box before shipping. Unpack your machine in orderly sequence while checking them right-side up by referring to the indications, such as logo, etc. printed on the boxes.
2.Never hold the area near the needle and/or thread guide related parts when taking out the machine from the cushion. Otherwise it may cause injury and/or damage to the machine.
3.Take out the machine very carefully while checking the position of the center of the gravity.
4.Keep the cardboard box and packing carefully in case secondary transport is needed in the future.

Disposal of the packaging

●The packaging material of the machine consists of wood, paper, cardboard and VCE fiber. The proper disposal of the packaging is the responsibility of the customer.

Disposal of machine waste

1.The proper disposal of machine waste is the responsibility of the customer.
2.The materials used on the machines are steel, aluminum, brass and various plastics.
3.The machine waste is to be disposed of in accordance with the locally valid environmental protection regulations. A specialist should be commissioned if necessary.
※The parts contaminated with lubricants should be disposed off separately according to the locally valid environmental protection regulations.

Transport within the customer's premises

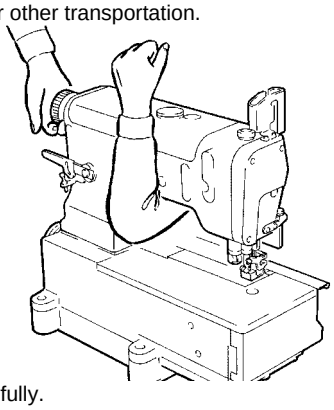
●The manufacturer assumes no liability for transport within the customer's premises. Care should be taken to transport the machine in an upright position avoiding it from dropping or falling down to the ground when it is moved.

⚠WARNING

②Transportation

1.The machine should be carried by at least more than two people when it is mounted on the table and/or a hand truck.
Be sure to use a hand truck for other transportation.

2.To carry the machine, hold the machine pulley tightly with your right hand and the machine arm with your left upper arm.
If the machine and/or your hands are stained with oil, the machine may be easy to slip out of your hands and fall to the floor.
Therefore, wipe off the oil carefully.



3.Care should be taken to avoid excessive shock and shake when the machine is mounted on the table and/or transferred using a hand truck. Otherwise the machine may fall down.

4.Wipe off the oil from the machine before packaging it again for secondary transport. Otherwise the machine may easily slip out of your hands or the bottom of the box may come off while in transit.

⚠CAUTION

③Installation, preparation

Machine table

1.Use the machine table (table board, metal legs) that completely carries the machine and is fully resistant to warping while the machine is running.

2.Arrange the working environment for easy operation by considering where to place the machine and the brightness around the working area. If the illumination is insufficient, control or change lighting as required.

3.Attach a non-slip pad to the treadle (foot switch).
Otherwise the operator may slip off the treadle while running the machine, causing trouble.

4.Adjust the height of the table according to a working posture of the operator.

⚠WARNING

Cables

1.When connecting the cables between the machine and the motor, be sure to turn off the power and connect each cable connectors securely.

2.Do not strain the cables in use.

3. ⃠ Do not bend the cables excessively.

4.When connecting the cables that are close to the moving parts, such as pulley or V belt, keep a distance of 25mm at least between them.

5.Protect each cable using a cover or adjusting its position if necessary.

6. ⃠ Never use staples to fasten the cables.
Otherwise it causes a short circuit and/or a fire.

⚠CAUTION

Motor

1.Install the machine motor correctly by referring to the instruction manual supplied by the manufacturer.

2.Select the machine motor equipped with the pulley cover so that any part of your body etc. is not caught in the belt.

⚠CAUTION

Ground

1.Connect each of the ground wires in the sewing machine system to the ground terminal. Do not connect to another devices'.

2. ⏚ Connect the ground wires securely to the indicated ground points on the machine head.

⚠WARNING

④Handling machine oil

1.Never start the machine with no oil in the reservoir.
Use the following oil.
Pegasus designated oil: HIGH SPEED SEWING MACHINE OIL
or Equivalents: ESSOTEX SM22 manufactured by Exxon Mobil.

2.If machine oil gets in your eyes, it may cause eye irritation.
To prevent the machine oil from getting in your eyes, wear a pair of protective glasses.

※Should machine oil gets in your eyes, wash them with fresh water for 15 minutes and then go to see a doctor.

3.Avoid skin contact. Immediately wash contacted areas completely with water and soap.

4. Never swallow machine oil.

5.Keep machine oil out of the reach of children.
※If swallowed, do not induce vomiting.
Immediately go to see a doctor.

6.Dispose of the waste oil and/or containers properly as demanded by law. If you have further questions on its disposal, consult the store or shop at which you purchased it.

7.After opening the oil container, be sure to seal it to prevent dust and water from getting into the oil and keep it in the dark to avoid direct sunlight.

⚠WARNING

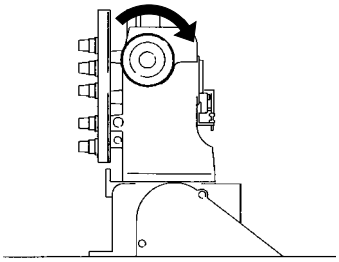
⑤Before starting the machine

Machine table

1.Before turning the power on, visually check the cables and connectors for defective conditions, such as damage, disconnection and/or loosening.

2.Never bring your hands close to the needle and/or pulley when turning on the power.

3.When the machine is used for the first time, turn on the power and then check the rotating direction of the machine pulley.
The machine pulley should turn clockwise as seen from the machine pulley.



4.Well trained operators should use the machine after studying these precautions and the instruction manual carefully.

5.Regarding symbols that indicate a danger or a warning, read and study "2. Waning indications" carefully and give training on safety to the operators as required.

6.Run the machine at the speed less than 3/4 of its maximum for the first one month.

⚠WARNING

⑥Precautions while you are running the machine

1. Do not run the machine with the safety devices removed, such as eye guard, finger guard, pulley cover, etc.

2. Never bring your hands under the needle while running the machine.

3.A clutch motor keeps on running for a while after the power is turned off. Therefore, be careful even after the power is turned off as the machine could start running by pressing the machine treadle.

4. To prevent accidents, never bring any part of your fingers, hair and clothes near the machine pulley, V belt, motor pulley, thread take-up and needle bar. Also never leave scissors, tweezers, tools, etc. around these areas.

5. If you use the machine with the FT device, do not bring any part of your hands and fingers too close to the FT during sewing. Otherwise it may cause accidents and physical in jury.

6.Always turn off the power while the machine is not used or before leaving the machine table.

7.In the event of a power failure, be sure to turn off the power.

8.While operating the machine, wear clothes that cannot be caught in the machine.

9. Do not put any tools or other unnecessary objects on the machine table while running the machine.

⚠CAUTION

⑦Maintenance, Check, Repair

1.Well trained people should perform maintenance, check and repair of the machine after studying these precautions and the instruction manual carefully.

2. If it is necessary to lay the machine backward for maintenance, check and repair, always turn off the power, unplug the machine and press the treadle to make sure that the machine dose not operate before beginning any of the procedures.

3. Before installing/removing the V belt, always turn off the power, unplug the machine and press the treadle to make sure the machine does not operate.

4.Carry out daily maintenance work and periodical inspections properly by following these precautions and the instruction manual.

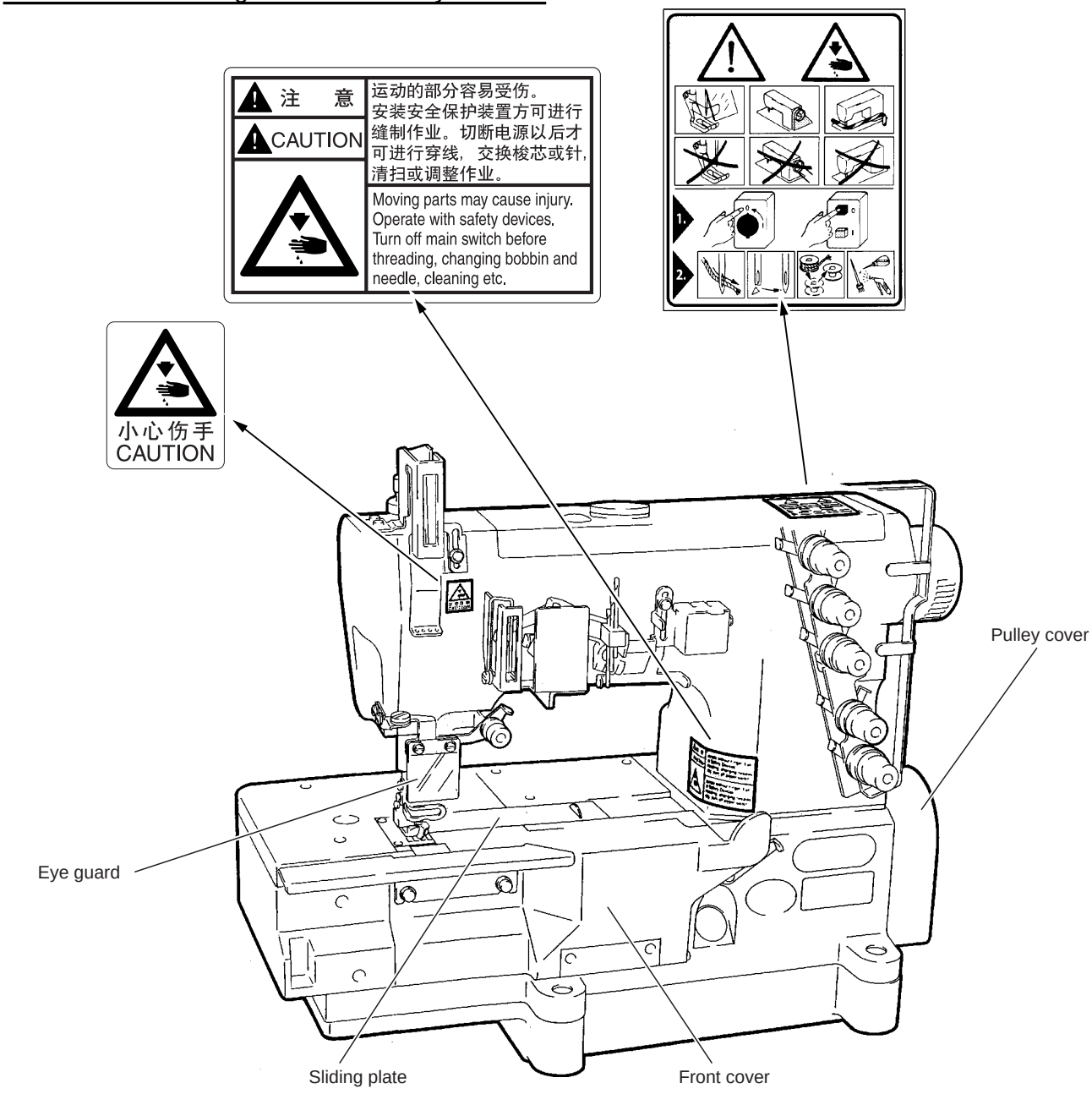
5.Employ Pegasus' genuine parts when repairing the machine and/or replacing the parts. We are not responsible for accidents caused by any improper repair/adjustment and substituting other parts for thoes manufactured by Pegasus.

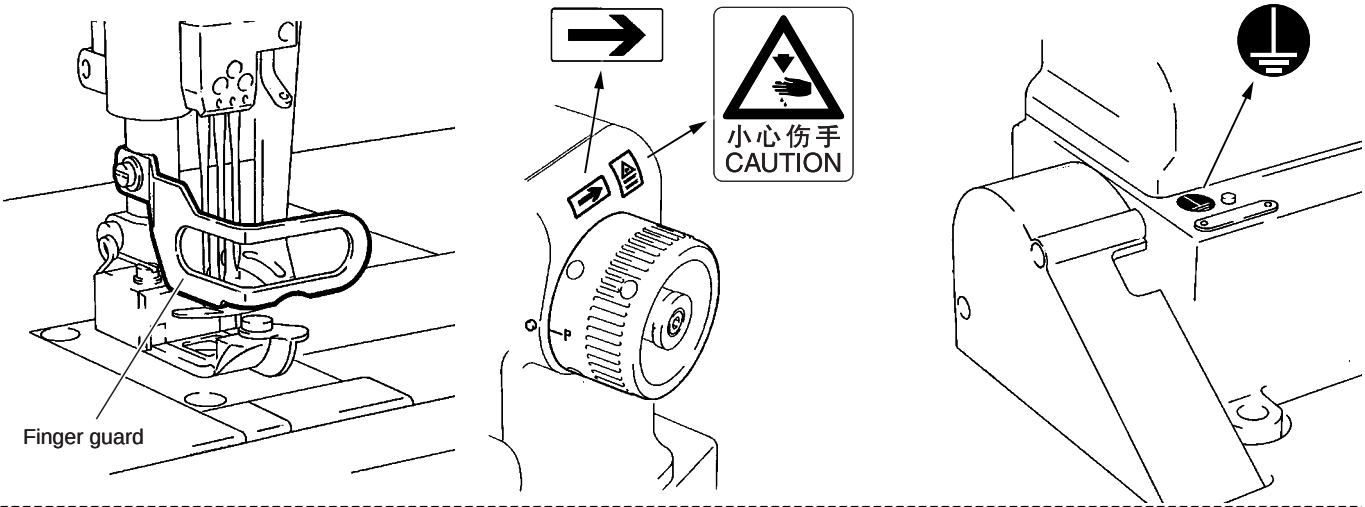
6.Do not attempt to modify the machine at your own discretion. We are not responsible for accidents caused by the modification.

7.Be sure to replace the safety devices and/or safety covers that are temporarily removed for maintenance and/or adjustment.

8.After performing maintenance, check and repair, make sure that turning on the power does not pose any danger to you.

5.Location of warning labels and safety devices





6.Protectors for safety

This chapter describes each protector for safety. Therefore, read and study the following carefully.

⚠CAUTION

Protectors for safety

(1) Eye guard

Never leave the eye guard open.
For the safety of eyes, do not operate the machine with the eye guard open. The eye guard will prevent any pieces of the broken needle from getting into your eyes if the needle should break during sewing.

(2) Finger guard

Never insert any of your fingers.
To prevent the needle that moves up and down from contacting any of your body, the finger guard is installed close to the needle. However, there is clearance above the finger guard for easy threading. Be careful that the needle may penetrate any of your fingers if you insert it into this clearance.

(3) Pulley cover

Never remove.
The machine pulley and V belt are covered with the pulley cover. The machine pulley and the V belt rotate at high speed during sewing. To prevent accidents, operate the machine with the pulley cover installed in place.

(4) Pulley

Check the direction in which the machine pulley rotates.
It should rotate clockwise as seen from the pulley.

(5) Presser foot

Never insert any of your fingers.
There is a clearance of more than 5mm between the top surface of the needle plate and the presser foot.
Be careful that none of your fingers are caught in this clearance.
Never insert any of your fingers under the presser foot when raising the presser foot with the knee switch or automatically raising it with the treadle.

(6)Front cover

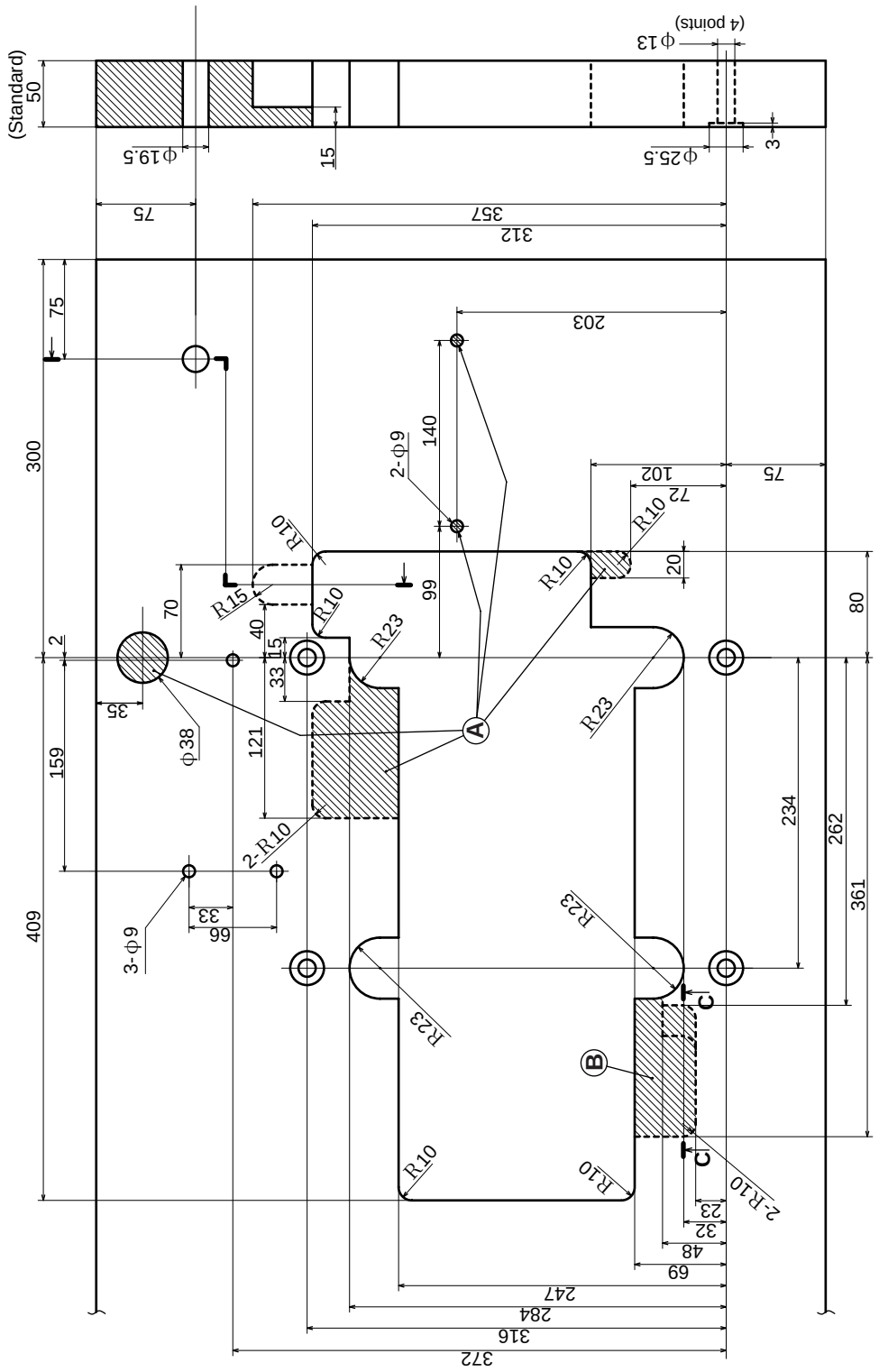
Never leave the front cover open.
The looper travels left to right while drawing an arc as seen from the front of the machine. To prevent the looper from contacting any part of your body, be sure to operate the machine with the front cover closed securely.

(7) Sliding plate

Never leave the sliding plate open.
The looper thread take-up rotates in order to supply the required amount of looper thread during sewing. To prevent the looper thread take-up from contacting any of your body, be sure to operate the machine with the sliding plate closed securely.

Schematic diagram of the machine table

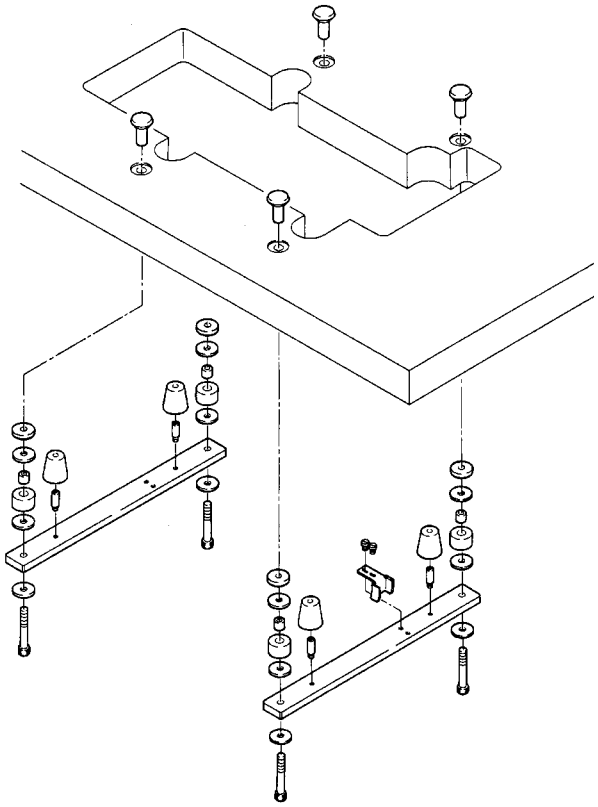
Cut the table referring to the diagram.



Note 1) If you use UT device, cut area Ⓐ.
Note 2) If the machine is equipped with FT device, cut area Ⓑ.
Note 3) The dimension is used for positioning the hole (3-φ9) for Panaís, Mitsubishiís or Hitachiís motor installation.

Assembling the machine rest board

Assemble the components comprising the machine rest board by referring to the illustration below. Be sure to secure all rods, nuts and bolts firmly with no shake.

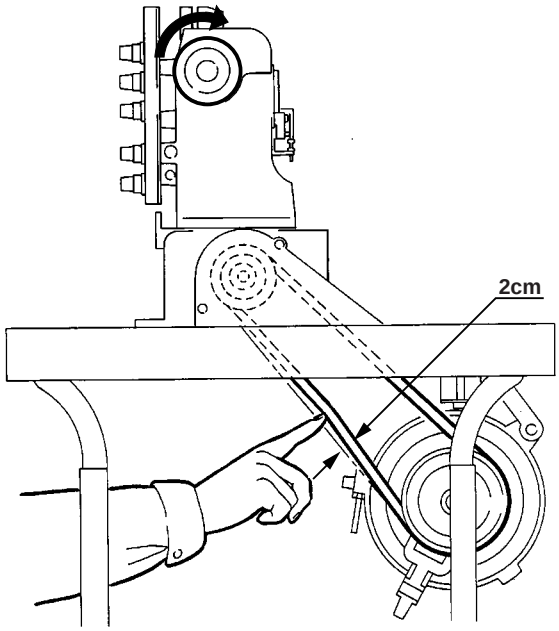


Sewing machine installation

⚠CAUTION

Always turn off the power, unplug the machine and then well-qualified technicians should install the machine.

Mount the machine on the machine rest board first. Put the V belt in place. Position the machine motor so that an approx. 2cm deflection can be obtained by pressing the center of the belt (see the illustration).

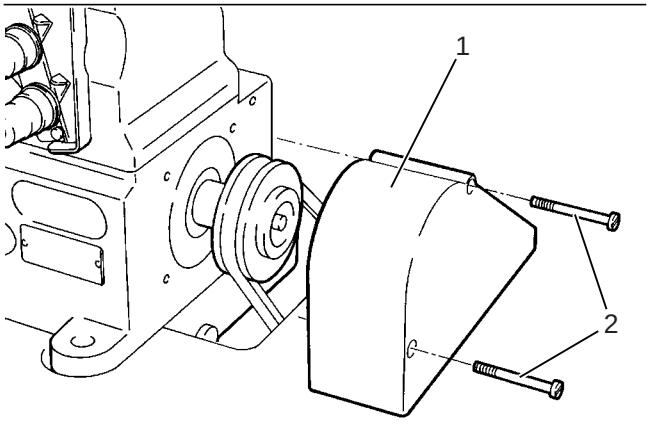


Installing the belt cover

⚠CAUTION

Always turn off the power, unplug the machine and then well-qualified technicians should install the belt cover.

Install belt cover **1** on the machine with screws **2**.



Operating direction of the machine pulley

The machine pulley rotates clockwise as seen from the end of the machine pulley.

Lubrication

⚠CAUTION

⚠When lubricating the machine and/or replacing the oil, use Pegasus recommended oil. Using other oils may damage the machine.

1. Oil

Use the following oil.

Pegasus designated oil: HIGH SPEED SEWING MACHINE OIL

orEquivalents: ESSOTEX SM22 manufactured by Exxon Mobil.

2. To fill the machine with oil

Remove cap **1**.

Add the oil until the oil level (see oil gauge **2**) reaches (H).

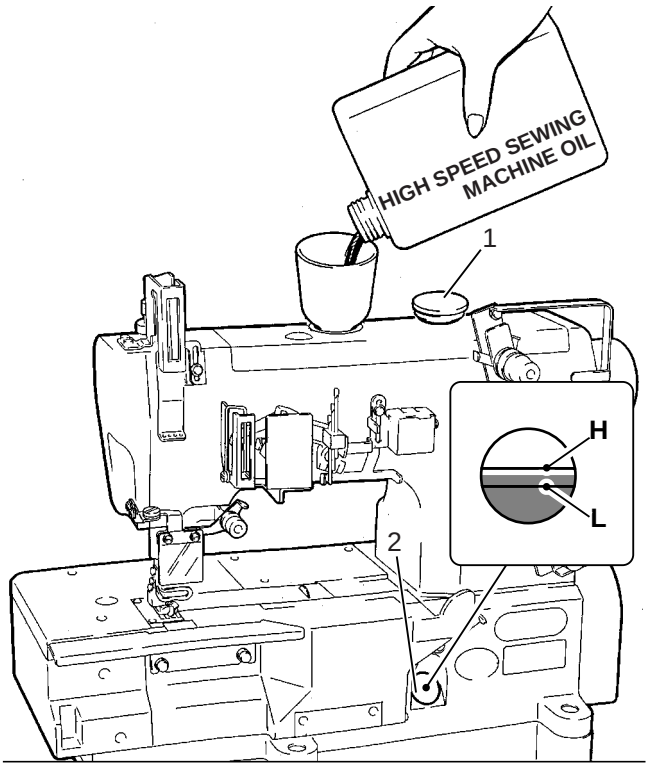
After filling the tank with oil, replace cap **1**.

3. Required amount of oil

(H) on oil gauge **2**: Upper limit

(L) on oil gauge **2**: Lower limit

The oil level should always lie between (H) and (L).

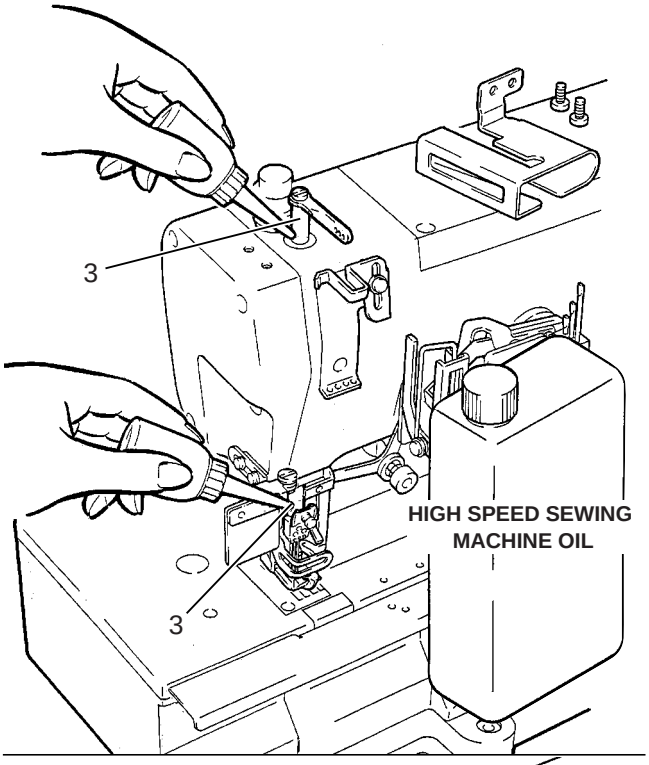


4. Manual lubrication

⚠CAUTION

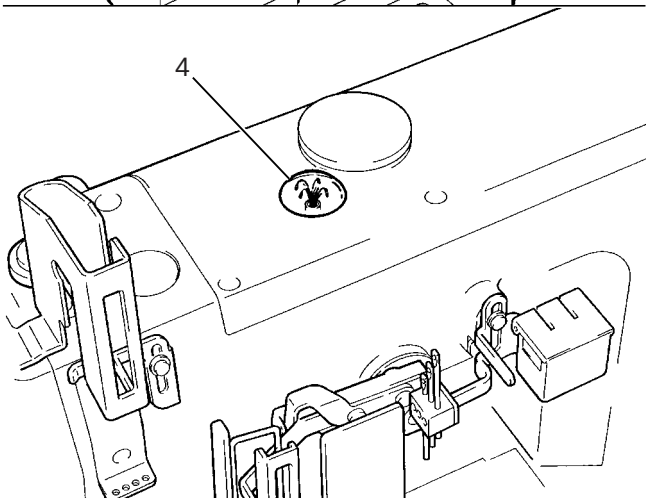
Always turn off the power and unplug the machine when you apply oil by hand.

Apply two or three drops of oil to needle bar **3** by hand when the machine is used for the first time or left unused for some time.



5. Checking oil circulation

Once the machine has been properly filled with oil, press the machine treadle to run the machine and check oil gauge window **4** to see if the oil is flowing.

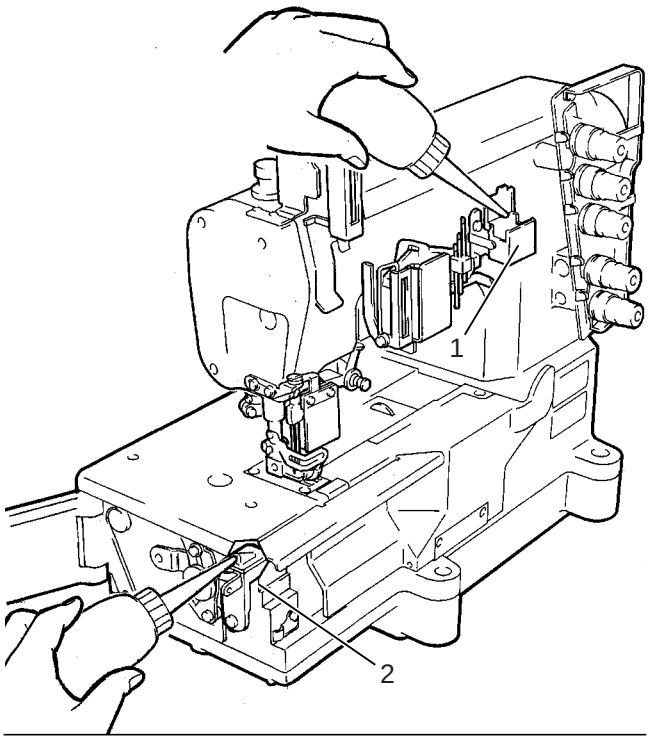


Silicone oil for H.R. device

⚠CAUTION

Always turn off the power and unplug the machine when you fill the HR device with silicone oil.

Fill silicone oil tanks **1**, **2** with silicone oil.
To prevent thread breakage or fabric damage, add the silicone oil before it is too low.

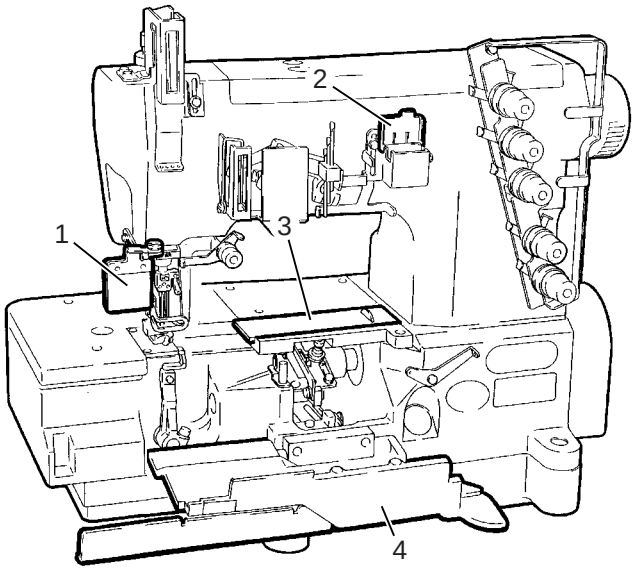


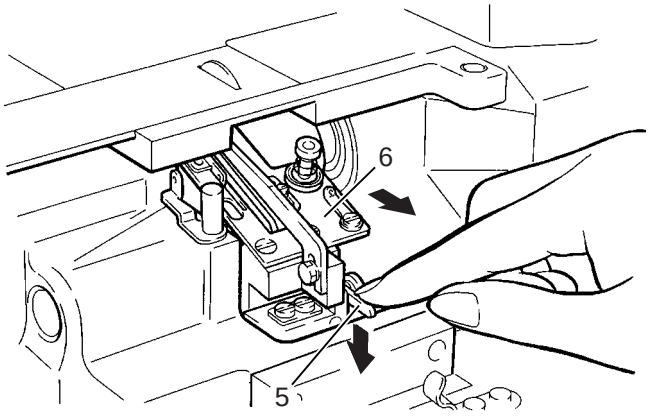
Threading

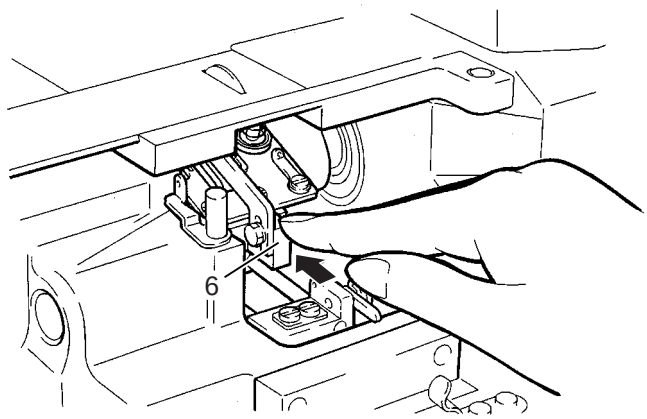
⚠CAUTION

Always turn off the power and unplug the machine when you thread the machine.

1. Open eye guard **1** and covers **2** , **3** and **4**.







2. Press lever **5** and bracket **6** comes out toward you. After threading, press bracket **6** into place.

3. In case the machine is threaded previously

Be sure to thread the machine correctly by referring to the threading diagram. (See page 34)

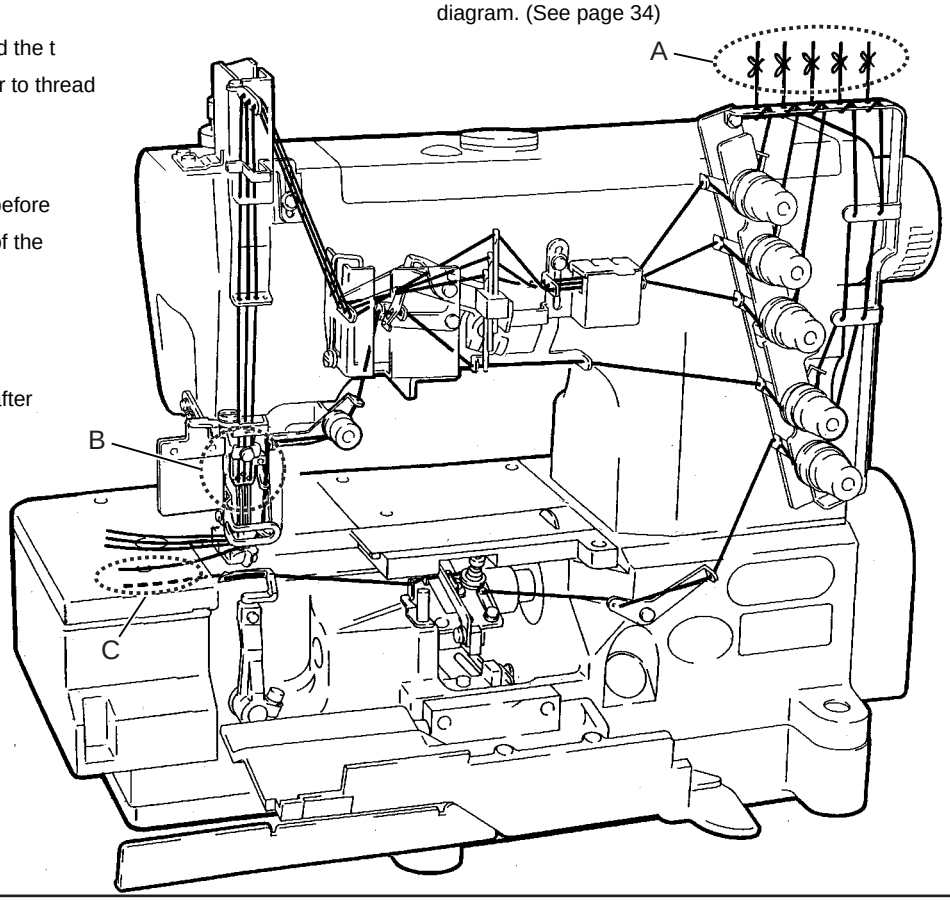
A : Knot the preset thread and the t hread being used together to thread the machine.

B : Needle thread

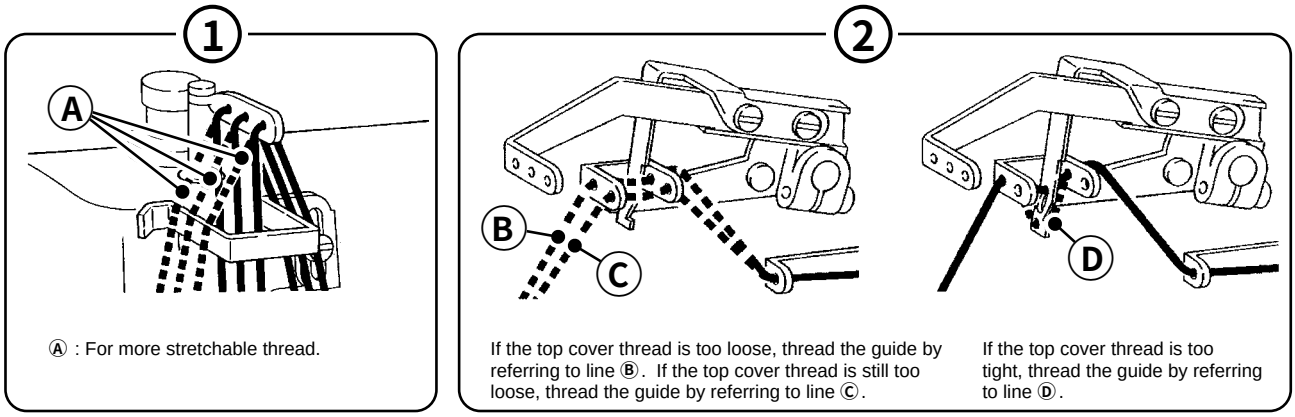
Trim the knots off neatly before passing through the eye of the needle to thread.

C : Looper thread, Top cover thread

Trim the knots off neatly after passing through the eye of the looper.



4. Threading diagram

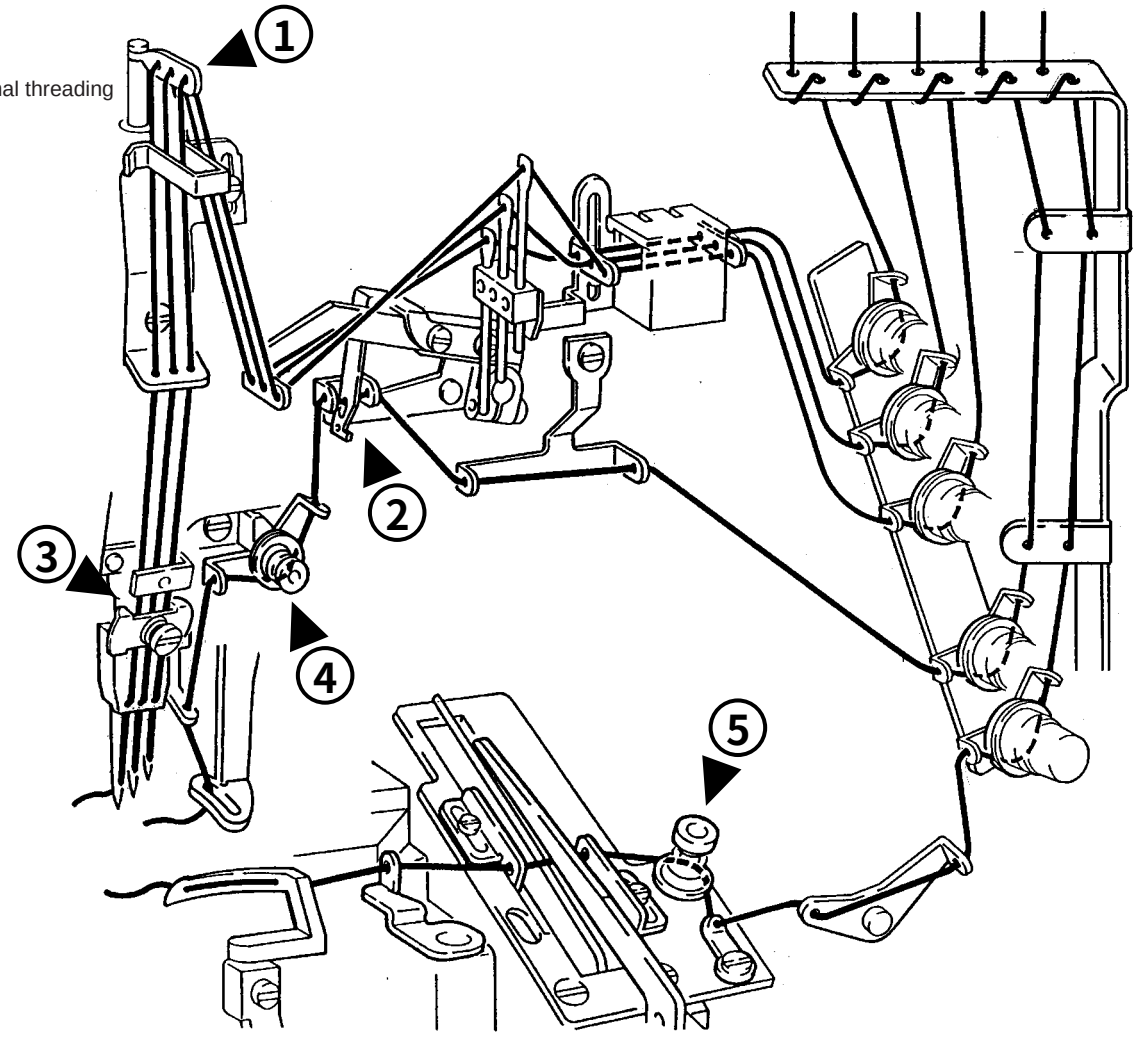


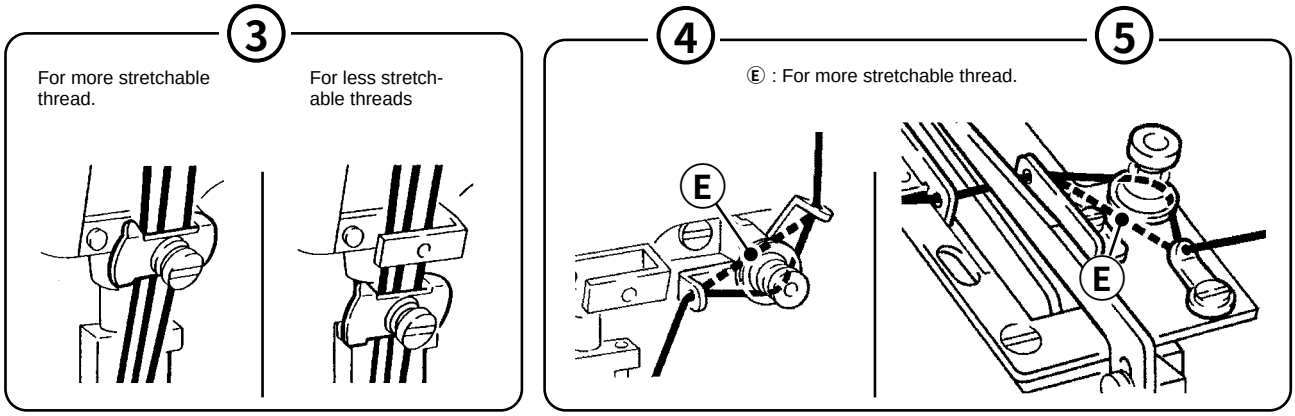
Ⓐ : For more stretchable thread.

If the top cover thread is too loose, thread the guide by referring to line Ⓑ. If the top cover thread is still too loose, thread the guide by referring to line Ⓒ.

If the top cover thread is too tight, thread the guide by referring to line Ⓓ.

Normal threading

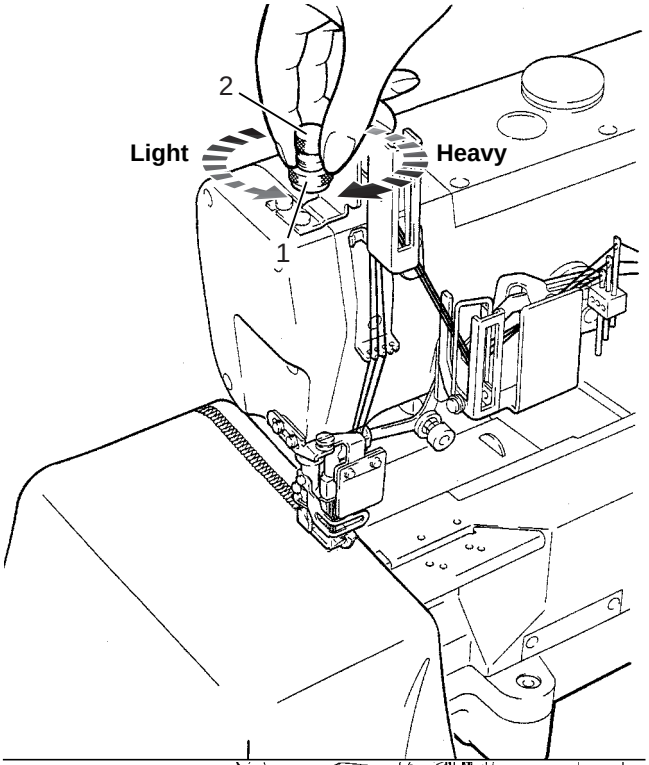




Adjusting presser foot pressure

The presser foot pressure should be as light as possible, yet sufficient to feed the fabric correctly and provide the uniform stitch formation.

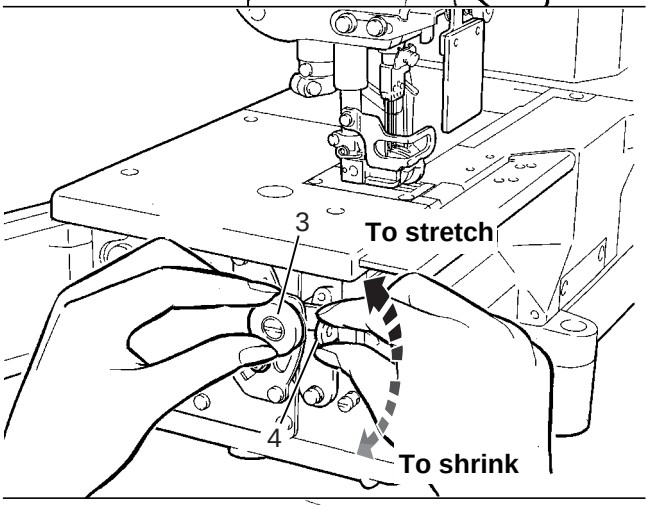
Loosen nut **1**. Adjust the presser foot pressure. Adjustment is made by turning screw **2** clockwise or counterclockwise.
Tighten nut **1**.



Adjusting the differential feed ratio

1. Loosen nut **3** for the differential feed ratio adjustment.
   To increase the differential feed ratio, lower lever **4**.
   The finished fabric is shrunk.
   To decrease the differential feed ratio, raise lever **4**.
   The finished fabric is stretched.

2. After this adjustment tighten nut **3**.



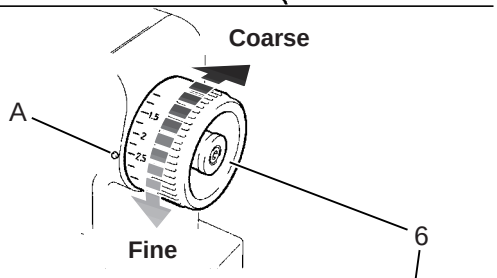
Adjusting stitch length

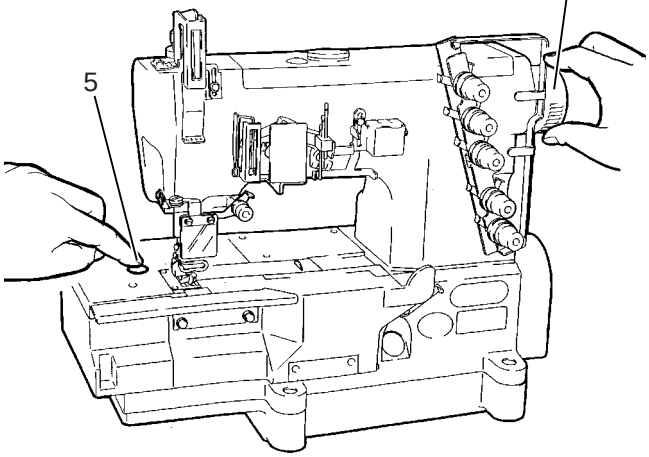
⚠CAUTION

Always turn off the power and unplug the machine when adjusting the stitch length.

1. While pressing the push button **5**, turn the handwheel **6** to seek the position at which the push button **5** goes further into the depth.

2. Then, keeping the push button **5** pressed, turn the handwheel **6** and set the desired scale to the aligning mark **A**.





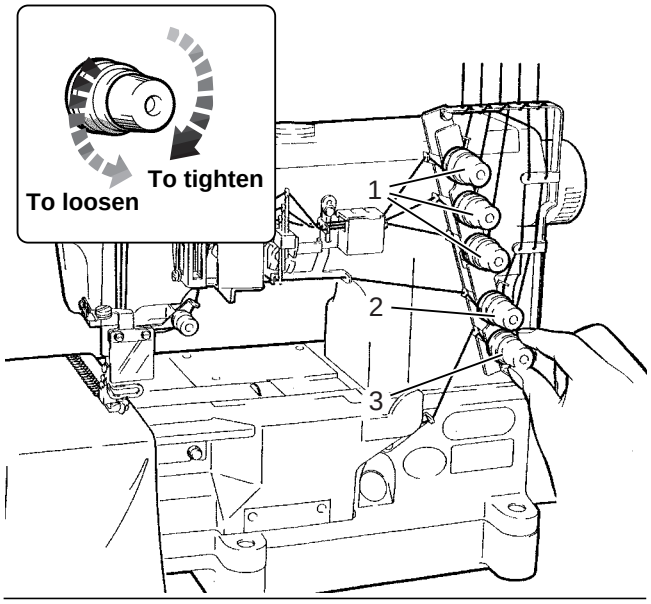
Note

Stitch length adjustment must only be made after the differential feed ratio has been changed.

Adjusting the thread tension

To obtain the proper thread tension, adjust needle thread tension knobs **1**, top cover thread tension knobs **2** and looper thread tension knob **3**.

To tighten the thread, turn each knob clockwise.
To loosen the thread, turn each knob counterclockwise.
Each thread tension should be as light as possible, yet be sufficient to produce balanced and beautiful stitches.



Cleaning the machine

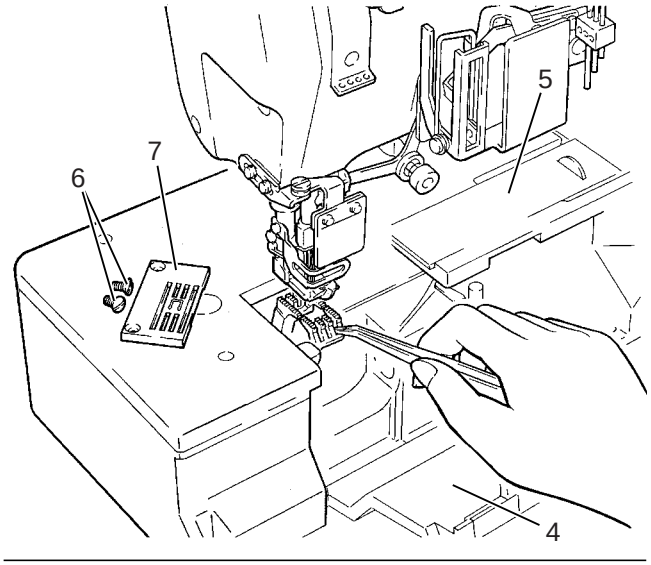
⚠CAUTION

Always turn off the power and unplug the machine when you clean the machine.

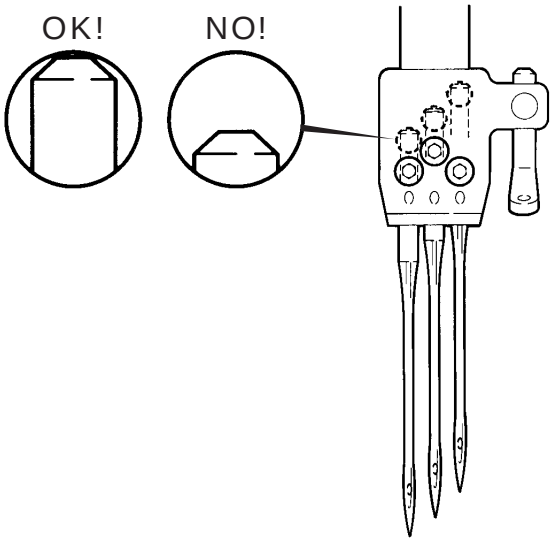
1. Open front cover **4** and slide plate **5**. Loosen screws **6** and remove needle plate **7**.

2. Clean the grooves of the needle plate and the area around the feed dogs.

3. Replace needle plate **7** with screws **6**. Then close front cover **4** and slide plate **5**.



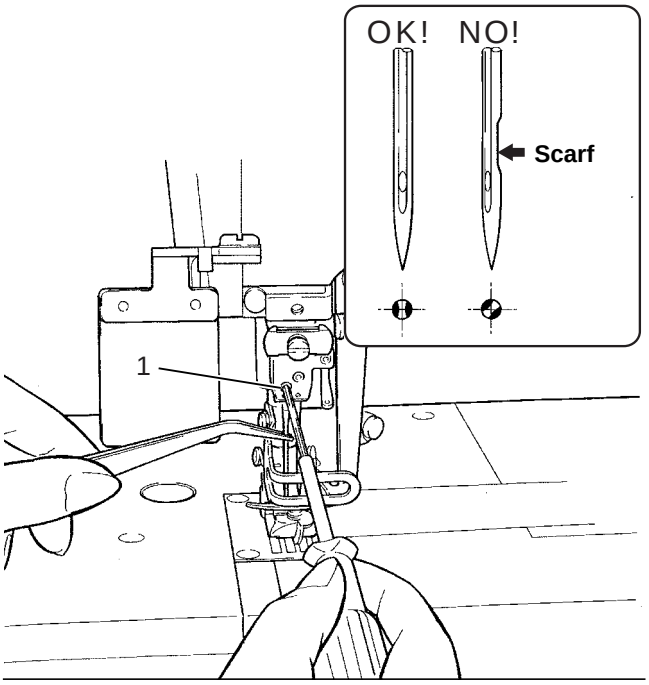
Replacing the needle



⚠CAUTION

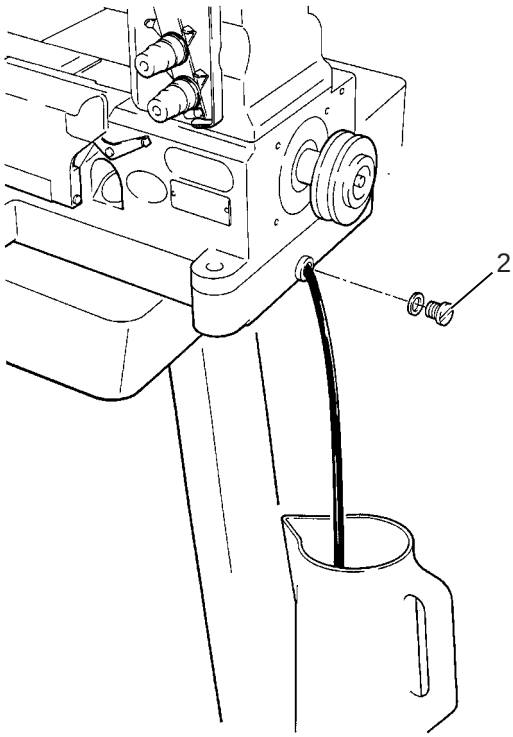
Always turn off the power and unplug the machine when you replace the needle(s).

1. Loosen screw(s) **1** using a red-handled key wrench (1.5mm).
2. Remove the old needle(s) by using a pincette (provided as accessories).
3. Fix the needle so that its scarf faces the rear side of machine.
4. Insert a new needle into the needle hole as far it will go by using a pincette.
5. Tighten screw(s) **1** using a red-handled key wrench (1.5mm).



Oil replacement

Replace the oil one month after the first use and thereafter every six months. If you keep using the old oil, it may cause the damage to the machine.



To drain the oil

1. Drain the oil by removing screw **2** on the left side of the oil pan.
2. Tighten screw **2** after draining.

Checking and cleaning the oil filter

⚠CAUTION

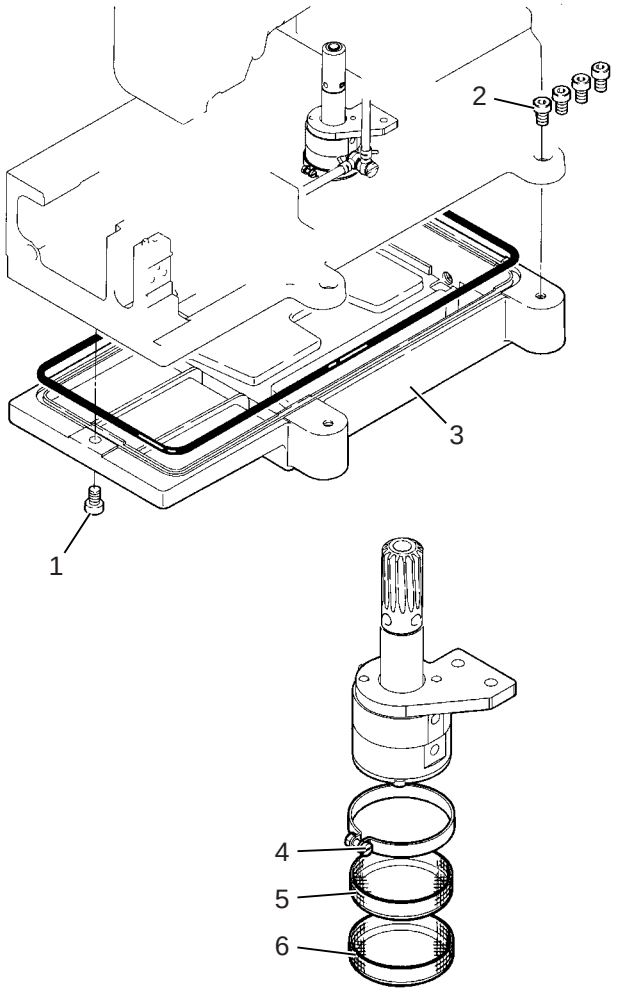
Always turn off the power, unplug the machine and then well-qualified technicians should check and clean the oil filter.

Check and clean the oil filter every six months.
To check and clean the oil filter

1. Remove screws **1** and **2**. Remove oil reservoir **3**.

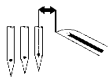
2. Loosen screw **4**. Remove inner and outer filters **5** and **6**. Then check and/or clean these filters.

3. Reinstall oil reservoir **3**, filters **5** (inner) and **6** (outer).



Adjustment dimentions

(mm)

	×□□□								
CW562-01GB	240	9.3	4.0～4.3	8.3～8.7	4.5～5.0	17.0	0.8～1.2		
	348	9.4	3.6～3.9	8.8～9.2	4.5～5.0	17.0	0.8～1.2		
	356	8.5	3.2～3.5	8.3～8.7	4.5～5.0	17.0	0.8～1.2		
	364	8.1	2.8～3.1	8.3～8.7	4.5～5.0	17.0	0.8～1.2		
CW562-01DB	460	9.3～9.8	2.8～3.1	8.7～9.2	4.8～5.2	17.2	0.8～1.2		
CW562-02GB	232	9.8	4.4～4.7	8.3～8.7	4.5～5.0	17.0	0.8～1.2		
	240	9.3	4.0～4.3	8.3～8.7	4.5～5.0	17.0	0.8～1.2		
	348	9.4	3.6～3.9	8.8～9.2	4.5～5.0	17.0	0.8～1.2		
	356	8.5	3.2～3.5	8.3～8.7	4.5～5.0	17.0	0.8～1.2		
	364	8.1	2.8～3.1	8.3～8.7	4.5～5.0	17.0	0.8～1.2		
CW562-03DB	240	9.3	4.0～4.3	8.3～8.7	4.5～5.0	17.0	0.8～1.2		
	356	8.5	3.2～3.5	8.3～8.7	4.5～5.0	17.0	0.8～1.2		
	364	8.1	2.8～3.1	8.3～8.7	4.5～5.0	17.0	0.8～1.2		
CW562-05CB	232	9.8	4.4～4.7	8.3～8.7	4.5～5.0	17.0	0.8～1.2		
	240	9.3	4.0～4.3	8.3～8.7	4.5～5.0	17.0	0.8～1.2		
	248	8.9	3.6～3.9	8.3～8.7	4.5～5.0	17.0	0.8～1.2		
	356	8.5	3.2～3.5	8.3～8.7	4.5～5.0	17.0	0.8～1.2		
	364	8.1	2.8～3.1	8.3～8.7	4.5～5.0	17.0	0.8～1.2		
CW562-08AC	240	9.3	4.0～4.3	8.3～8.7	4.5～5.0	17.0	0.8～1.2		
	248	8.9	3.6～3.9	8.3～8.7	4.5～5.0	17.0	0.8～1.2		
	356	8.5	3.2～3.5	8.3～8.7	4.5～5.0	17.0	0.8～1.2		
	364	8.1	2.8～3.1	8.3～8.7	4.5～5.0	17.0	0.8～1.2		
CW562-21BB	356	9.3	3.7～4.0	9.7～10.2	4.5～5.0	17.0	1.2～1.5		
	364	8.8	3.3～3.6	9.7～10.2	4.5～5.0	17.0	1.2～1.5		

Comparison table of equivalent sizes

Japanese size (Organ)	#	9	10	11	14	16	18	21
ドMetric size (Schmetz)	Nm	65	70	75	90	100	110	130

Standard needle

CW562N-01GB -01DB -02GB -03DB -05CB -08AC -21BB	×□□□	**Organ** UY128GAS
	232	9S
	240	9S
	348	10S
	356	10S
	364	10S

CW500N Series subclass specifications

CW500N Series

Application	Subclass	Number of needles	Number of threads	Needle space (mm)	Max. stitch length (mm)	Diff. feed tatio	Presser foot lift (mm)	Max. speed (rpm)	Remarks
Versatile	**CW562N-01GB**	**2**	**4**	**4**	**4.4**	**0.5～1.3**	**6.3**	**6,000**	
		3	**5**	**4.8･5.6･6.4**	**4.4**	**0.5～1.3**	**5**	**6,000**	
	CW562N-01DB	**5**	**6**	**6**	**3.3**	**0.7～1.3**	**5.5**	**4,200**	
Binding tape	**CW562N-02GB**	**2**	**4**	**3.2･4**	**4.4**	**0.5～1.3**	**6.3**	**6,000**	
		3	**5**	**4.8･5.6･6.4**	**4.4**	**0.5～1.3**	**5**	**6,000**	
Covering	**CW562N-03DB**	**2**	**4**	**4**	**4.4**	**0.5～1.3**	**6.3**	**6,000**	
		3	**5**	**5.6･6.4**	**4.4**	**0.5～1.3**	**5**	**6,000**	
Attaching elastic	**CW562N-05CB**	**2**	**4**	**3.2･4･4.8**	**4.4**	**0.5～1.0**	**5.3**	**5,500 (5,000 with MD)**	
		3	**5**	**5.6･6.4**	**4.4**	**0.5～1.0**	**5**	**5,500 (5,000 with MD)**	
Hemming bottoms	**CW562N-08AC**	**2**	**4**	**4･4.8**	**4.4**	**0.5～1.3**	**6.3**	**6,000**	
		3	**5**	**5.6･6.4**	**4.4**	**0.5～1.3**	**5**	**6,000**	
Plain seaming on heavy weight fabric	**CW562N-21BB**	**3**	**5**	**5.6･6.4**	**3.3**	**0.7～2.0**	**7**	**5,000**	

*If you use the machine with a differential feed ratio of more than 1:1.3, the main feed dog movement amount should be less than 2.5mm.

Stitch type	**602, 605**
Needle size	**UY128GAS #9S** **UY128GAS #10S**
Machine size **(WxDxH)**	**W : 495mm D : 280mm H : 414mm**

Net weight (head only)	**41.5Kg**
Gross weight (with accessories)	**47.5Kg**
Working noise level	**n=5,400rpm : LpA≦82.0dB** Noise measurement according to **DIN 45635 48A-1**

安全须知 请先仔细阅读。

注 记

- 坚决禁止未经PEGASUS缝纫机制造有限公司书面许可，将此使用说明书的全部或一部分，以纸面形式或电子网络形式进行转载、复印、翻译、发布、送信等。

- 此使用说明书所记载的内容只是以提供信息为目的，有未通告而变更的可能。
  对于这些信息本公司不负任何责任。同时，在此使用说明书中如果有错误或不正确的记述，本公司也不负任何责任、不承担任何债务。

- PEGASUS缝纫机时常引入最先进的技术，坚持不断的改革该产品性能、规格的方针。因此，保留未预告而变更规格、设计的权利。这对于本书的「规格」一章中记载的所有型号及子型号的产品有效。

指 令

本小册以及省力装置，为了使用的安全按各危险的程度分开使用警告标志。请理解其内容，应严守警告指示。

此缝纫机包含欧洲安全规格的标准和生产厂家的通告，是依据欧洲安全规格而组装的。请严格遵守包括此使用说明书在内，遵循以一般被承认的制定法做成、符合所有规格和法律的必要条件，以及所有环境保护的规则。
也请严格遵守适用于工作中事故的社会保险的各种规则、以及各地区管理部门及机关制定的规则。

1.前　言

● 该书是为了安全使用本产品的使用说明书。

● 在使用该产品之前，务必阅读此书，在充分理解掌握缝纫机的操作、检查、调整、维修等方法之后，再进行使用。

● 工业用缝纫机是在缝纫作业中，操作者距机针等运动着的缝纫机部件近距离进行操作的。
所以时常有接触缝纫机运动部件的危险性，这点应充分认识。
因此，为了确保安全，需要本公司提供安全的产品，使用者正确安全的操作。对于顾客也有一些必要的安全对策和要求。缝纫机使用的有关人员务必熟读本书与驱动装置的使用说明书，在实施必要的安全对策之后，再充分使用缝纫机。

2.警告标记

在本公司的产品及本书中，为了安全使用产品，根据危险程度将警告表示分别使用。请充分理解其内容，务必严守书中的提示。

警告标签应贴在时常清楚地明显看得出来的地方。
如那些标签剥落或污损时，应及时更换，贴上新的标签为盼。
如需更换用新的标签，请随时向本公司营业所联系。

提醒注意的标记以及报警用语

⚠ 危 险	表示危险性极大。弄错操作等时会有可能至于死亡或受重伤的危险。
⚠ 警 告	操作有错误时，会至于受重伤，甚至发生死亡事故的危险
⚠ 注 意	操作有错误时，有可能受轻伤或中等伤害，或会发生损伤物质的危险。

说明图表记号

	必须严守指示，应按其内容准确操作为要。
	万一弄错操作，会有触电的危险。
	弄错操作，会招致手指受伤。
	有接触高温烫手受伤的危险。
	绝对不可碰手。
	需要进行修理、调整等维修工作时，或有可能落雷的危险时，应预先把电源插头由供电的插座拔掉，以免意外。
	必需连接地线，以保护为要。
	表示缝纫机传动轮旋转方向。

3.安全措施

① 用途 · 目的

本公司的工业用缝纫机，是以提高服装业的质量和生产率为目的而研究开发的商品。因此除以上用途以外，请绝对不要使用。

② 使用环境

本公司的工业用缝纫机，根据使用的环境，有可能给缝纫机的寿命、性能及安全性带来不良影响。

为了安全保护，请勿在下述环境条件之下使用。

1. 在靠近高频焊接机等产生干扰的机器设备旁边。
2. 产生药品蒸气气氛的地方，及受药品飞溅等地方使用或保管。
3. 屋外、高温高湿、直接曝晒阳光的地方。
4. 周围的温度、湿度很大，会给缝纫机带来坏影响的地方。
5. 额定电压常超过 ± 10 % 以上的电压变动较厉害的地方。
6. 电源容量无法确保控制马达规格上所需要的容量时。

③安全措施

（1）进行维修保养、检验时的安全保护

●在对缝纫机进行检查、修理、清扫等维护作业时，请关掉电源开关，将电源插销从插座上拔下，并确认踩缝纫机踏板也不会转动之后，再进行操作。

但是，有必要接通电源进行作业时，请制定防止缝纫机以外转动或操作者错误而导致危险的安全操作准则，并遵守一切安全防护规则。

●在进行以下作业时，务必关掉电源开关，将电源插销从插座上拔下之后进行。

- 加油
- 穿线
- 打扫缝纫机
- 换机针
- 进行供油元件的清扫和更换时。
- 更换机油

● 在进行以下作业时，请务必关掉电源开关之后进行。

・ 调节针脚时

・ 调节差动比时

●实施定期检修、保养时，应限由充分熟练省力装置以及缝纫机的维修工作的专门技术员来进行。

●请勿按客户的任意判断而加以改造或更改，会招致事故的原因。

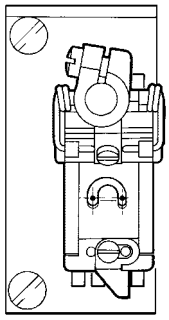
※ 如有改造或更改的需要，应先联系经销商或本公司营业所询问。

（2）开始运转前的检验事项

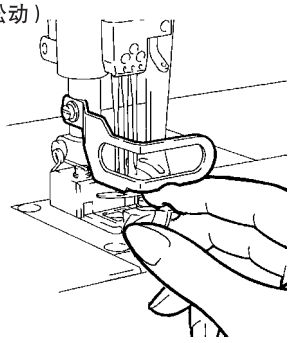
●在开始操作运转缝纫机前，先检查缝纫机皮带及缝纫部分，看是否有损伤、功能不良等问题。
万一有异常现象时，应马上修理或采取必要的措施。

●务必用手触摸来确认针箍是否固定好。
※请注意针尖有危险。

●在使用缝纫机之前，务必确认压脚是否在正确的位置。（用手轻轻转动手轮，认针尖是否落在压脚的针孔中心）



●务必检查压脚是否牢固的固定好。（使用抬压脚机构抬起压脚，用手前后左右扳动，检查看压脚是否有松动）



（3）培训・进修

●为了防止事故，缝纫头或缝纫系统的操作人员及维修保养专员，应先学会所需知识和有关技能，以期工作的安全。
为此，请由客户的管理单位给她们安排培训计划，而实施充分的训练。

4.各操作过程的注意事项

注意

① 开 箱

1. 缝纫机机头在出厂时包装好后装入纸箱运出的。从印刷在纸箱上的标记字样确认上下后，请从上到下按顺序开箱。
2 把缝纫机机头从缓冲包装材料里拿出时，绝对不要提拿与机针部位或过线器等有关的部件。否则会发生危险或损伤机器。
3. 在取出缝纫机机头时，请注意重心的位置，小心谨慎的取出。
4. 开箱用过的纸箱如果以后还用的话，请好好保存放好。

包装材料的处理

●包装材料包括木头、纸张、纸箱、VCE纤维。恳请顾客负有责任的将包装材料正确适当的进行处理。

缝纫机废物的处理

1. 缝纫机的废物，请客商负责进行处理。
2. 制造缝纫机所使用的材料有铁、铝、锌及各种塑料。
3. 缝纫机的废物应遵照当地环境保护的有关规定进行处理。必要时委托专门的厂家进行处理。

※有油污的部件务必遵照当地环境保护的有关规定，分别进行处理。

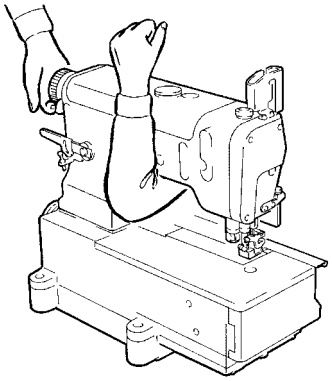
在顾客领地内移动缝纫机

●关于在顾客领地内移动缝纫机，本制造厂商没有责任。移动时为了避免缝纫机掉落摔坏，请注意不要倾斜缝纫机。

⚠警告

② 搬运

1. 缝纫机机头的搬运一定要两个人以上进行。另外，用人直接搬运应只限于搬往缝纫机台板或小台车。其他搬运务必使用小台车进行。
2. 移动缝纫机机头时，用右手抓住传动轮，左手垮在机头里，扎实牢固的搬起。
   缝纫机上沾有油污在搬运时容易滑脱摔坏，搬运前请好好擦净机头上的油污。



3. 在往缝纫机台板上或小台车上搬运时，请注意不要过分冲击或震动，以免缝纫机倒斜造成危险。
4. 如果要第二次运送缝纫机并要包装时，请一定擦干净机头上的油污。否则，搬运时会滑脱摔坏机头或油污使包装材料变质穿底。

⚠注意

③ 安装 · 准备

缝纫机台板

1. 请使用能充分承受缝纫机机头重量及搬运时产生的反作用力的缝纫机台板（台板、铁架）。
2. 应充分考虑缝纫机装配部件和操作光线的明亮度，放置在容易作业的环境中。
   如果光线不是十分明亮时，应根据需要安装照明电灯。
3. 在运转缝纫机时，为防止操作者踩踏板时脚滑脱造成事故，一定要在缝纫机踏板上安装防止滑脱的垫子。
4. 在考虑操作者姿势的前提下，决定台板面的高度（工作时的高度）。

⚠警告

接线

1. 请牢固的插好缝纫机机头与电机连接线的插头。
   缝纫机机头与电机用连接线进行连接时，务必在将电源开关关闭的状态下进行操作。
2. 在使用中请不要给连接线过多的力。
3. 请不要过度弯曲连接线。
4. 接近运动部件（如传动轮、V形皮带等）的连接线，应最小距离在2 5 mm处进行安装。
5. 必要时考虑连接位置或加设护罩来保护连接线。
6. 固定连接线时绝对不要使用定书针，以免发生漏电或火灾。

⚠注意

电机

1. 缝纫机电机的安装请遵照电机厂家的使用说明书，正确的进行安装。
2. 为了防止被卷入皮带轮的危险，请选用带有防止卷入的缝纫机电机。

⚠注意

接地

1. 接地线，是应每条缝纫系统分别装设专用的接地线，不应与其他机器共用。
2. 在缝纫头的规定地点准确地装设接地线为要。

⚠警告

④ 使用缝纫机油

1. 在油盘内没有注入油以前请绝对不要进行运转。 请使用本公司指定的「HIGH SPEED SEWING MACHINE OIL」或者使用与此相同的「ESSOTEX SM22（Exxon Mobil制造）」。
2. 机油进入眼睛会使眼睛发炎，所以在使用时请戴防护眼镜以免机油进入眼睛。

※万一进入眼睛，请用干净水冲洗1 5分钟再请医生进行治疗。

3. 机油接触皮肤后，请马上用水和肥皂洗干净。
4. 绝对不要使机油进入口腔。
5. 机油请保管在孩子摸不到的地方。

※万一进入口腔，不要硬性呕吐，马上请医生进行治疗。

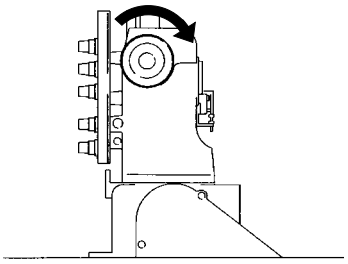
6. 废油、废容器的处理方法有必须遵照法令的义务、请根据法令正确处理。如不知道时请与购买部门联系后，正确进行处理。
7. 为了防止灰尘、水分的混入，使用完后保管机油时请盖紧油箱盖，放在没有阳光直射的荫凉处保管。

⚠ 警告

⑤ 运转缝纫机前的注意事项

缝纫机台板

1. 打开电源前，请确认接线或接头是否有损伤、脱落、松动等外观上的异常。
2. 在打开电源时、请不要将手放在机针附近或传动轮附近。
3. 最初开始运转缝纫机时，打开电源确认传动轮的运转方向。缝纫机的正运转从传动轮侧来看是向右旋转。



4. 操作缝纫机者应为受过适当训练、充分理解本书及使用说明书的内容之后，再进行操作使用。
5. 关于缝纫机机头上的危险、警告标志
   应熟读并理解「２．警告表示」，必要时应对使用者进行安全教育。
6. 最初使用的一个月应降低速度。请使用在最高转速的 3 ／ 4 以下的转速。

⚠ 警告

⑥ 运转缝纫机中的注意事项

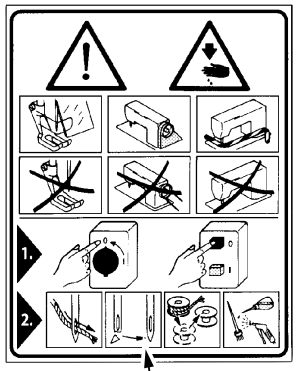
1. 在拆卸下护眼板、护指架、传动轮护罩等安全装置的状态下、请不要运转缝纫机。
2. 缝纫机在运转中是很危险的、绝对不要将手放入机针下。
3. 使用离合器式电机时关掉电源之后电机仍然会继续旋转一会儿。这时踩缝纫机踏板后缝纫机会运动是很危险的，请特别小心。
4. 缝纫机在运转中是很危险的，所以绝对不要将手指、头发、衣服接近手轮、Ｖ形皮带、电机传动轮、挑线器、针棒。同时，也不要将剪刀、镊子、工具等放在以上部位。
5. 使用带有ＦＴ装置的缝纫机时，请不要将手指太靠近ＦＴ部位，特别在缝纫中很容易发生事故，是很危险的。
6. 在不使用缝纫机时或者操作者离开缝纫机时，一定要将电源开关关掉。
7. 停电时务必将电源关掉。
8. 在操作缝纫机时，请穿着不易被机械卷入的服装。
9. 缝纫机在运转中，请不要在缝纫机台板上放置工具及其他与缝纫无关的物品。

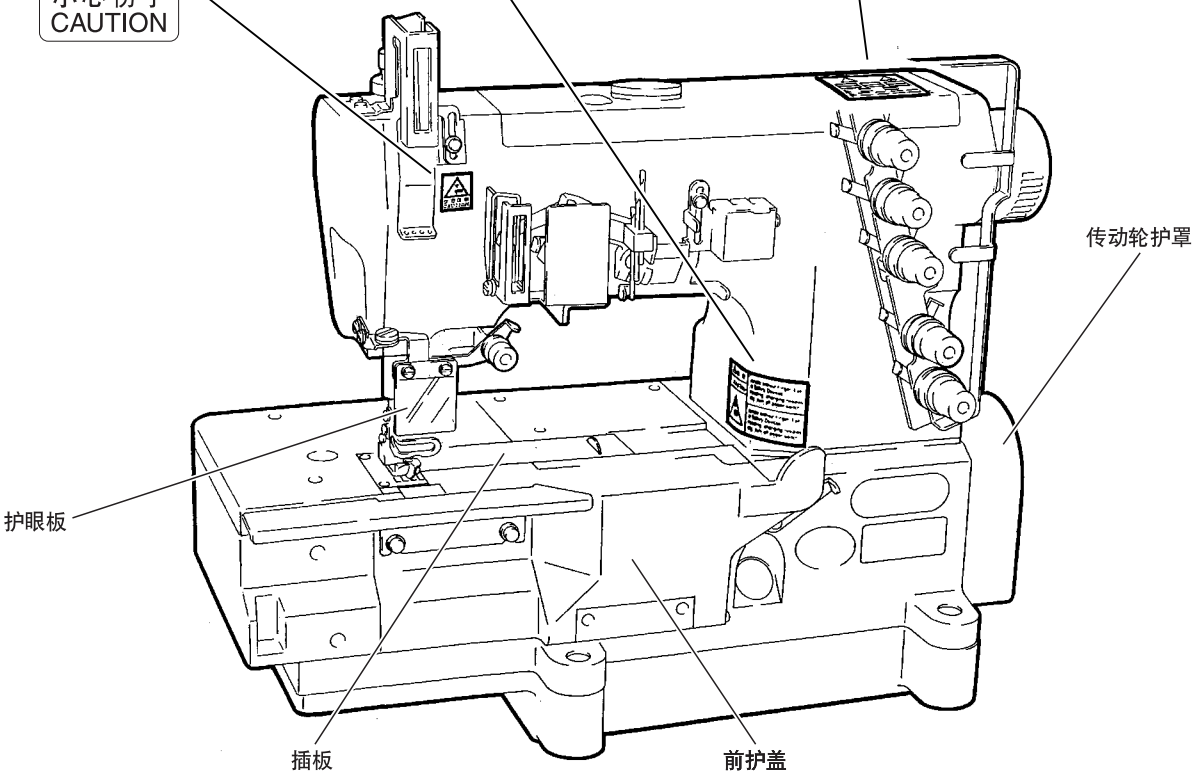
⚠ 注意

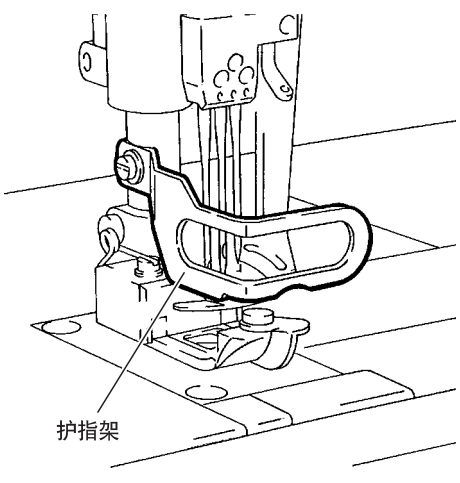
⑦ 维护、检查、修理

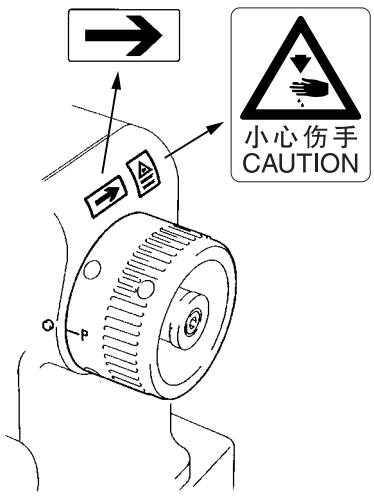
1. 维护、检查、修理的作业应由受过特别训练的人并在充分理解本书及使用说明书的内容之后，再进行作业。
2. 为了维护、检查、修理要将缝纫机机头放倒时、务必将电源开关关掉，把电源插头从插座上拔下，并确认即使踩缝纫机踏板缝纫机也不会转动之后，再进行操作。
3. 在安装或拆卸Ｖ形皮带时，务必将电源开关关掉，把电源插头从插座上拔下，并确认即使踩缝纫机踏板缝纫机也不会转动之后，再进行操作。
4. 对于缝纫机机头的日常检查或定期检查，应按照本书及使用说明书的指示，切实认真的进行。
5. 缝纫机的修理或部件的更换请使用本公司的真实部件。对于不得当的修理、调整或使用假冒伪劣部件所造成的事故，本公司将不负一切责任。
6. 请不要根据顾客自己的判断对缝纫机进行改造。否则因改造而发生的事故，本公司将不负一切责任。
7. 临时因修理、调整而拆卸下的安全装置、安全护罩，待作业完后务必按原来的状态安装好。
8. 维护、检查、修理的作业完成后，请检查接通电源之后是否确实没有危险。

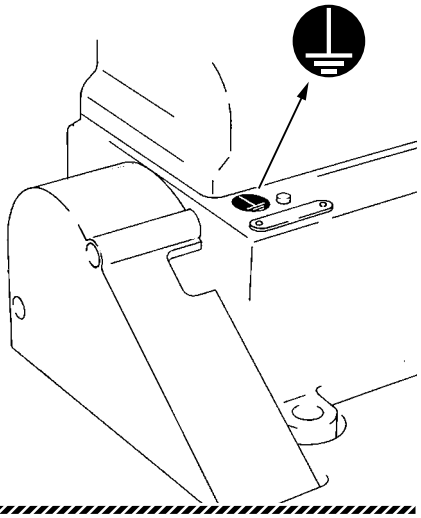
5.警告标签粘贴的位置与安全保护装置











6.安全保护装置

这个项目是为了使大家都知道各种安全保护装置，并记载了各部分的注意事项。

⚠注意

安全保护装置

（１）护眼板

不要打开

为了眼睛的安全，绝对不要在打开护眼板的状态下操作缝纫机。护眼板是为了在缝纫中针断了时，使断针不会飞入眼睛而安装的护眼罩。

（２）护指架

不要把手指伸入

为了防止上下运动的机针与人接触而产生危险，在机针附近安装了护指架。但是，在护指架上方为了便于穿线而留有间隙，如果将手指从间隙伸入，机针有可能会刺伤手指造成危险。

（３）传动轮护罩

不要拆卸

缝纫机的传动轮和Ｖ形皮带轮都被罩在传动轮护罩内，在缝纫中（特别在高速运转中）与人接触是很危险的。为了避免危险，务必长时使护罩处于安装好的状态。

（４）传动轮

请确认缝纫机传动轮的旋转方向，正确的旋转方向在传动轮侧看是向右转的。

（５）压脚

不要把手指伸入

从针板表面压脚的上升量是５mm以上，这个间隙有夹手指的危险。在用膝盖开关抬升压脚时或用踏板自动抬升压脚时，请不要将手指伸入压脚下方。

（６）前护盖

不要打开

弯针的运动从缝纫机正面看时，是进行左右往复的圆弧运动。
为了避免进行圆弧运动的弯针与人接触，务必请在前盖板闭合的状态下操作缝纫机。

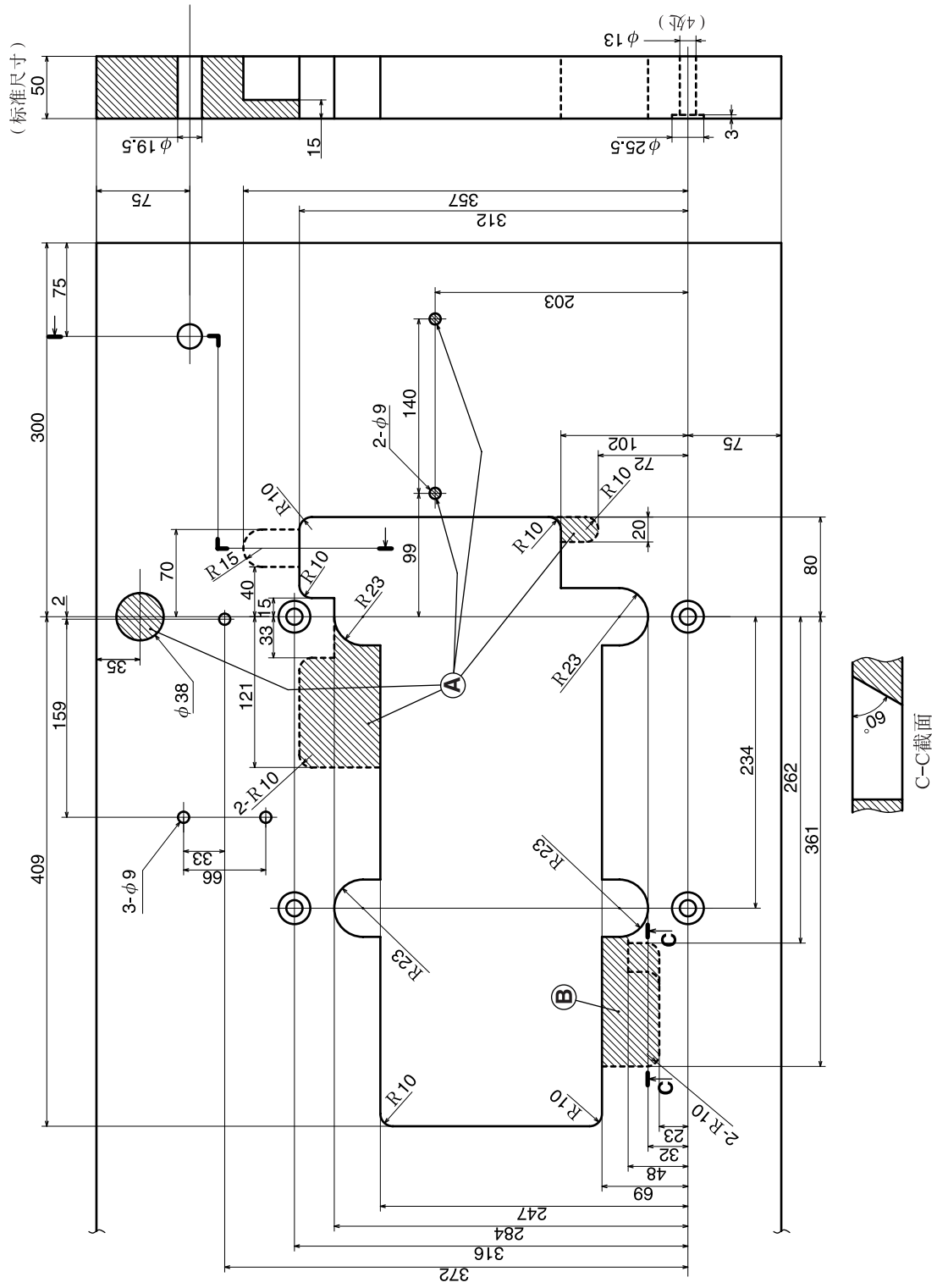
（７）插板

不要打开

下线挑线器在缝纫时为了挑出一定量的下线在做旋转运动，为了避免进行旋转运动的下线挑线器与人接触，务必请在插板闭合的状态下操作缝纫机。

台板加工图

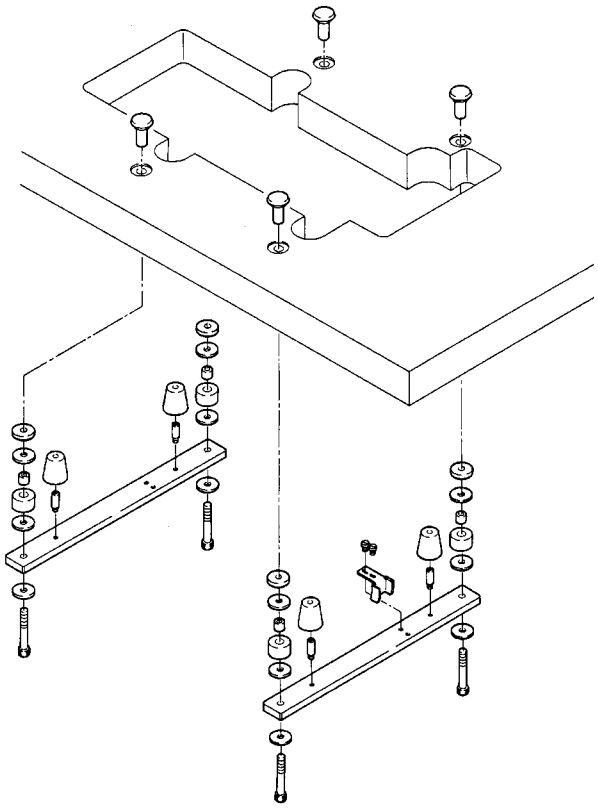
请参照下图进行台板的加工。



注 1）在安装UT装置时，请剪掉Ⓐ部分。
注 2）在安装带有FT装置的缝纫机时，请剪掉Ⓑ部分。
注 3）电机安装孔（3−φ9）的位置尺寸，适用于松下、三菱、日立制缝纫机。

安装台的组装

请参照下图组装安装台。
组装时注意不要留缝隙或松动的地方，确实可靠的进行安装。

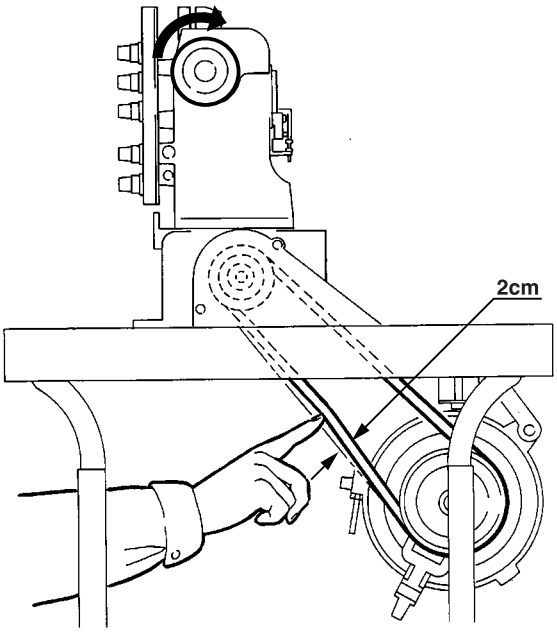


缝纫机的安装

⚠注意

安装缝纫机时，务必将缝纫机的电源关掉，将插头从电源插销上拔下来之后再进行。

请将缝纫机安装在台板上之后，再安装V形传动皮带。然后调节缝纫机电机的位置，使之用手按压V形传动皮带中间部分时能有 2 cm的余量。

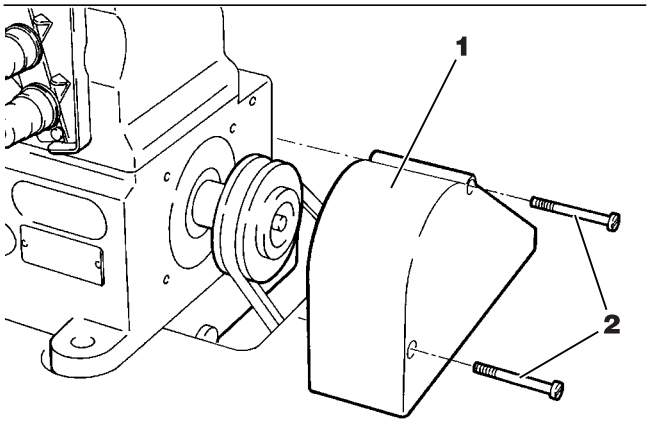


皮带轮护盖的安装

⚠注意

安装皮带轮护盖时，务必将缝纫机的电源关掉，将插头从电源插销上拔下来之后再进行。

请参照右图，用螺丝 **2** 将皮带轮护盖 **1** 安装在缝纫机上。



缝纫机的旋转方向

缝纫机的旋转方向从手轮一侧看是向右旋转的。

关于供油

⚠注意

⚠在加机油或换机油时，请务必使用本公司指定的机油。如果使用指定以外的机油，有可能损坏缝纫机。

1. 使用的油类

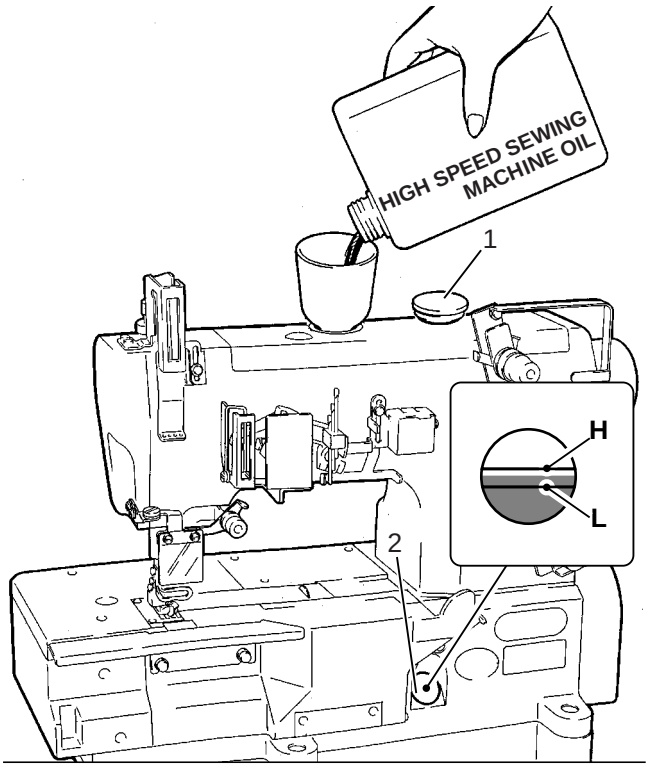
请使用本公司指定的「HIGH SPEED SEWING MACHINE OIL」或者使用与此相同的「ESSOTEX SM22（Exxon Mobil制造）」。

2. 供油的方法

揭开供油口的盖子 **1**，加油至油面到达油标尺的H线和L线中间。
加完油后，请盖好供油口的盖子 **1** 。

3. 油的规定量

油标尺 **2** 的 **H** 线和 **L** 线表示着油量的上限和下限。为使油面经常保持在H线和 **L** 线之间，请常常检查注意加油。

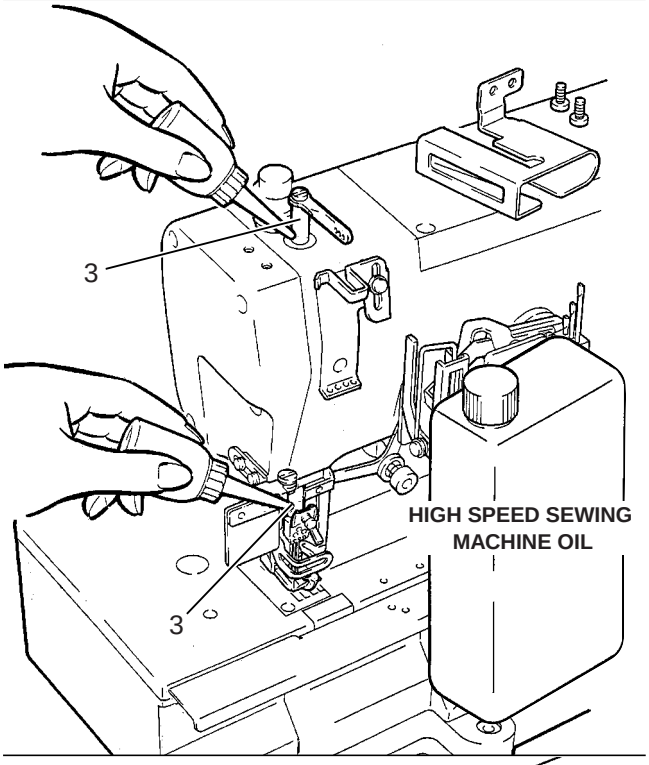


4. 用手加油

⚠注意

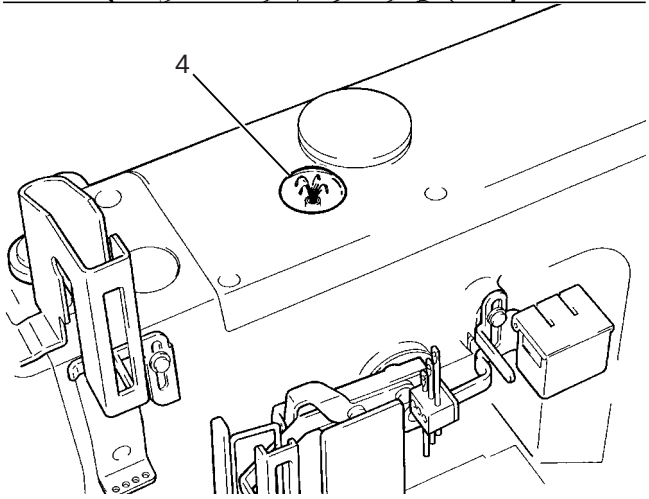
在用手加油时，务必将缝纫机的电源关掉，将插头从电源插销上拔下来之后再进行。

在开始使用缝纫机时，或者使用长期未使用的缝纫机时，用油壶给针棒 **3** 各加 2 ~ 3 滴油。



5. 检查机油的循环状况

请在加完油后，踩下缝纫机踏板，使缝纫机运转，通过油窗 **4** 检查机油的循环状况是否良好。

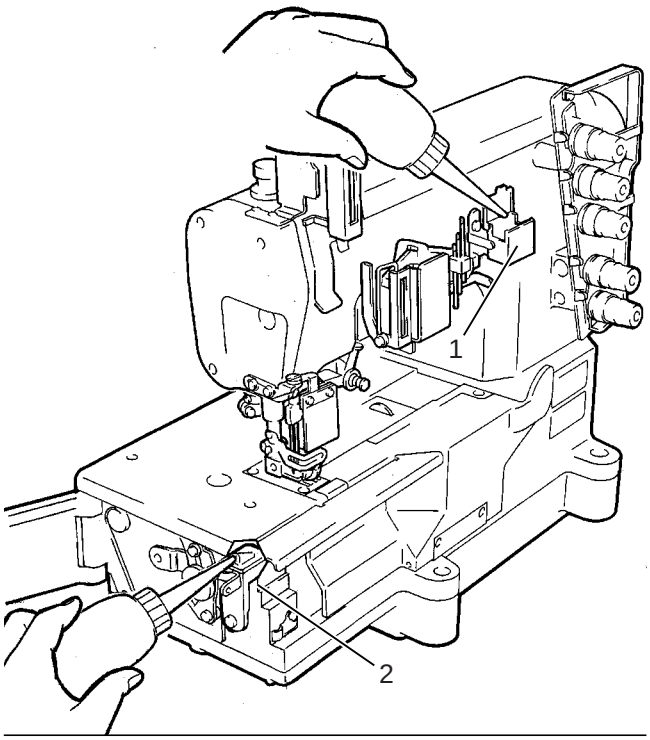


给ＨＲ装置供油

⚠注意

在给ＨＲ装置供油时，务必将缝纫机的电源关掉，将插头从电源插销上拔下来之后再进行。

在ＨＲ装置的硅油盒 **1** · **2**，为了防止机线断线加有硅油。请经常检查，请尽早补充硅油。

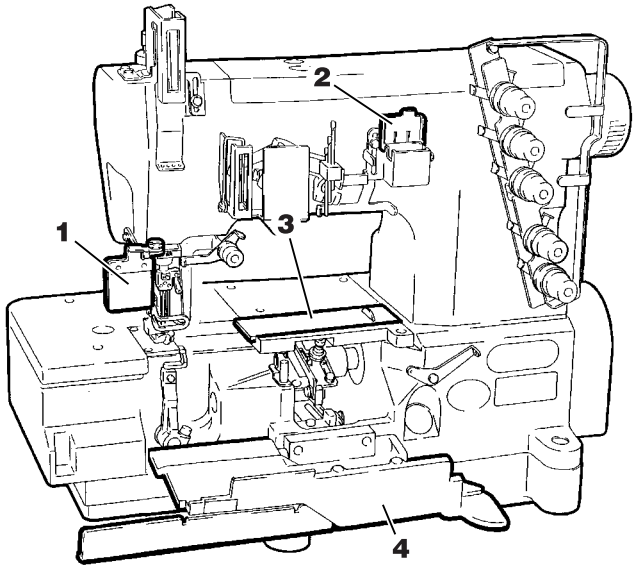


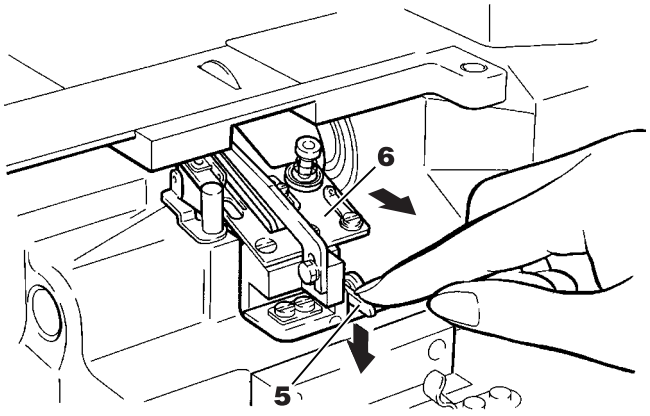
穿线的方法

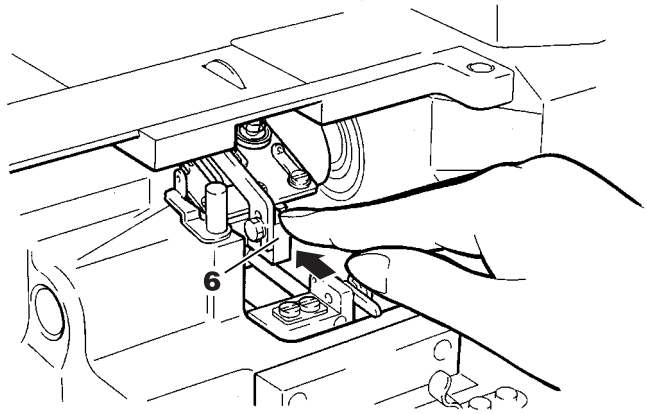
⚠注意

在进行穿线时，务必将缝纫机的电源关掉，将插头从电源插销上拔下来之后再进行。

1. 请打开护眼罩 **1** 和护盖 **2**、**3**、**4**。







2. 请按扳手 **5**。这时下线挑线器 **6** 会挑出来。穿好线后，在返回原来的位置时，请按下下线挑线器 **6**。

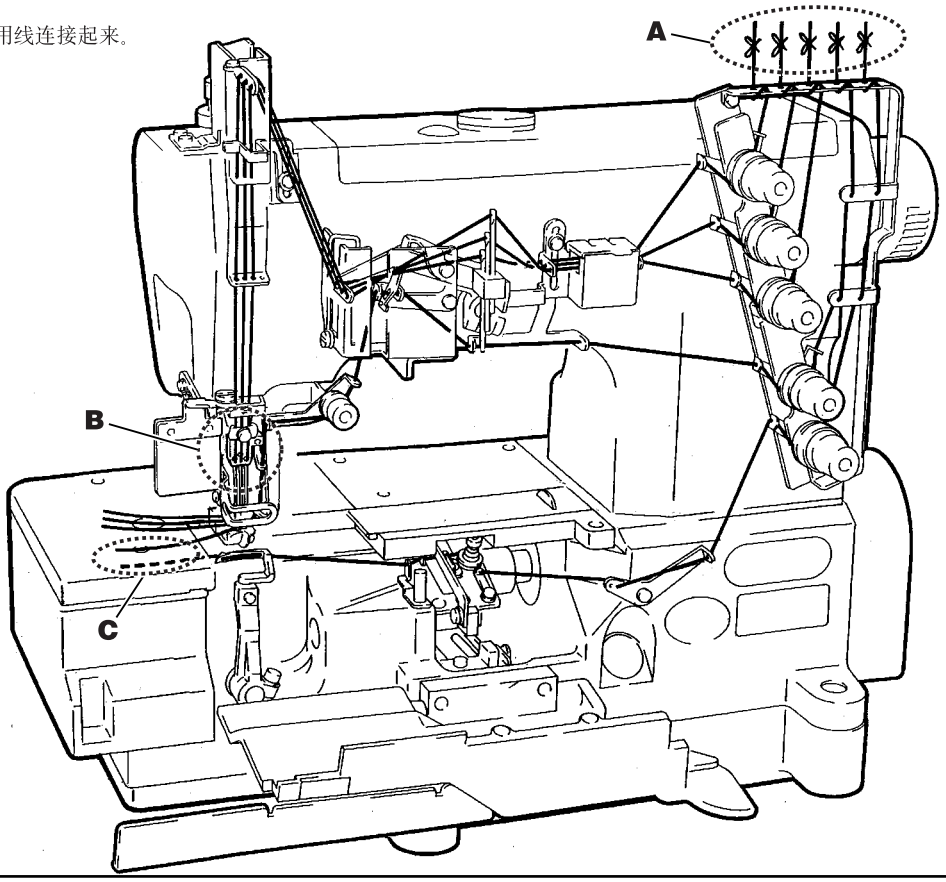
3. **（如果已穿好线时）**

缝纫机如果没有穿线的话，请参见穿线图穿好线（54页）

A部：请将已穿好的线与缝纫用线连接起来。

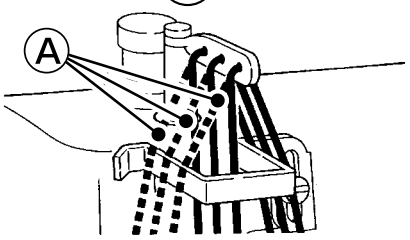
B部：**针线**
将连接的针线穿到针眼前后，剪掉接头，再重新穿针线。

C部：**弯针线、上装饰线**
可一直将连接的线头穿好后，再用剪刀剪掉线头整好。



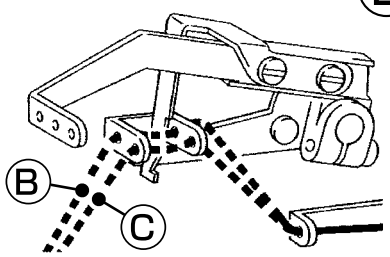
4. 穿线图

①

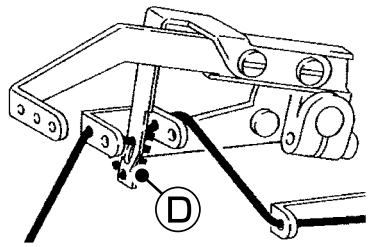


穿伸缩大的线时用点线 A 方向。

②

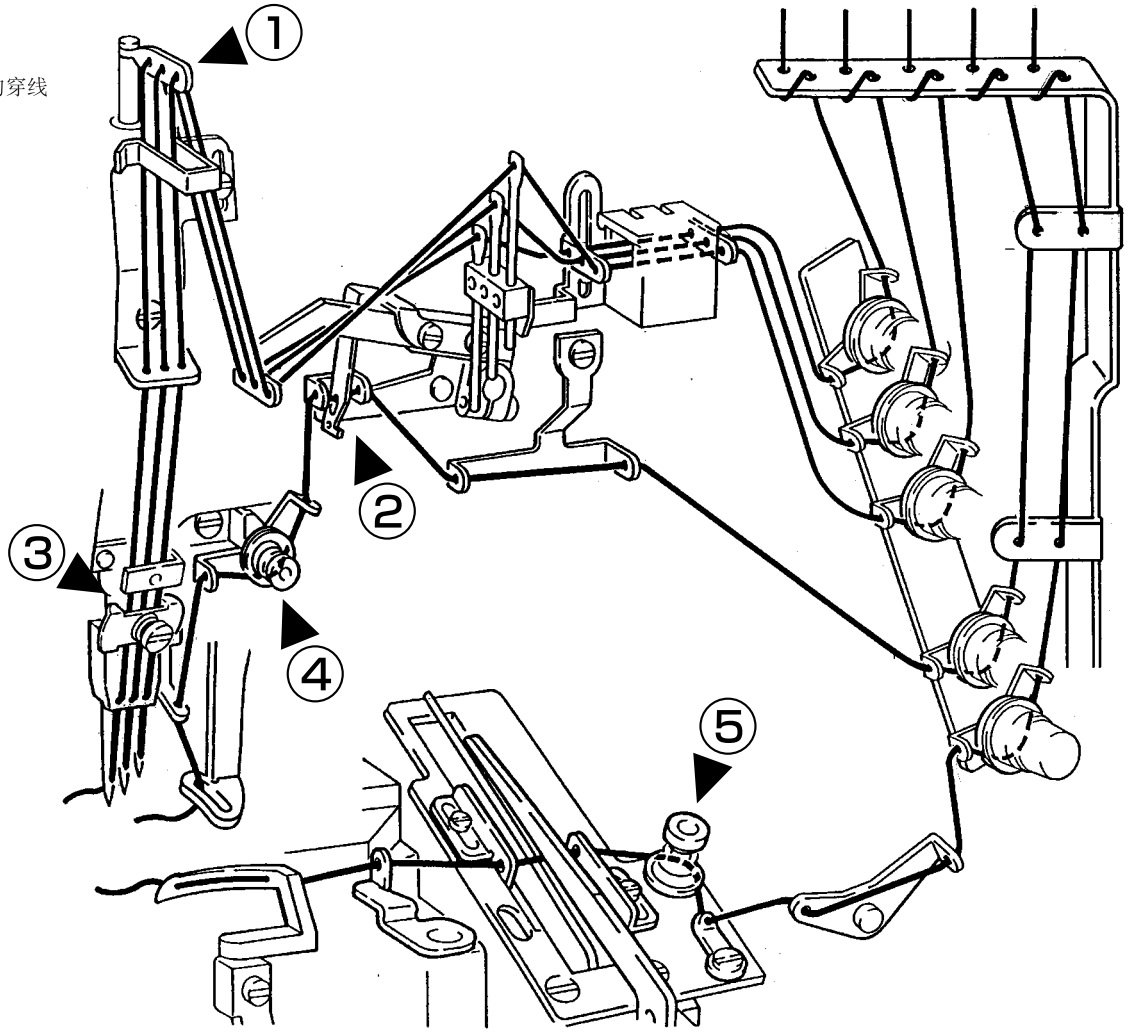


装饰线太松弛时用 B
用 B 仍松弛时用 C



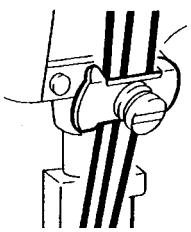
装饰线太紧时用 D

通常的穿线

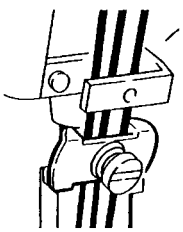


③

穿伸缩大的线时

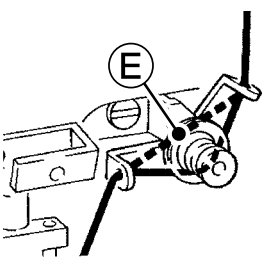


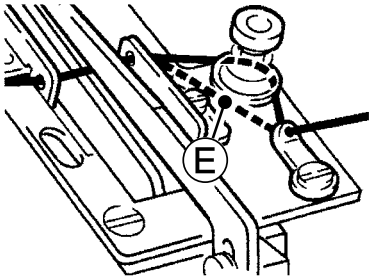
穿伸缩小的线时



④ ⑤

穿伸缩大的线时用点线 E 方向。

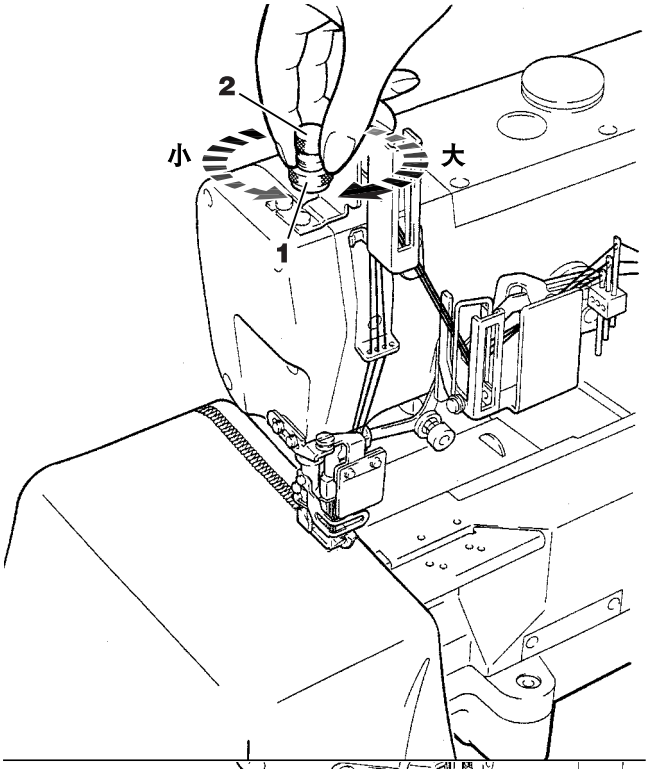




压脚压力的调节

压脚的压力在送布能正确的进行，并且能缝出稳定针脚的范围内，请尽量使用较小的压力为宜。

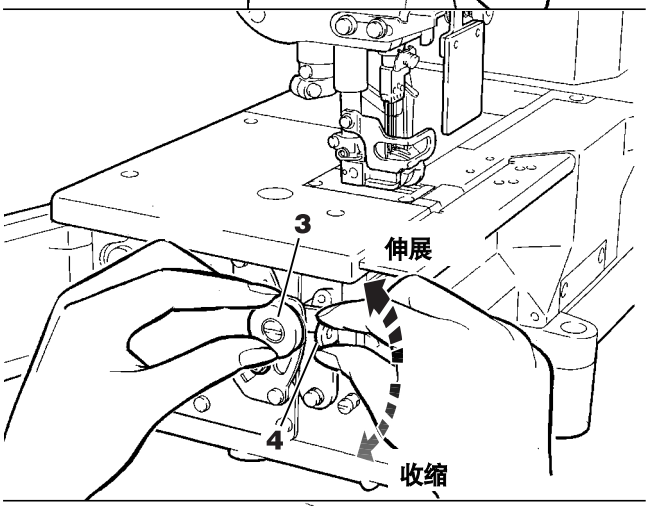
松开螺母 **1**，旋转螺丝 **2** 进行调节。调节完后拧紧螺母 **1**。



差动比的调节

1. 松开螺母 **3**，将扳手 **4** 向下扳，则差动比变大，缝纫的布料会缩起来。将扳手 **4** 向上扳，则差动比变小，缝纫的布料会伸长。

2. 调节完后，请将螺母 **3** 拧紧。



针脚长度的调节

⚠注意

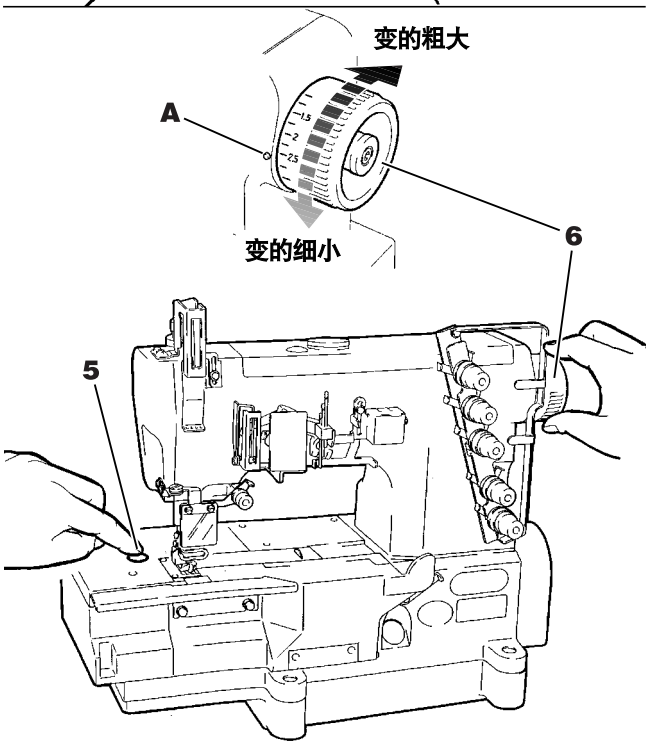
在调节针脚长度的，务必将缝纫机的电源关掉，并将插头从电源插销上拔下来之后，再请专门的技术人员进行操作。

1. 一边轻轻按着套式按钮 **5**，一边转动手轮 **6**，这时套式按钮会陷下去一些。

2. 请继续按着套式按钮 **5**，并转动手轮 **6**，使所希望的刻度与记号 **A** 相吻合。

注

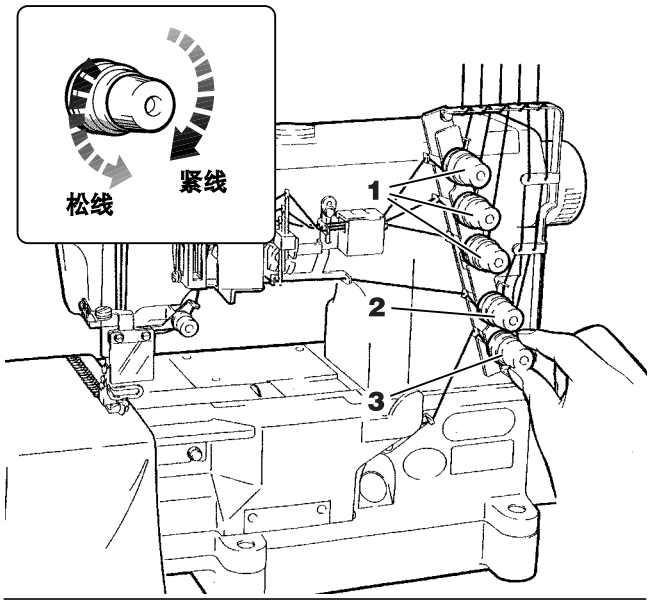
缝纫针脚长度的调节，请务必在调节差动比之后进行。



线状态的调节

线状态的调节请用针线调节旋钮 **1** 、上装饰线调节旋钮 **2** 和下弯针调节旋钮 **3** 进行调节。

想将线拉紧一些时，可将各旋钮向右旋转，想松一些时可向左旋转。在能取得均匀且漂亮缝纫效果的情况下，尽量采用较松的夹线状态。



缝纫机的清扫

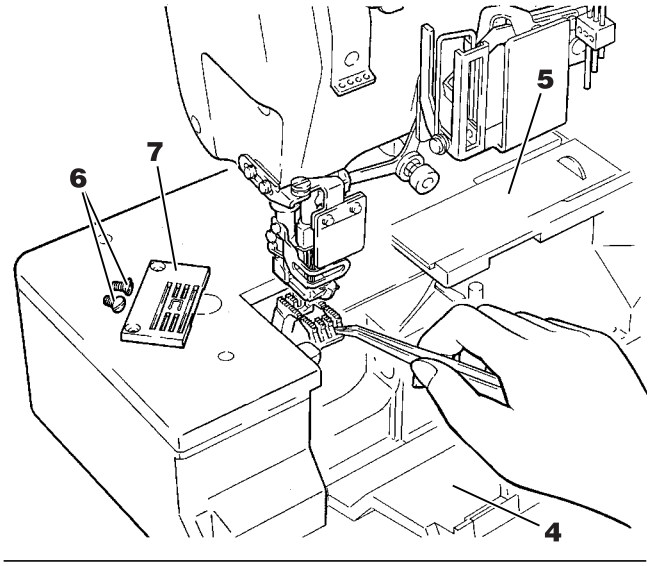
⚠注意

在清扫缝纫机时，务必将缝纫机的电源关掉，将插头从电源插销上拔下来之后再进行。

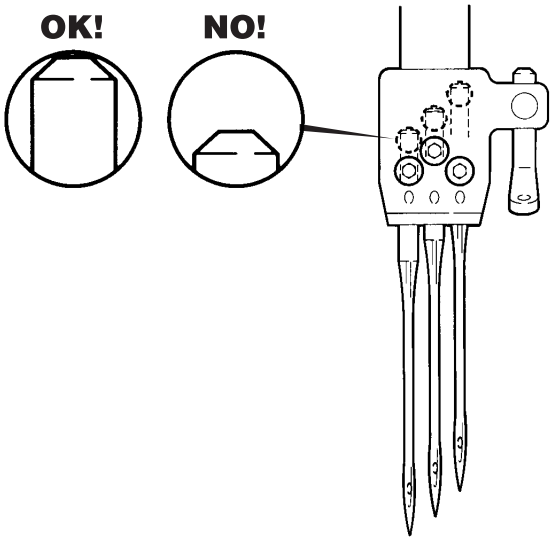
1. 打开前护盖 **4** 和插板 **5**，请松开螺丝 **6**，卸下针板 **7**。

2. 请打扫针板的空槽和送布牙周围。

3. 请用螺丝 **6** 安装针板 **7**，并且关闭前护盖 **4** 和插板 **5**。



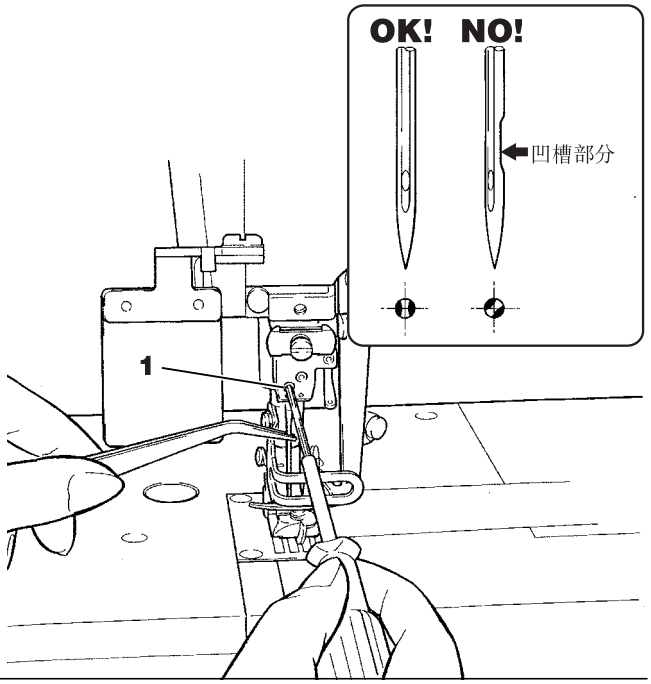
机针的更换



⚠注意

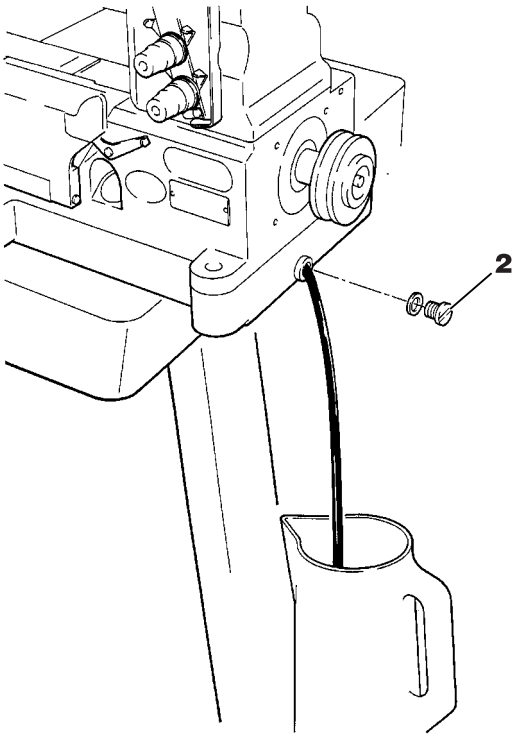
在更换机针时，务必将缝纫机的电源关掉，将插头从电源插销上拔下来之后再进行。

1. 请使用红色把柄（1.5mm）的六角螺丝刀松开固定螺丝 **1**。
2. 用附带工具箱的镊子将旧针取下来。
3. 将机针的凹槽朝着缝纫机后面进行安装。
4. 用镊子将新针插入到针箍架孔的最深处。
5. 然后使用红色把柄（1.5mm）的六角螺丝刀拧紧固定螺丝 **1**。



机油的更换

缝纫机在开始使用 1 个月后更换一次机油，然后请每 6 个月更换一次机油。如果不更换机油继续使用，缝纫机有可能发生故障。



排油的方法

1. 请卸开油箱底座排油孔盖螺丝 **2**，排出旧油。
2. 换完油后，将排油孔盖螺丝 **2** 拧紧。

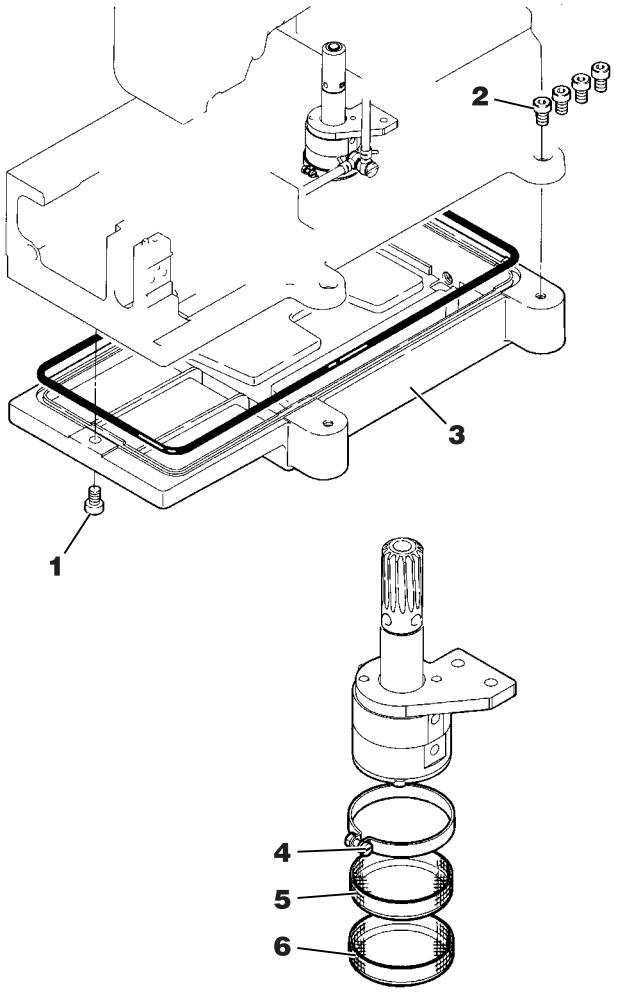
机油过滤器的检查与清扫

⚠注意

在进行过滤器的检查与清扫时，务必将缝纫机的电源开关关掉，将电源插头从插座上拔下之后，请专门的技术人员进行操作。

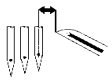
每 6 个月请将机油过滤器卸下来检查、清扫一次。

1. 卸下螺丝 **1**、**2**，然后请卸下油盘 **3**。
2. 松开螺丝 **4**，拆卸下过滤网 **5**（内）和过滤网 **6**（外），然后请进行检查和清扫。
3. 请将油盘 **3**、（内）过滤网 **5** 和（外）过滤网 **6** 按原来的样子进行安装。



调整基准数值

(mm)

	×□□□								
CW562-01GB	240	9.3	4.0～4.3	8.3～8.7	4.5～5.0	17.0	0.8～1.2		
	348	9.4	3.6～3.9	8.8～9.2	4.5～5.0	17.0	0.8～1.2		
	356	8.5	3.2～3.5	8.3～8.7	4.5～5.0	17.0	0.8～1.2		
	364	8.1	2.8～3.1	8.3～8.7	4.5～5.0	17.0	0.8～1.2		
CW562-01DB	460	9.3～9.8	2.8～3.1	8.7～9.2	4.8～5.2	17.2	0.8～1.2		
CW562-02GB	232	9.8	4.4～4.7	8.3～8.7	4.5～5.0	17.0	0.8～1.2		
	240	9.3	4.0～4.3	8.3～8.7	4.5～5.0	17.0	0.8～1.2		
	348	9.4	3.6～3.9	8.8～9.2	4.5～5.0	17.0	0.8～1.2		
	356	8.5	3.2～3.5	8.3～8.7	4.5～5.0	17.0	0.8～1.2		
	364	8.1	2.8～3.1	8.3～8.7	4.5～5.0	17.0	0.8～1.2		
CW562-03DB	240	9.3	4.0～4.3	8.3～8.7	4.5～5.0	17.0	0.8～1.2		
	356	8.5	3.2～3.5	8.3～8.7	4.5～5.0	17.0	0.8～1.2		
	364	8.1	2.8～3.1	8.3～8.7	4.5～5.0	17.0	0.8～1.2		
CW562-05CB	232	9.8	4.4～4.7	8.3～8.7	4.5～5.0	17.0	0.8～1.2		
	240	9.3	4.0～4.3	8.3～8.7	4.5～5.0	17.0	0.8～1.2		
	248	8.9	3.6～3.9	8.3～8.7	4.5～5.0	17.0	0.8～1.2		
	356	8.5	3.2～3.5	8.3～8.7	4.5～5.0	17.0	0.8～1.2		
	364	8.1	2.8～3.1	8.3～8.7	4.5～5.0	17.0	0.8～1.2		
CW562-08AC	240	9.3	4.0～4.3	8.3～8.7	4.5～5.0	17.0	0.8～1.2		
	248	8.9	3.6～3.9	8.3～8.7	4.5～5.0	17.0	0.8～1.2		
	356	8.5	3.2～3.5	8.3～8.7	4.5～5.0	17.0	0.8～1.2		
	364	8.1	2.8～3.1	8.3～8.7	4.5～5.0	17.0	0.8～1.2		
CW562-21BB	356	9.3	3.7～4.0	9.7～10.2	4.5～5.0	17.0	1.2～1.5		
	364	8.8	3.3～3.6	9.7～10.2	4.5～5.0	17.0	1.2～1.5		

针号对照表

日本针号 (Organ)	#	9	10	11	14	16	18	21
德国针号 (Schmetz)	Nm	65	70	75	90	100	110	130

标准用针

CW562N-01GB -01DB -02GB -03DB -05CB -08AC -21BB	×□□□	Organ UY128GAS
	232	9S
	240	9S
	348	10S
	356	10S
	364	10S

CW500N 系列子型号规格表

CW500N 系列

用途	子型号	针数（根）	针数（根）	针距（mm）	最大针脚长（mm）	差动比	压脚抬升量（mm）	最高旋转数（rpm）	备考
基本缝	CW562N-01GB	2	4	4	4.4	0.5～1.3	6.3	6,000	
		3	5	4.8･5.6･6.4	4.4	0.5～1.3	5	6,000	
	CW562N-01DB	5	6	6	3.3	0.7～1.3	5.5	4,200	
松紧带滚边用	CW562N-02GB	2	4	3.2･4	4.4	0.5～1.3	6.3	6,000	
		3	5	4.8･5.6･6.4	4.4	0.5～1.3	5	6,000	
绷盖缝用	CW562N-03DB	2	4	4	4.4	0.5～1.3	6.3	6,000	
		3	5	5.6･6.4	4.4	0.5～1.3	5	6,000	
缝花边松紧带	CW562N-05CB	2	4	3.2･4･4.8	4.4	0.5～1.0	5.3	5,500（附带MD的5000）	
		3	5	5.6･6.4	4.4	0.5～1.0	5	5,500（附带MD的5000）	
折缝用	CW562N-08AC	2	4	4･4.8	4.4	0.5～1.3	6.3	6,000	
		3	5	5.6･6.4	4.4	0.5～1.3	5	6,000	
厚衣料缝纫用	CW562N-21BB	3	5	5.6･6.4	3.3	0.7～2.0	7	5,000	

※差动比使用1：1.3以上时，请将主送布牙运动量设定在3.2mm以下。

针脚形式	602，605
使用的针	UY128GAS #9S UY128GAS #10S
整机尺寸（WxDxH）	W：495mm　D：280mm　H：414mm

干燥时重量	41.5Kg
总重量	47.5Kg
噪音值	n=5,400rpm：LpA≦82.0dB DIN 45635　48A-1　遵循

ペガサスミシン製造株式会社

本社 〒553-0002 **大阪市福島区鷺洲** 5-7-2　TEL (06)6458-4739
FAX (06)6454-8785

PEGASUS SEWING MACHINE MFG. CO., LTD.
5-7-2, Sagisu, Fukushima-ku, Osaka 553-0002, Japan.　Phone : (06)6458-4739
Fax : (06)6454-8785

Cat. No. 9B201400001　April 2006
Ⓒ2003 PEGASUS SEWING MACHINE MFG. CO., LTD.

この取扱説明書に記載されている内容は、改良のため予告なく変更することがあります。

The description in this INSTRUCTIONS is subject to change without prior notice for improvement.

此说明书所登载的内容,有因机器改进而事先不预告进行变更的情况。